

福岡大学学科履修規程

第 1 章 総 則

第 1 条 卒業資格を得るための履修は、学則第31条から第34条までの規定及びこの履修規程の定めるところによる。

第 2 章 科 目 の 履 修

第 2 条 (抜粋)

人文学部 (文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

人文学部 文化学科 令和 6 年度入学生 (LC24台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計 24 単位以上	}	合計 44 単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基盤科目				
(1) 共通教育科目	外国語科目	第 1 外国語…………… 8 単位以上	計 16 単位以上	}	合計 44 単位以上	
		第 2 外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位					
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 20 単位		計 8 単位以上	}	合計 72 単位以上	
		選択必修科目				思想文化科目群…………… 2 単位以上
	選択科目	思想文化科目群…………… 16 単位以上	計 36 単位以上	}		合計 72 単位以上
		社会文化科目群…………… 16 単位以上				
	文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目				}	
	専門教育科目…………… 計 12 単位以上					
	関連教育科目					

※イメージ図

(注) 第 2 外国語は、同一外国語で 8 単位を修得しなければならない。8 単位を超えて修得した第 2 外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第 2 外国語は同一外国語で 8 単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91 を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和6年度入学生 (LC24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 日本文学A 2 西洋文学A 2 日本教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 日本文学B 2 西洋文学B 2 西洋教育史A 2	政治学A 2 政治学B 2 政治学C 2 政治学D 2 政治学E 2	政治学A 2 政治学B 2 政治学C 2 政治学D 2 政治学E 2	
		社会科学	法学A 2 政治学A 2 政治学B 2 政治学C 2 政治学D 2 政治学E 2	法学B 2 政治学B 2 政治学C 2 政治学D 2 政治学E 2	日本国憲法A 2 日本国憲法B 2 日本国憲法C 2 日本国憲法D 2 日本国憲法E 2	日本国憲法A 2 日本国憲法B 2 日本国憲法C 2 日本国憲法D 2 日本国憲法E 2	文化人類学A 2 文化人類学B 2 文化人類学C 2 文化人類学D 2 文化人類学E 2	文化人類学A 2 文化人類学B 2 文化人類学C 2 文化人類学D 2 文化人類学E 2	
	自然科学	数学入門 2 物理の世界 2 新しい地球観 2 自然科学と人間 2	基礎数学 2 自然界と物質の化学 2 ミクロの生物科学 2	統計入門 2 生活と環境の化学 2 マクロの生物科学 2	統計入門 2 生活と環境の化学 2 マクロの生物科学 2	物理科学入門 2 地球圏科学入門 2 自然科学入門 2	物理科学入門 2 地球圏科学入門 2 自然科学入門 2		
	総合科目	福岡大学で考える現代社会 2							
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン入門 2 データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかし学ぶか 2				
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1 海外英語研修 2	アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1					
		△ドイツ語ⅠA 2 △ドイツ語ⅠB 2 △フランス語ⅠA 2 △フランス語ⅠB 2 △中国語ⅠA 2 △中国語ⅠB 2 △スペイン語ⅠA 2 △スペイン語ⅠB 2 △朝鮮語ⅠA 2 △朝鮮語ⅠB 2 △ロシア語ⅠA 2 △ロシア語ⅠB 2	△ドイツ語ⅡA 2 △ドイツ語ⅡB 2 △フランス語ⅡA 2 △フランス語ⅡB 2 △中国語ⅡA 2 △中国語ⅡB 2 △スペイン語ⅡA 2 △スペイン語ⅡB 2 △朝鮮語ⅡA 2 △朝鮮語ⅡB 2 △ロシア語ⅡA 2 △ロシア語ⅡB 2						
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1	※生涯スポーツ論 2						
	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	必修科目	文化学科で学ぶⅠ 2 文化学科で学ぶⅡ 2 基礎演習Ⅰ 2 基礎演習Ⅱ 2	文化学演習Ⅰ 2 文化学演習Ⅱ 2	文化学演習Ⅲ 2 文化学演習Ⅳ 2	文化学演習Ⅴ 2 文化学演習Ⅵ 2				
専門教育科目	選択必修科目	思想文化科目群	哲学の基礎理論Ⅰ 2 哲学の基礎理論Ⅱ 2 宗教文化入門 2						
		社会文化科目群	理論社会学Ⅰ 2 社会学研究法Ⅰ 2 文化社会学Ⅰ 2 民俗文化Ⅰ 2						
	選択科目	思想文化科目群	古代ギリシア哲学Ⅰ 2 中世ヨーロッパ哲学Ⅰ 2 宗教学特講Ⅰ 2 近代ヨーロッパ哲学Ⅰ 2 現代哲学Ⅰ 2 神話文化論Ⅰ 2 中国思想Ⅰ 2	日本美術史Ⅰ 2 日本美術史Ⅱ 2 西洋美術史Ⅰ 2 西洋美術史Ⅱ 2 日本の思想Ⅰ 2 思想文化文献講読Ⅰ 2 思想文化文献講読Ⅱ 2	思想文化文献講読Ⅲ 2 思想文化文献講読Ⅳ 2 ギリシア語A 2 ギリシア語B 2 ラテン語A 2 ラテン語B 2				
		社会文化科目群	社会調査入門講義Ⅰ 2 社会学人類学Ⅰ 2 社会学人類学Ⅱ 2 社会学人類学Ⅲ 2 社会学人類学Ⅳ 2 社会学人類学Ⅴ 2 社会学人類学Ⅵ 2 社会学人類学Ⅶ 2 社会学人類学Ⅷ 2 社会学人類学Ⅷ 2 社会学人類学Ⅷ 2	心理学特講Ⅰ 2 心理学特講Ⅱ 2 社会心理学Ⅰ 2 社会心理学Ⅱ 2 社会心理学Ⅲ 2 社会心理学Ⅳ 2 社会学方法論演習Ⅰ 2 社会学方法論演習Ⅱ 2	文化心理学Ⅰ 2 文化心理学Ⅱ 2 文化心理学Ⅲ 2 文化心理学Ⅳ 2 文化心理学Ⅴ 2 文化心理学Ⅵ 2 文化心理学Ⅶ 2 文化心理学Ⅷ 2 文化心理学Ⅷ 2 文化心理学Ⅷ 2 文化心理学Ⅷ 2				
	文化学共通科目群	現代社会の心理と行動Ⅰ 2 現代社会の心理と行動Ⅱ 2 社会思想Ⅰ 2 社会思想Ⅱ 2 情報処理実習Ⅰ 2 情報処理実習Ⅱ 2	マス・コミュニケーション論Ⅰ 2 マス・コミュニケーション論Ⅱ 2 メディア文化論Ⅰ 2 メディア文化論Ⅱ 2 応用倫理学Ⅰ 2 応用倫理学Ⅱ 2 自然地理学概論Ⅰ 2 自然地理学概論Ⅱ 2	環境と文化Ⅰ 2 環境と文化Ⅱ 2					
関連教育科目	科学思想史A 2	生涯学習概論A 2	言語学概論A 2	図書概論 2					
	科学思想史B 2	生涯学習概論B 2	言語学概論B 2	図書館資料論 2					
	日本文学概論Ⅰ 2	〔日本の文化と歴史A〕 2	比較文学概論 2	ヨーロッパ地域文化特講A 2					
	日本文学概論Ⅱ 2	〔日本の文化と歴史B〕 2	〔東洋の文化と歴史A〕 2	ヨーロッパ地域文化特講B 2					
	日本文学概論Ⅲ 2	日本の文化と歴史C 2	〔東洋の文化と歴史B〕 2	〔ヨーロッパ地域文化特講C〕 2					
	日本文学概論Ⅳ 2	日本の文化と歴史D 2	東洋の文化と歴史C 2	〔ヨーロッパ地域文化特講D〕 2					
	憲法Ⅰ 2	博物館概論 2	東洋の文化と歴史D 2	東アジア相互理解演習A 2					
	憲法Ⅱ 2	博物館教育論 2	〔西洋の文化と歴史A〕 2	東アジア相互理解演習B 2					
	憲法Ⅲ 2	博物館資料論 2	〔西洋の文化と歴史B〕 2						
	憲法Ⅳ 2	中国語文化概説A(文学) 2	西洋の文化と歴史C 2						
	憲法Ⅴ 2	神経・生理心理学 2	西洋の文化と歴史D 2						
	憲法Ⅵ 2	司法・犯罪心理学 2							
	憲法Ⅶ 2	心理学統計法 2							
	憲法Ⅷ 2	学習・言語心理学 2							
	憲法Ⅷ 2	感情・人格心理学 2							
憲法Ⅷ 2	概説日本史 2								
憲法Ⅷ 2	概説外国史 2								
憲法Ⅷ 2	概説法理学 2								
憲法Ⅷ 2	概説政治学 2								
他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 令和5年度入学生 (LC23台)

【卒業要件】



(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和5年度入学生 (LC23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通 教育 科目	総合 教養 科目	人文科学	哲学A 倫理学A 西洋史A 西アジアの文学A 芸術学A	2 2 2 2 2	哲学B 倫理学B 西洋史B 西アジアの文学B 芸術学B	2 2 2 2 2	論理学A 宗教学研究A 日本文学A 日西文学A 本國教育史A	2 2 2 2 2	論理学B 宗教学研究B 日本文学B 日西文学B 西洋教育史A	2 2 2 2 2	
		社会科学	政治学B 政商教育論B 教育心理学A	2 2 2	経済学A 社会心理学A 教育の原理・課程論B	2 2 2	日本憲法B 経済社会学B 社会心理学A 文化人類学A	2 2 2 2	政治学A 商教育論B 教育心理学B 文化人類学B	2 2 2 2	
	自然科学	数学入門 物理の世界 新しい地球観 自然科学と人間	2 2 2 2	基礎数学 自然界と物質の化学 ミクロの生物学	2 2 2	統計入門 生活と環境の化学 マクロの生物学	2 2 2	物理科学入門 文化人類学 地球圏科学入門 自然科学入門	2 2 2 2		
	総合科目	福岡大学で考える現代社会	2								
	学修 基盤 科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門	2 2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかにつぶさ	2		
			第1年次		単位	第2年次		単位	第3年次		単位
	育 科 目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		1	アドバンス・イングリッシュⅠ		1
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		1	アドバンス・イングリッシュⅡ		1
		第2	△ドイツ語ⅠA		2	△ドイツ語ⅡA		2			
			△ドイツ語ⅠB		2	△ドイツ語ⅡB		2			
△フランス語ⅠA			2	△フランス語ⅡA		2					
△フランス語ⅠB			2	△フランス語ⅡB		2					
△中国語ⅠA			2	△中国語ⅡA		2					
△中国語ⅠB			2	△中国語ⅡB		2					
△スペイン語ⅠA			2	△スペイン語ⅡA		2					
△スペイン語ⅠB			2	△スペイン語ⅡB		2					
△朝鮮語ⅠA		2	△朝鮮語ⅡA		2						
△朝鮮語ⅠB		2	△朝鮮語ⅡB		2						
△ロシア語ⅠA		2	△ロシア語ⅡA		2						
△ロシア語ⅠB		2	△ロシア語ⅡB		2						
保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ		1	※生涯スポーツ論		2				
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専 門 教 育 科 目	必修科目	文化学科で学ぶⅠ		2	文化学演習Ⅰ		2	文化学演習Ⅲ		2	
		文化学科で学ぶⅡ		2	文化学演習Ⅱ		2	文化学演習Ⅳ		2	
	選択必修科目	思想文化 科目群				哲学の基礎 芸術学入門		2 2			
		社会文化 科目群				理論社会学 文化社会学 民俗学		2 2 2			
	選択科目	思想文化 科目群	古代ギリシア哲学 中世ヨーロッパ哲学 近代ヨーロッパ哲学 現代哲学		2 2 2 2	中国の思想 日本の美術 日西洋美術史 西洋美術思想		2 2 2 2	思想文化文献講読Ⅰ 思想文化文献講読Ⅱ 思想文化文献講読Ⅲ 思想文化文献講読Ⅳ		2 2 2 2
		社会文化 科目群	社会学入門 社会人類学 社会学論 比較社会学 社会文化学		2 2 2 2 2	社会調査入門 社会学人類学 社会学論 社会学史 社会学方法論		2 2 2 2 2	文化心理学 人文地理学A [人文地理学B] 地理学A [地理学B]		2 2 2 2 2
		文化学共 通科目群	文化社会学 社会思想史 情報処理実習		2 2 2	文化学特講 文化思想史 社会学 応用倫理学 自然地理学A		2 2 2 2 2	自然地理学B		2
		卒業論文									6
	関 連 教 育 科 目	科学思想史A		2	ギリシア語A		2	言語学概論A		2	
		科学思想史B		2	ギリシア語B		2	言語学概論B		2	
科学思想概論Ⅰ		2	ラテン語A		2	比較文学概論		2			
科学思想概論Ⅱ		2	ラテン語B		2	[東洋の文化と歴史A]		2			
日本文学概論Ⅰ		2	生涯学習概論A		2	[東洋の文化と歴史B]		2			
日本文学概論Ⅱ		2	生涯学習概論B		2	[東洋の文化と歴史C]		2			
憲法Ⅰ		2	[日本の文化と歴史A]		2	[ヨーロッパ地域文化特講D]		2			
憲法Ⅱ		2	[日本の文化と歴史B]		2	東洋の文化と歴史C		2			
			[日本の文化と歴史C]		2	東洋の文化と歴史D		2			
			[日本の文化と歴史D]		2	[西洋の文化と歴史A]		2			
			日本の文化と歴史C		2	[西洋の文化と歴史B]		2			
			日本の文化と歴史D		2	[西洋の文化と歴史C]		2			
			博物館概論		2	[西洋の文化と歴史D]		2			
			博物館教育論		2	西洋の文化と歴史D		2			
			博物館資料論		2						
			中国言語文化概説A(文学)		2						
			神経・生理心理学		2						
			司法・犯罪心理学		2						
			心理学統計学		2						
			学習・言語心理学		2						
			感情・人格心理学		2						
			概説日本史		2						
			概説外国史		2						
			概説法律学		2						
			概説政治学		2						
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目											
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 令和4年度入学生 (LC22台)

【卒業要件】



(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和4年度入学生 (LC22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2		
	西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2		
	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2		
	政治学A	2	政治学B	2	日本憲法A	2	商学A	2		
	政治学B	2	政治学C	2	日本経済学B	2	商学B	2		
	教育心理学A	2	教育心理学B	2	社会心理学A	2	教育心理学B	2		
	教育心理学B	2	教育心理学C	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2		
	入門学A	2	入門学B	2	統計入門	2	文化科学入門	2		
	新らしい地球環境	2	基礎数学	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2		
	自然科学	2	自然界と物質の化学	2	マクロの生物学	2	自然科学	2		
総合科目	地球環境と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	〔科学・技術・情報と社会〕	2		
学修科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
学修科目	データサイエンス・AI入門	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2						
専門教育科目	必修科目	文化学科で学ぶⅠ	2	文化学演習Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2	
		文化学科で学ぶⅡ	2	文化学演習Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2	
		基礎演習Ⅰ	2							
		基礎演習Ⅱ	2							
	選択必修科目	思想文化		哲学の基礎	2					
		社会文化		芸術文化入門	2					
		思想文化科目群	古代ギリシア哲学	2	中世ヨーロッパ哲学	2	中国の思想史	2	思想文化文庫講読Ⅰ	2
			中世ヨーロッパ哲学	2	近世ヨーロッパ哲学	2	日本の美術史	2	思想文化文庫講読Ⅱ	2
			現代哲学	2	現代思想	2	西洋美術史	2	思想文化文庫講読Ⅲ	2
			現代思想	2	現代思想	2	西洋美術史	2	思想文化文庫講読Ⅳ	2
		社会文化科目群	社会調査入門	2	社会学の発展	2	心理学の発展	2	文化心理学	2
			社会学の発展	2	社会学の発展	2	心理学の発展	2	人文地理学A	2
社会学の発展	2		社会学の発展	2	心理学の発展	2	〔人文地理学B〕	2		
社会学の発展	2		社会学の発展	2	心理学の発展	2	〔人文地理学C〕	2		
文化学共通科目群	文化学特論	2	文化学特論	2	文化学特論	2	〔人文地理学D〕	2		
	文化学特論	2	文化学特論	2	文化学特論	2	〔人文地理学E〕	2		
	文化学特論	2	文化学特論	2	文化学特論	2	〔人文地理学F〕	2		
	文化学特論	2	文化学特論	2	文化学特論	2	〔人文地理学G〕	2		
関連教育科目	科学思想史A	2	ギリシア語A	2	言語学概論A	2	卒業論文	6		
	科学思想史B	2	ギリシア語B	2	言語学概論B	2	図書館概論	2		
	科学思想史C	2	ラテン語A	2	言語学概論C	2	図書館資料論	2		
	科学思想史D	2	ラテン語B	2	比較文学概論	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2		
	憲法Ⅰ	2	生涯学習概論A	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2		
	憲法Ⅱ	2	生涯学習概論B	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	〔ヨーロッパ地域文化特講C〕	2		
	〔現代新聞学〕	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	東洋の文化と歴史C	2	〔ヨーロッパ地域文化特講D〕	2		
			〔日本の文化と歴史B〕	2	東洋の文化と歴史D	2	東アジア相互理解演習A	2		
			〔日本の文化と歴史C〕	2	西洋の文化と歴史A	2	東アジア相互理解演習B	2		
			〔日本の文化と歴史D〕	2	〔西洋の文化と歴史B〕	2				
			博物館概論	2	〔西洋の文化と歴史C〕	2				
			博物館教育論	2	西洋の文化と歴史D	2				
			博物館資料論	2						
			中国言語文化概説A(文学)	2						
			神経・生理心理学	2						
			司法・犯罪心理学	2						
			心理学統計学	2						
			学習・言語心理学	2						
			感情・人格心理学	2						
			概説日本史	2						
		概説外国史	2							
		概説法律学	2							
		概説政治学	2							
		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								

(注) (1) []内は今年度休講。

人文学部 文化学科 令和3年度入学生 (LC21台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計44単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
(1)共通教育科目	単位互換科目				
		必修科目…………… 20単位	計8単位以上	}	合計72単位以上
		選択必修科目			
(2)専門教育科目	選択科目	思想文化科目群…………… 2 単位以上	計36単位以上	}	合計72単位以上
		社会文化科目群…………… 2 単位以上			
		思想文化科目群…………… 16 単位以上			
(2)専門教育科目	選択科目	社会文化科目群…………… 16 単位以上	計52単位以上	}	合計72単位以上
		文化学共通科目群…………… 4 単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目				
	専門教育科目				
	関連教育科目		計12単位以上		

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和3年度入学生 (LC21台)

※印は必修
△印は選択必修

Table with 8 main columns: Year (1-4), Course Title, Credits, Course Title, Credits, Course Title, Credits, Course Title, Credits. Includes sections for General Education, Foreign Language, Specialized Education, and Related Education courses.

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 令和2年度入学生 (LC20台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4単位以上			
		自然科学…………… 4単位以上			
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8単位以上	計16単位以上	}	合計44単位以上
		第2外国語…………… 8単位以上			
		保健体育科目…………… 4単位			
(1)共通教育科目	単位互換科目				
		必修科目…………… 20単位	計8単位以上	}	合計72単位以上
		選択必修科目			
(2)専門教育科目	選択科目	思想文化科目群…………… 2単位以上	計36単位以上	}	合計72単位以上
		社会文化科目群…………… 2単位以上			
		思想文化科目群…………… 16単位以上			
(2)専門教育科目	選択科目	社会文化科目群…………… 16単位以上	計52単位以上	}	合計72単位以上
		文化学共通科目群…………… 4単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目				
	専門教育科目		計12単位以上		
(3)自由履修単位	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和2年度入学生 (LC20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2	
	政治学A	2	政治学B	2	日本憲法	2	政治学A	2	
	商教心育論A	2	経済社会学A	2	日経社地文	2	商教心育論A	2	
	商教心育論B	2	社会心理学A	2	社会心理学B	2	商教心育論B	2	
	商教心育論C	2	教育の原理・課程論	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
	商教心育論D	2	基礎数学	2	統計入門	2	文化人類学C	2	
自然科学	数理学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	文化人類学D	2	
	数理学B	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2	
総合科目	地球環境と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2	
	福大生のためのキャリアデザイン	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミI	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
専攻科目	第1年次	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュII	1	フレッシュマン・イングリッシュIII	1	フレッシュマン・イングリッシュIV	1
		フレッシュマン・イングリッシュII	1	フレッシュマン・イングリッシュIII	1	フレッシュマン・イングリッシュIV	1	フレッシュマン・イングリッシュV	1
	第2年次	ドイツ語I A	2	ドイツ語II A	2	フランス語I A	2	フランス語II A	2
		ドイツ語I B	2	ドイツ語II B	2	フランス語I B	2	フランス語II B	2
		ドイツ語II A	2	ドイツ語II B	2	中国語I A	2	中国語II A	2
		ドイツ語II B	2	ドイツ語II C	2	中国語I B	2	中国語II B	2
		ドイツ語III A	2	ドイツ語III B	2	中国語II C	2	中国語III A	2
		ドイツ語III B	2	ドイツ語III C	2	中国語III B	2	中国語III C	2
		ドイツ語III C	2	ドイツ語III D	2	中国語III C	2	中国語III D	2
		ドイツ語III D	2	ドイツ語III E	2	中国語III D	2	中国語III E	2
保健体育科目	生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習III	1	生涯スポーツ演習IV	1	
	生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習III	1	生涯スポーツ演習IV	1	生涯スポーツ演習V	1	
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	文化学科で学ぶI	2	文化学科で学ぶII	2	文化学科で学ぶIII	2	文化学科で学ぶIV	2
		文化学科で学ぶII	2	文化学科で学ぶIII	2	文化学科で学ぶIV	2	文化学科で学ぶV	2
	選択必修科目	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2
		社会文化科目群	2	社会文化科目群	2	社会文化科目群	2	社会文化科目群	2
	選択科目	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2	思想文化科目群	2
		社会文化科目群	2	社会文化科目群	2	社会文化科目群	2	社会文化科目群	2
		文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2
		文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2	文化学共通科目群	2
	関連教育科目	科学思想史A	2	科学思想史B	2	科学思想史C	2	科学思想史D	2
		科学思想史B	2	科学思想史C	2	科学思想史D	2	科学思想史E	2
科学思想史C		2	科学思想史D	2	科学思想史E	2	科学思想史F	2	
科学思想史D		2	科学思想史E	2	科学思想史F	2	科学思想史G	2	
科学思想史E		2	科学思想史F	2	科学思想史G	2	科学思想史H	2	
科学思想史F		2	科学思想史G	2	科学思想史H	2	科学思想史I	2	
科学思想史G		2	科学思想史H	2	科学思想史I	2	科学思想史J	2	
科学思想史H		2	科学思想史I	2	科学思想史J	2	科学思想史K	2	
科学思想史I		2	科学思想史J	2	科学思想史K	2	科学思想史L	2	
科学思想史J		2	科学思想史K	2	科学思想史L	2	科学思想史M	2	
科学思想史K	2	科学思想史L	2	科学思想史M	2	科学思想史N	2		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成31年度入学生 (LC19台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計44単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
(1)共通教育科目	単位互換科目				
		必修科目…………… 20単位	計8単位以上	}	合計72単位以上
		選択必修科目			
(2)専門教育科目	選択科目	思想文化科目群…………… 2 単位以上	計36単位以上	}	合計72単位以上
		社会文化科目群…………… 2 単位以上			
		思想文化科目群…………… 16 単位以上			
(2)専門教育科目	選択科目	社会文化科目群…………… 16 単位以上	計52単位以上	}	合計72単位以上
		文化学共通科目群…………… 4 単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目				
	専門教育科目		計12単位以上		
(3)自由履修単位		関連教育科目			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.91を参照すること。

年次別授業科目表（学科履修規程 第4条 別表）

人文学部 文化学科 平成31年度入学生（LC19台）

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	東洋文芸学A	2	東洋文芸学B	2	
	芸術学A	2	芸術学B	2	本邦教育史	2	西洋教育史	2	
	政治学A	2	政治学B	2	日本憲法	2	政治学A	2	
社会科学	政治学B	2	経済学A	2	日経社経	2	商学A	2	
	教育心理学A	2	教育心理学B	2	社会学A	2	教育心理学B	2	
自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
	新しい世界の自然	2	自然界と物質の科学	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
総合科目	地球環境と文化	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	〔科学・技術・情報と社会〕	2	
学修科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
育外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2					
	△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2					
	△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2					
	△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2					
	△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2					
	△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2					
	△スペイン語ⅠA	2	△スペイン語ⅡA	2					
	△スペイン語ⅠB	2	△スペイン語ⅡB	2					
	△朝鮮語ⅠA	2	△朝鮮語ⅡA	2					
	△朝鮮語ⅠB	2	△朝鮮語ⅡB	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ	2					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	文化学科で学ぶⅠ	2	文化学演習Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2
		文化学科で学ぶⅡ	2	文化学演習Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2
	選択必修科目	思想文化科目群		哲学の基礎	2				
		社会文化科目群		社会学の基礎	2				
選択科目	思想文化科目群	古代ギリシア哲学	2	中世ヨーロッパ哲学	2	中国の思想史	2	思想文化文庫講読Ⅰ	2
		近世ヨーロッパ哲学	2	現代哲学	2	日本の美術史	2	思想文化文庫講読Ⅱ	2
	社会文化科目群	社会学入門	2	社会学特論	2	中国の美術史	2	思想文化文庫講読Ⅲ	2
		社会学特論	2	社会学特論	2	日本の美術史	2	思想文化文庫講読Ⅳ	2
文化学共通科目群	文化学特論	2	文化学特論	2	中国の美術史	2	文化心理学	2	
	文化学特論	2	文化学特論	2	中国の美術史	2	人文地理学A	2	
関連教育科目	科学思想史A	2	ギリシア語A	2	言語学概論A	2	卒業論文	6	
	科学思想史B	2	ギリシア語B	2	言語学概論B	2	図書館概論	2	
	日本文学概論Ⅰ	2	ラテン語A	2	比較文学概論	2	図書館資料論	2	
	日本文学概論Ⅱ	2	ラテン語B	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	
	中国言語文化概論A〔文学〕	2	生涯学習概論A	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	
	憲法Ⅰ	2	生涯学習概論B	2	〔東洋の文化と歴史C〕	2	〔ヨーロッパ地域文化特講C〕	2	
	〔現代新聞学〕	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	東洋の文化と歴史C	2	〔ヨーロッパ地域文化特講D〕	2	
			〔日本の文化と歴史B〕	2	東洋の文化と歴史D	2	東アジア相互理解演習A	2	
			〔日本の文化と歴史C〕	2	〔西洋の文化と歴史A〕	2	東アジア相互理解演習B	2	
			〔日本の文化と歴史D〕	2	〔西洋の文化と歴史B〕	2			
			博物館概論	2	〔西洋の文化と歴史C〕	2			
			博物館教育論	2	西洋の文化と歴史D	2			
			博物館資料論	2					
			神経・生理心理学	2					
			司法・犯罪心理学	2					
			心理学統計	2					
			学習・言語心理学	2					
			感情・人格心理学	2					
			概説日本国史	2					
			概説外国史	2					
		概説法律学	2						
		概説政治学	2						
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成30年度入学生 (LC18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 28 単位		計44単位以上	}	総計128単位以上
	選択科目	思想史科目群…………… 16 単位以上			
		比較文化科目群…………… 16 単位以上			
文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成30年度入学生 (LC18台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学研究A	2	宗教学研究B	2
	東洋史A	2	東洋史B	2	日本通論A	2	日本通論B	2	
	東洋史A	2	東洋史B	2	西日通論A	2	西日通論B	2	
社会科学	法政経済学A	2	法政経済学B	2	政治学概論A	2	政治学概論B	2	
	社会学A	2	社会学B	2	社会学概論A	2	社会学概論B	2	
自然科学	数学A	2	数学B	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
	物理学A	2	物理学B	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2	
総合科目	文化人類学	2	基礎数学	2	国際化と日本	2	(科学・技術・情報と社会)	2	
	環境教育	2	生命・健康と医療	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
	単位		単位		単位		単位		
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンス・イングリッシュⅠ	1		
第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2					
	△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2					
	△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2					
	△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2					
	△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2					
	△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2					
	△スペイン語ⅠA	2	△スペイン語ⅡA	2					
	△スペイン語ⅠB	2	△スペイン語ⅡB	2					
	△朝鮮語ⅠA	2	△朝鮮語ⅡA	2					
	△朝鮮語ⅠB	2	△朝鮮語ⅡB	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	文化学基礎	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅴ	2	
	文化学基礎演習Ⅰ	2	文化学演習Ⅵ	2					
	文化学基礎演習Ⅱ	2							
選択科目	思想史科目群	2	古代ギリシア哲学	2	現代哲学	2	日本美術論	2	
	比較文化科目群	2	社会学入門	2	比較社会学	2	社会心理学	2	
	文化学共通科目群	2	社会学特講Ⅰ	2	社会学特講Ⅱ	2	社会学特講Ⅲ	2	
関連教育科目	科学思想史A	2	ギリシャ語A	2	言語学概論A	2	図書館概論	2	
	科学思想史B	2	ギリシャ語B	2	言語学概論B	2	図書館資料	2	
	日本文学概論Ⅰ	2	ラテン語A	2	比較文学概論	2	国際法総論	4	
	日本文学概論Ⅱ	2	ラテン語B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	社会保障論	4	
	中国言語文化概説A (文学)	2	人文地理学A	2	[東洋の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	
	憲法Ⅰ	2	人文地理学B	2	東洋の文化と歴史C	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	
	憲法Ⅱ	2	自然地理学A	2	東洋の文化と歴史D	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2	
	民法入門	2	自然地理学B	2	[西洋の文化と歴史A]	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2	
	民法総則	2	地誌学A	2	[西洋の文化と歴史B]	2	東アジア相互理解演習A	2	
	[現代新聞学]	2	地誌学B	2	西洋の文化と歴史C	2	東アジア相互理解演習B	2	
			生涯学習概論A	2	西洋の文化と歴史D	2			
			生涯学習概論B	2			卒業論文	6	
			[日本の文化と歴史A]	2			図書概論	2	
			[日本の文化と歴史B]	2			図書資料	2	
			日本の文化と歴史C	2			国際法総論	4	
		日本の文化と歴史D	2			社会保障論	4		
		博物館概論	2			ヨーロッパ地域文化特講A	2		
		博物館教育論	2			ヨーロッパ地域文化特講B	2		
		博物館資料論	2			ヨーロッパ地域文化特講C	2		
		経済史概論	4			ヨーロッパ地域文化特講D	2		
		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目							
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 令和6年度入学生 (LH24台)

【卒業要件】



(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和6年度入学生 (LH24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		日本	学A	2	日本	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		西洋	学A	2	西洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
		アジア	学A	2	アジア	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日本	学A	2	日本	学B	2
		商教	学A	2	商教	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
		教育	学A	2	教育	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
		政治	学A	2	政治	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
	自然科学	数学	学A	2	数学	学B	2	統計	学A	2	統計	学B	2
		物理	学A	2	物理	学B	2	化学	学A	2	化学	学B	2
総合系科目	福岡大学で考える現代社会												
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン		2	アカデミックスキルズゼミⅠ		2	アカデミックスキルズゼミⅡ		2	福岡大学を学ぶ 福岡大学でいかに学ぶか		2	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1								
	第2	△△ ドイツ語Ⅰ	2	△△ ドイツ語Ⅱ	2								
		△△ フランス語Ⅰ	2	△△ フランス語Ⅱ	2								
		△△ 中国語Ⅰ	2	△△ 中国語Ⅱ	2								
		△△ 韓国語Ⅰ	2	△△ 韓国語Ⅱ	2								
		△△ 朝鮮語Ⅰ	2	△△ 朝鮮語Ⅱ	2								
		△△ シンシア語Ⅰ	2	△△ シンシア語Ⅱ	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学概論A	2							卒業論文	8		
		史学概論B	2										
	選択必修科目	考古学概論A	2	考古学方法論A(含、実習)	2	考古学概論A	2	考古学概論A	2	考古学概論A	2	考古学概論A	2
		考古学概論B	2	考古学方法論B(含、実習)	2	考古学概論B	2	考古学概論B	2	考古学概論B	2	考古学概論B	2
		日本史概論A	2	日本史原典講読ⅠA	2	日本史原典講読ⅠB	2	日本史原典講読ⅡA	2	日本史原典講読ⅡB	2	日本史原典講読ⅢA	2
		日本史概論B	2	日本史原典講読ⅡA	2	日本史原典講読ⅡB	2	日本史原典講読ⅢA	2	日本史原典講読ⅢB	2	日本史原典講読ⅣA	2
		東洋史概論A	2	東洋史原典講読ⅠA	2	東洋史原典講読ⅠB	2	東洋史原典講読ⅡA	2	東洋史原典講読ⅡB	2	東洋史原典講読ⅢA	2
		東洋史概論B	2	東洋史原典講読ⅡA	2	東洋史原典講読ⅡB	2	東洋史原典講読ⅢA	2	東洋史原典講読ⅢB	2	東洋史原典講読ⅣA	2
	選択科目	西洋史概論A	2	西洋史原典講読ⅠA	2	西洋史原典講読ⅠB	2	西洋史原典講読ⅡA	2	西洋史原典講読ⅡB	2	西洋史原典講読ⅢA	2
		西洋史概論B	2	西洋史原典講読ⅡA	2	西洋史原典講読ⅡB	2	西洋史原典講読ⅢA	2	西洋史原典講読ⅢB	2	西洋史原典講読ⅣA	2
関連教育科目	社会科学思想史A	2	文化人類学特講	2	対外交渉史	2	国際関係史	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史B	2	社会学類特講	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史C	2	社会学類特講	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史D	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史C	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史E	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史D	2	東洋の文化と歴史D	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史F	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史E	2	東洋の文化と歴史E	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史G	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史F	2	東洋の文化と歴史F	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史H	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史G	2	東洋の文化と歴史G	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史I	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史H	2	東洋の文化と歴史H	2	国史	2	思想史	2	
	社会科学思想史J	2	社会学類特講	2	日本の文化と歴史I	2	東洋の文化と歴史I	2	国史	2	思想史	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 令和5年度入学生 (LH23台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和5年度入学生 (LH23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
共通教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	法政論A	2	法政論B	2	
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2	
	総合系科目	福岡大学で考える現代社会								
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン・AI入門		アカデミックスキルズゼミⅠ		アカデミックスキルズゼミⅡ		福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか		
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1					
	第2	△ドイツ語Ⅰ	2	△ドイツ語Ⅱ	2					
		△フランス語Ⅰ	2	△フランス語Ⅱ	2					
△中国語Ⅰ		2	△中国語Ⅱ	2						
△スペイン語Ⅰ		2	△スペイン語Ⅱ	2						
△朝鮮語Ⅰ		2	△朝鮮語Ⅱ	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	歴史学A	2	歴史学B	2			卒業論文	8	
	選択必修科目	各専修共通	考古学A	2	考古学B	2	考古学A	2	考古学B	2
		専修	考古学A	2	考古学B	2	考古学A	2	考古学B	2
		専修	日本史A	2	日本史B	2	日本史A	2	日本史B	2
		専修	東洋史A	2	東洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
	選択科目	西洋史A	2	西洋史B	2	西洋史A	2	西洋史B	2	
	関連教育科目	地域史概論	2	対外交渉史	2	国際関係史	2			
		考古学からみた文化と歴史A	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2			
		考古学からみた文化と歴史B	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2			
		考古学からみた文化と歴史C	2	日本の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史C	2			
〔西洋の文化と歴史A〕		2	日本の文化財概論	2	東洋の文化財概論	2				
〔西洋の文化と歴史B〕		2	文化財概論	2	東洋の文化財概論	2				
〔西洋の文化と歴史C〕		2	文政史	2	東洋の文化財概論	2				
西洋の文化と歴史D		2	朝鮮史	2	東洋の文化財概論	2				
概説社会学		2	概説政治学	2	概説法律学	2				
社会学概論Ⅰ		2	社会学概論Ⅱ	2	社会学概論Ⅲ	2				

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習)及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
(2) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
(3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
(4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
(5) []内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 令和4年度入学生 (LH22台)

【卒業要件】



(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和4年度入学生 (LH22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		西洋	学A	2	西洋	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	社会科学	政治	学A	2	政治	学A	2	日経	学A	2	政商	学A	2
		教育	学A	2	教育	学A	2	社会	学A	2	教育	学A	2
	自然科学	物理	学A	2	物理	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2
		化学	学A	2	化学	学A	2	生活	学A	2	物理	学A	2
	総合系科目	現代	学A	2	現代	学A	2	国際	学A	2	国際	学A	2
		AI	学A	2	AI	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2
	育外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目					
単位		単位		単位		単位							
1		1		1		1							
専門教育科目	必修科目	歴史	学A	2	歴史	学A	2	卒業	学A	2	卒業	学A	2
		各専修	学A	2	各専修	学A	2	各専修	学A	2	各専修	学A	2
	選択必修科目	考古	学A	2	考古	学A	2	考古	学A	2	考古	学A	2
		日本	学A	2	日本	学A	2	日本	学A	2	日本	学A	2
		東洋	学A	2	東洋	学A	2	東洋	学A	2	東洋	学A	2
		西洋	学A	2	西洋	学A	2	西洋	学A	2	西洋	学A	2
		対外	学A	2	対外	学A	2	対外	学A	2	対外	学A	2
		国際	学A	2	国際	学A	2	国際	学A	2	国際	学A	2
		東洋	学A	2	東洋	学A	2	東洋	学A	2	東洋	学A	2
		西洋	学A	2	西洋	学A	2	西洋	学A	2	西洋	学A	2
選択科目	地域	学A	2	地域	学A	2	地域	学A	2	地域	学A	2	
	文化	学A	2	文化	学A	2	文化	学A	2	文化	学A	2	
関連教育科目	思想	学A	2	思想	学A	2	思想	学A	2	思想	学A	2	
	比較	学A	2	比較	学A	2	比較	学A	2	比較	学A	2	
	言語	学A	2	言語	学A	2	言語	学A	2	言語	学A	2	
	文学	学A	2	文学	学A	2	文学	学A	2	文学	学A	2	
	法	学A	2	法	学A	2	法	学A	2	法	学A	2	
	経済	学A	2	経済	学A	2	経済	学A	2	経済	学A	2	
	政治	学A	2	政治	学A	2	政治	学A	2	政治	学A	2	
	社会	学A	2	社会	学A	2	社会	学A	2	社会	学A	2	
	文化	学A	2	文化	学A	2	文化	学A	2	文化	学A	2	
	自然	学A	2	自然	学A	2	自然	学A	2	自然	学A	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習)及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 令和3年度入学生 (LH21台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目			
		学修基盤科目			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目……………	16単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
	選択必修科目……………	40単位以上			
	選択科目……………	20単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和3年度入学生 (LH21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	社会科学	政治	学A	2	政治	学B	2	政治	学A	2	政治	学B	2
		経済	学A	2	経済	学B	2	経済	学A	2	経済	学B	2
	自然科学	基礎	学A	2	基礎	学B	2	基礎	学A	2	基礎	学B	2
		環境	学A	2	環境	学B	2	環境	学A	2	環境	学B	2
	総合系科目	生命・健康と医療	学A	2	生命・健康と医療	学B	2	国際化と日本	学A	2	国際化と日本	学B	2
		現代を生きる	学A	2	現代を生きる	学B	2	アカデミックス	学A	2	アカデミックス	学B	2
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックス	学B	2	アカデミックス	学A	2	アカデミックス	学B	2
		福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックス	学B	2	アカデミックス	学A	2	アカデミックス	学B	2
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1								
	第2	△ドイ ツ 語	2	△ドイ ツ 語	2								
		△フ ラ ンス 語	2	△フ ラ ンス 語	2								
		△中 国 語	2	△中 国 語	2								
		△ス ペ ー ン 語	2	△ス ペ ー ン 語	2								
		△朝 鮮 語	2	△朝 鮮 語	2								
		△シ ン シ ュ ア 語	2	△シ ン シ ュ ア 語	2								
		△シ ン シ ュ ア 語	2	△シ ン シ ュ ア 語	2								
		△シ ン シ ュ ア 語	2	△シ ン シ ュ ア 語	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学概論	学A	2	史学概論	学A	2					卒業論文	8
		歴史学入門	学A	2	歴史学入門	学A	2						
	選択必修科目	考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		考古学概論	学B	2	考古学概論	学B	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
専攻史	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	
西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2		
選択科目	地域史概論	学A	2	地域史概論	学A	2	対外交渉史	学A	2	対外交渉史	学A	2	
	考古学からみた文化と歴史A	学A	2	考古学からみた文化と歴史B	学A	2	〔日本の文化と歴史A〕	学A	2	〔日本の文化と歴史B〕	学A	2	
	考古学からみた文化と歴史C	学A	2	考古学からみた文化と歴史D	学A	2	〔日本の文化と歴史C〕	学A	2	〔日本の文化と歴史D〕	学A	2	
	〔西洋の文化と歴史A〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史B〕	学A	2	〔日本の文化と歴史E〕	学A	2	〔日本の文化と歴史F〕	学A	2	
	〔西洋の文化と歴史C〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史D〕	学A	2	〔日本の文化と歴史G〕	学A	2	〔日本の文化と歴史H〕	学A	2	
	〔西洋の文化と歴史E〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史F〕	学A	2	〔日本の文化と歴史I〕	学A	2	〔日本の文化と歴史J〕	学A	2	
	〔西洋の文化と歴史G〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史H〕	学A	2	〔日本の文化と歴史K〕	学A	2	〔日本の文化と歴史L〕	学A	2	
	〔西洋の文化と歴史I〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史J〕	学A	2	〔日本の文化と歴史M〕	学A	2	〔日本の文化と歴史N〕	学A	2	
概説社会学	学A	2	概説社会学	学A	2	概説社会学	学A	2	概説社会学	学A	2		
関連教育科目	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	
	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	社会科学思想史	学A	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専攻の原典講読(考古学専攻については、考古学方法論(含、実習)及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専攻の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専攻の規定の単位以外に、他の専攻の演習も履修することができる。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 令和2年度入学生 (LH20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目 単位互換科目	4 単位			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 40 単位以上			
	選択科目…………… 20 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和2年度入学生 (LH20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																				
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位						
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2				
		社会科学	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2				
		自然科学	物理学A	2	物理学B	2	物理学A	2	物理学B	2	物理学A	2	物理学B	2	物理学A	2	物理学B	2				
		総合系科目	現代社会と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ 福岡大学でいかに学ぶか	2				
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1																
			※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1																
		第2	△ドイツ語I	2	△ドイツ語II	2																
			△フランス語I	2	△フランス語II	2																
			△中国語I	2	△中国語II	2																
			△スペイン語I	2	△スペイン語II	2																
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1																		
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																					
専門教育科目	必修科目	歴史学概論	2	歴史学概論	2																	
		歴史学入門	2	歴史学入門	2																	
	選択必修科目	各専修共通	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学概論	2				
		専修	考古学	考古学方法論A(含、実習)	2	考古学方法論B(含、実習)	2	考古学基礎演習A	2	考古学基礎演習B	2	考古学基礎演習A	2	考古学基礎演習B	2	考古学基礎演習A	2	考古学基礎演習B	2			
			日本史	日本史原典講読I	2	日本史原典講読II	2	日本史原典講読I	2	日本史原典講読II	2	日本史原典講読I	2	日本史原典講読II	2	日本史原典講読I	2	日本史原典講読II	2			
			東洋史	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2			
			西洋史	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2			
		専修	東洋史	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2	東洋史原典講読I	2	東洋史原典講読II	2			
		西洋史	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2	西洋史原典講読I	2	西洋史原典講読II	2				
		選択科目	地域史概論	2	対外交渉史	2	国際関係史	2	考古学からみた文化と歴史A	2	考古学からみた文化と歴史B	2	考古学からみた文化と歴史C	2	考古学からみた文化と歴史D	2	西洋の文化と歴史A	2	西洋の文化と歴史B	2	西洋の文化と歴史C	2
社会科学	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2	社会学概論	2				
人文科学	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2	文学概論	2				
自然科学	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2	物理学概論	2				
総合系科目	現代社会と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ 福岡大学でいかに学ぶか	2						

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成31年度入学生 (LH19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目……………			
(2) 専門教育科目	必修科目……………	16単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
	選択必修科目……………	40単位以上			
	選択科目……………	20単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	総計128単位以上
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成31年度入学生 (LH19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次													
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位					
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2		
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	東洋	学A	2	東洋	学B	2		
	社会科学	政治	学A	2	政治	学B	2	政治	学A	2	政治	学B	2		
		経済	学A	2	経済	学B	2	経済	学A	2	経済	学B	2		
	自然科学	数学	学A	2	数学	学B	2	数学	学A	2	数学	学B	2		
		物理	学A	2	物理	学B	2	物理	学A	2	物理	学B	2		
	総合系科目	地球環境	学A	2	地球環境	学B	2	地球環境	学A	2	地球環境	学B	2		
		現代教育	学A	2	現代教育	学B	2	現代教育	学A	2	現代教育	学B	2		
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	福同大学を学ぶ 福同大学でいかに学ぶか	学A	2		
育	第1年次			第2年次			第3年次			第4年次					
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1										
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1										
	第2	△ドイ ツ 語	2	△ドイ ツ 語	2										
		△フ ラ ンス 語	2	△フ ラ ンス 語	2										
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1										
		※生涯スポーツ演習Ⅱ	1												
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目													
		必修科目	史学概論	2	史学概論	2					卒業論文	8			
		専門教育科目	各専修共通	考古学概論	2	考古学概論	2	考古学	2	考古学	2	考古学	2	考古学	2
				日本史概論	2	日本史概論	2	東洋史概論	2	東洋史概論	2	西洋史概論	2	西洋史概論	2
専修	考古学		2	考古学	2	考古学	2	考古学	2	考古学	2	考古学	2		
	日本史		2	日本史	2	東洋史	2	東洋史	2	西洋史	2	西洋史	2		
	東洋史		2	東洋史	2	東洋史	2	東洋史	2	西洋史	2	西洋史	2		
	西洋史		2	西洋史	2	西洋史	2	西洋史	2	西洋史	2	西洋史	2		
選択科目	地域史概論		2	対外交渉史	2	国際関係史	2	国際関係史	2	国際関係史	2	国際関係史	2		
	文化人類学		2	文化人類学	2	文化人類学	2	文化人類学	2	文化人類学	2	文化人類学	2		
関連教育科目	社会科学		2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2		
	思想史		2	思想史	2	思想史	2	思想史	2	思想史	2	思想史	2		
	政治学	2	政治学	2	政治学	2	政治学	2	政治学	2	政治学	2			
	経済学	2	経済学	2	経済学	2	経済学	2	経済学	2	経済学	2			
	現代	2	現代	2	現代	2	現代	2	現代	2	現代	2			
	新	2	新	2	新	2	新	2	新	2	新	2			
	タ	2	タ	2	タ	2	タ	2	タ	2	タ	2			
	一	2	一	2	一	2	一	2	一	2	一	2			
	法	2	法	2	法	2	法	2	法	2	法	2			
	門	2	門	2	門	2	門	2	門	2	門	2			
学	2	学	2	学	2	学	2	学	2	学	2				

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読 (考古学専修については、考古学方法論 (含、実習)) 及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成30年度入学生 (LH18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目 単位互換科目	4 単位			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 40 単位以上			
	選択科目…………… 20 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4年次選択必修科目の各特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成30年度入学生 (LH18台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	西洋	学A	2	西洋	学B	2	日西	学A	2	日西	学B	2	
	国文	学A	2	国文	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日経	学A	2	日経	学B	2	
	経商	学A	2	経商	学B	2	社学	学A	2	社学	学B	2	
自然科学	数物	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2	
	理地	学A	2	自然	学A	2	環境	学A	2	地球	学A	2	
総合系科目	文化	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	【科学・技術・情報と社会】	学A	2	
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学いかに学ぶか	学A	2	
育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次						
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位				
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1								
	第2	△ドイ ツ 語 I A	2	△ドイ ツ 語 II B	2								
		△ラッ ス 語 I A	2	△ラッ ス 語 II B	2								
		△中 国 語 I A	2	△中 国 語 II B	2								
		△スベ イ 語 I A	2	△スベ イ 語 II B	2								
		△朝 鮮 語 I A	2	△朝 鮮 語 II B	2								
		△シ ン ア 語 I A	2	△シ ン ア 語 II B	2								
		△ロ シ ン ア 語 I A	2	△ロ シ ン ア 語 II B	2								
		△シ ン ア 語 I B	2	△シ ン ア 語 II B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学	学A	2				卒業論文	8				
		歴史	学A	2									
	選択必修科目	考古学	学A	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2			
		東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2			
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2			
		東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2			
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2			
		東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2			
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2			
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2			
選択科目	地域史概論	学A	2	対外交渉史	学A	2	国際関係史	学A	2				
	西洋史の文化と歴史A	学A	2	西洋史の文化と歴史B	学A	2	西洋史の文化と歴史C	学A	2				
関連教育科目	社会科学思想史	学A	2	文化人類学特講	学A	2	アジアの思想史Ⅱ	学A	2				
	比較文学概論	学A	2	社会人類学	学A	2	アジア宗教文化論Ⅰ	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	ギリシヤ語	学A	2	【アジア宗教文化論Ⅱ】	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	テネン語	学A	2	【知識の理論】	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅱ	学A	2	【宗教哲学入門】	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅲ	学A	2	応用倫理学	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅳ	学A	2	現代哲学	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅴ	学A	2	社会思想論	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅵ	学A	2	美術史	学A	2				
	日本文学概論	学A	2	日本語Ⅶ	学A	2	西郷南無	学A	2				

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成29年度入学生 (LH17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位				
(1) 共通教育科目	単位互換科目……………				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目……………	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 第1 年次選択必修科目の各概説は、8 単位以上修得し、第2 年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4 単位修得しなければならない。
- (3) 第3・4 年次選択必修科目の各特講は、12 単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4 年次の演習は、その専修の科目を12 単位以上修得し、そのうち8 単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4 年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 91、99を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成29年度入学生 (LH17台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	西洋	学A	2	西洋	学B	2	日西	学A	2	日西	学B	2	
	中国	学A	2	中国	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日経	学A	2	日経	学B	2	
	経済	学A	2	経済	学B	2	社商	学A	2	社商	学B	2	
自然科学	数物	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2	
	理の	学A	2	自然	学B	2	生活	学A	2	地球	学B	2	
総合系科目	地文	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	〔科学・技術・情報と社会〕	学A	2	
学修基盤科目	文化と教育	学A	2	現代を生きる	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1								
	第2	△ドイ ツ 語 I A 2 △ドイ ツ 語 II B 2 △ラッ ス 語 I A 2 △ラッ ス 語 II B 2 △中 国 語 I A 2 △中 国 語 II B 2 △ス ベ 語 I A 2 △ス ベ 語 II B 2 △朝 鮮 語 I A 2 △朝 鮮 語 II B 2 △ロ シ ア 語 I A 2 △ロ シ ア 語 II B 2	2	△海 外 英 語 研 修 I A 2 △海 外 英 語 研 修 II B 2 △フ ラ ン ス 語 I A 2 △フ ラ ン ス 語 II B 2 △中 国 語 I A 2 △中 国 語 II B 2 △ス ベ 語 I A 2 △ス ベ 語 II B 2 △朝 鮮 語 I A 2 △朝 鮮 語 II B 2 △ロ シ ア 語 I A 2 △ロ シ ア 語 II B 2	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学	学A	2							卒業論文	8	
		歴史	学B	2									
	各専修共通	考古学	学A	2			考古学	学A	2	考古学	学A	2	
		古本	学A	2			古本	学A	2	古本	学A	2	
		日東	学A	2			日東	学A	2	日東	学A	2	
		東西	学A	2			東西	学A	2	東西	学A	2	
	専修	考古学	学A	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		古本	学A	2	古本	学A	2	古本	学A	2	古本	学A	2
		日東	学A	2	日東	学A	2	日東	学A	2	日東	学A	2
		東西	学A	2	東西	学A	2	東西	学A	2	東西	学A	2
日本史修	日本史	学A	2	日本史	学A	2	日本史	学A	2	日本史	学A	2	
	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	
	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	
	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	
東洋史修	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	
	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	
	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	
	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	
西洋史修	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	
	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	原典	学A	2	
	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	基礎	学A	2	
	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	演習	学A	2	
選択科目	地域史	学A	2	対外交渉史	学A	2	〔日本の文化と歴史A〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史A〕	学A	2	
	〔考古学からみた文化と歴史A〕	学A	2	〔日本の文化と歴史B〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史B〕	学A	2	〔日本の文化と歴史C〕	学A	2	
	〔考古学からみた文化と歴史B〕	学A	2	〔日本の文化と歴史C〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史C〕	学A	2	〔日本の文化と歴史D〕	学A	2	
	〔考古学からみた文化と歴史C〕	学A	2	〔日本の文化と歴史D〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史D〕	学A	2	西洋の文化と歴史A〕	学A	2	
	〔考古学からみた文化と歴史D〕	学A	2	西洋の文化と歴史B〕	学A	2	西洋の文化と歴史C〕	学A	2	西洋の文化と歴史D〕	学A	2	
	西洋の文化と歴史A〕	学A	2	西洋の文化と歴史C〕	学A	2	西洋の文化と歴史D〕	学A	2	朝 鮮 史	学A	2	
	西洋の文化と歴史B〕	学A	2	朝 鮮 史	学A	2	欧 米 各 国 史	学A	2				
	西洋の文化と歴史D〕	学A	2	文化財概論	学A	2	文化財概論	学A	2				
	西洋の文化と歴史C〕	学A	2	文化財概論	学A	2	文化財概論	学A	2				
	西洋の文化と歴史D〕	学A	2	文化財概論	学A	2	文化財概論	学A	2				
関連教育科目	社会科学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	思想史	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 令和6年度入学生 (LJ24台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 91、100を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 令和6年度入学生 (LJ24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2	2	論理学A 2 東洋学A 2 宗教学研究A 2 日本文化学A 2 西日西文A 2	2	論理学B 2 東洋学B 2 宗教学研究B 2 日本文化学B 2 西日西文B 2	2	
		社会科学	法政学A 2 政治学A 2 教育心理学A 2	2	法経学A 2 社会学A 2 教育の原理・課程論A 2	2	日本国憲法A 2 社会心理学A 2 文化人類学A 2	2	政治学A 2 商学A 2 教育心理学A 2 文化人類学A 2	2	
		自然科学	数学入門A 2 物理の世界A 2 新しい地球科学A 2 自然科学与人間A 2	2	基礎数学A 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物科学A 2	2	統計学A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物科学A 2	2	化学入門A 2 物理科学入門A 2 地球科学入門A 2 自然科学入門A 2	2	
	総合科目	福岡大学で考える現代社会	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	データサイエンス・AI入門	2				
	外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI 1 ※フレッシュマンイングリッシュII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIV 1	1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1	1	海外英語研修	1			
		第2	△ドイツ語I A 2 △ドイツ語II A 2 △フランス語I A 2 △フランス語II A 2 △中国語I A 2 △中国語II A 2 △スペイン語I A 2 △スペイン語II A 2 △朝鮮語I A 2 △朝鮮語II A 2 △ロシア語I A 2 △ロシア語II A 2	2	△ドイツ語I B 2 △ドイツ語II B 2 △フランス語I B 2 △フランス語II B 2 △中国語I B 2 △中国語II B 2 △スペイン語I B 2 △スペイン語II B 2 △朝鮮語I B 2 △朝鮮語II B 2 △ロシア語I B 2 △ロシア語II B 2	2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1	※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目									
	専門教育科目	必修科目	日本文学史I 2 日本文学史II 2 日本文学講義I 2 日本文学講義II 2	2	日本語史I 2 日本語史II 2 日本語講義I 2 日本語講義II 2	2			卒業論文及び卒業論文指導	8	
			日本語学概論I 2 日本語学概論II 2 日本文学概論I 2 日本文学概論II 2	2	古代語調査研究法I 2 近代語調査研究法I 2 現代語調査研究法I 2 古典文学調査研究法I 2 古典文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法I 2 近代文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法III 2 古典文学及び比較文学調査研究法I 2 近代文学及び比較文学調査研究法I 2	2	古代語演習a 4 近代語演習a 4 現代語演習a 4 古典文学演習I a 4 古典文学演習II a 4 近代文学演習I a 4 近代文学演習II a 4 近代文学演習III a 4 古典文学及び比較文学演習a 4 近代文学及び比較文学演習a 4	4	古代語演習b 4 近代語演習b 4 現代語演習b 4 古典文学演習I b 4 古典文学演習II b 4 近代文学演習I b 4 近代文学演習II b 4 近代文学演習III b 4 古典文学及び比較文学演習b 4 近代文学及び比較文学演習b 4	4	
選択科目		地域文化研究I 2 地域文化研究II 2 地域文化研究III 2 近代文学及び比較文学講義I 2	2	日本語表現法I 2 日本語表現法II 2 漢学講義I 2 漢学講義II 2 近代文学及び比較文学講義II 2 近代文学及び比較文学講義III 2 日本語教育法I 2 日本語教育法II 2	2	日本語学特講I a 2 日本語学特講II a 2 日本語学特講III a 2 日本語学特講IV a 2 日本語学特講V a 2 日本語学特講VI a 2 日本文学特講I a 2 日本文学特講II a 2 日本文学特講III a 2 日本文学特講IV a 2 日本文学特講V a 2 日本文学特講VI a 2 日本文学特講VII a 2 日本文学特講VIII a 2 比較文学特講I a 2 比較文学特講II a 2 比較文学特講III a 2 比較文学特講IV a 2 社会言語学特講 2 日本語教育法III 2 日本語教育法IV 2	2	【日本語学特講I b】 2 【日本語学特講II b】 2 【日本語学特講III b】 2 【日本語学特講IV b】 2 【日本語学特講V b】 2 【日本語学特講VI b】 2 【日本文学特講I b】 2 【日本文学特講II b】 2 【日本文学特講III b】 2 【日本文学特講IV b】 2 【日本文学特講V b】 2 【日本文学特講VI b】 2 【日本文学特講VII b】 2 【日本文学特講VIII b】 2 【比較文学特講I b】 2 【比較文学特講II b】 2 【比較文学特講III b】 2 【比較文学特講IV b】 2 【心理言語学特講】 2 日本語教授法演習I 2 日本語教授法演習II 2	2		
		文化人類学特講 2 社会学類学 2 日本文学美術史 2 日本文学美術史 2 日本文学美術史 2 考古学概説A 2 考古学概説B 2 日本文学史概説A 2 日本文学史概説B 2 日本文学史概説C 2 東洋史概説A 2 東洋史概説B 2 西洋史概説A 2 西洋史概説B 2 英語学概説A 2 英語学概説B 2 スピーチ・コミュニケーション概説A 2 スピーチ・コミュニケーション概説B 2 コンピュータ入門I 2 コンピュータ入門II 2 コンピュータ思想 2 科学思想 2	2	イギリス文化・文学概説A 2 イギリス文化・文学概説B 2 アメリカ文化・文学概説A 2 アメリカ文化・文学概説B 2 言語学概説A 2 言語学概説B 2 歴史学資料論A 2 歴史学資料論B 2 地域史概説A 2 地域史概説B 2 憲法比較社会学 2 社会学文化心理学 2 コンピュータ入門IV 2 コンピュータ入門V 2 中国語文化概説A(文学) 2 韓国語文化概説A(文学) 2	2	ドイツ文学概説A 2 フランス文学概説A 2 比較文化論 2 【日本の文化と歴史A】 2 【日本の文化と歴史B】 2 【日本の文化と歴史C】 2 【東洋の文化と歴史A】 2 【東洋の文化と歴史B】 2 【東洋の文化と歴史C】 2 【西洋の文化と歴史A】 2 【西洋の文化と歴史B】 2 【西洋の文化と歴史C】 2 マス・コミュニケーション論 2 図書館概説A 2 図書館概説B 2 博物館概説A 2 博物館概説B 2	2	民俗文化論 2 【日本の文化と歴史B】 2 【日本の文化と歴史D】 2 【東洋の文化と歴史B】 2 【東洋の文化と歴史D】 2 【西洋の文化と歴史D】 2 西洋の文化と歴史論 2 メディア文化論 2 図書館資料B 2 朝鮮史 2 博物館経営論 2	2		
		他学部の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める授業科目									
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目									

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのち、III、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) ()内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 令和5年度入学生 (LJ23台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 91、100を参照すること。

年次別授業科目表（学科履修規程 第4条 別表）

人文学部 日本語日本文学科 令和5年度入学生（LJ23台）

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位		
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2	論理学A 2 宗東日西A 2 本洋文A 2 本洋文A 2 本洋文A 2	論理学B 2 宗東日西B 2 本洋文B 2 本洋文B 2 本洋文B 2	政治学A 2 法政商教心育A 2 社会学A 2 社会学B 2 社会学C 2	政治学B 2 法政商教心育B 2 社会学B 2 社会学C 2 社会学D 2	政治学C 2 法政商教心育C 2 社会学C 2 社会学D 2 社会学E 2	政治学D 2 法政商教心育D 2 社会学D 2 社会学E 2 社会学F 2	
		社会科学	法学A 2 政治学A 2 社会学A 2 社会学B 2 社会学C 2	法学B 2 政治学B 2 社会学B 2 社会学C 2 社会学D 2	社会学A 2 社会学B 2 社会学C 2 社会学D 2 社会学E 2	社会学B 2 社会学C 2 社会学D 2 社会学E 2 社会学F 2	社会学C 2 社会学D 2 社会学E 2 社会学F 2 社会学G 2	社会学D 2 社会学E 2 社会学F 2 社会学G 2 社会学H 2	社会学E 2 社会学F 2 社会学G 2 社会学H 2 社会学I 2	社会学F 2 社会学G 2 社会学H 2 社会学I 2 社会学J 2	
		自然科学	数学A 2 物理学A 2 化学A 2 生物学A 2 環境学A 2	数学B 2 物理学B 2 化学B 2 生物学B 2 環境学B 2	化学A 2 物理学A 2 生物学A 2 環境学A 2 社会学A 2	化学B 2 物理学B 2 生物学B 2 環境学B 2 社会学B 2	化学C 2 物理学C 2 生物学C 2 環境学C 2 社会学C 2	化学D 2 物理学D 2 生物学D 2 環境学D 2 社会学D 2	化学E 2 物理学E 2 生物学E 2 環境学E 2 社会学E 2	化学F 2 物理学F 2 生物学F 2 環境学F 2 社会学F 2	化学G 2 物理学G 2 生物学G 2 環境学G 2 社会学G 2
		総合科目	福岡大学で考える現代社会 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	データサイエンス・AI入門 2						
	外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI 1 ※フレッシュマンイングリッシュII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIV 1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1							
		第2	△ドイツ語I A 2 △ドイツ語I B 2 △フランス語I A 2 △フランス語I B 2 △中国語I A 2 △中国語I B 2 △スペイン語I A 2 △スペイン語I B 2 △朝鮮語I A 2 △朝鮮語I B 2 △ロシア語I A 2 △ロシア語I B 2	△ドイツ語II A 2 △ドイツ語II B 2 △フランス語II A 2 △フランス語II B 2 △中国語II A 2 △中国語II B 2 △スペイン語II A 2 △スペイン語II B 2 △朝鮮語II A 2 △朝鮮語II B 2 △ロシア語II A 2 △ロシア語II B 2							
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	※生涯スポーツ論 2								
	単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
	専門教育科目	必修科目	日本文学史I 2 日本文学史II 2 日本文学講読I 2 日本文学講読II 2	日本語学基礎演習 2	卒業論文及び卒業論文指導 8						
			日本文学概論I 2 日本文学概論II 2 日本文学概論III 2 日本文学概論IV 2	比較文学概論 2							
選択必修科目		地域文化研究 2 地域語研究 2 芸能研究 2 近代文学及び比較文学講読I 2	古代語調査研究法 2 近代語調査研究法 2 現代語調査研究法 2 古典文学調査研究法I 2 古典文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法I 2 近代文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法III 2 古典文学及び比較文学調査研究法 2 近代文学及び比較文学調査研究法 2	古代語演習a 4 近代語演習a 4 現代語演習a 4 古典文学演習I a 4 古典文学演習II a 4 近代文学演習I a 4 近代文学演習II a 4 近代文学演習III a 4 古典文学及び比較文学演習a 4 近代文学及び比較文学演習a 4	古代語演習b 4 近代語演習b 4 現代語演習b 4 古典文学演習I b 4 古典文学演習II b 4 近代文学演習I b 4 近代文学演習II b 4 近代文学演習III b 4 古典文学及び比較文学演習b 4 近代文学及び比較文学演習b 4						
		日本語学特講I a 2 日本語学特講II a 2 日本語学特講III a 2 日本語学特講IV a 2 日本語学特講V a 2 日本語学特講VI a 2 日本文学特講I a 2 日本文学特講II a 2 日本文学特講III a 2 日本文学特講IV a 2 日本文学特講V a 2 日本文学特講VI a 2 日本文学特講VII a 2 日本文学特講VIII a 2 比較文学特講I a 2 比較文学特講II a 2 比較文学特講III a 2 比較文学特講IV a 2 社会言語学特講 2	日本語学特講I b 2 日本語学特講II b 2 日本語学特講III b 2 日本語学特講IV b 2 日本語学特講V b 2 日本語学特講VI b 2 日本文学特講I b 2 日本文学特講II b 2 日本文学特講III b 2 日本文学特講IV b 2 日本文学特講V b 2 日本文学特講VI b 2 日本文学特講VII b 2 日本文学特講VIII b 2 比較文学特講I b 2 比較文学特講II b 2 比較文学特講III b 2 比較文学特講IV b 2 心理言語学特講 2								
		日本語教育法III 2 日本語教育法IV 2	日本語教授法演習I 2 日本語教授法演習II 2								
		ドイツ文学概論A 2 フランス文学概論A 2 比較文化論 2 [日本の文化と歴史A] 2 [日本の文化と歴史B] 2 [日本の文化と歴史C] 2 [東洋の文化と歴史A] 2 [東洋の文化と歴史B] 2 [東洋の文化と歴史C] 2 [西洋の文化と歴史A] 2 [西洋の文化と歴史B] 2 [西洋の文化と歴史C] 2 マス・コミュニケーション論 2 図書館概論 2 朝書館概論 2 博物館概論 2	ドイツ文学概論B 2 フランス文学概論B 2 民俗文化論 2 [日本の文化と歴史B] 2 [日本の文化と歴史C] 2 [東洋の文化と歴史B] 2 [東洋の文化と歴史C] 2 [西洋の文化と歴史B] 2 [西洋の文化と歴史C] 2 西洋の文化と歴史D 2 メディア文化論 2 図書館資料 2 朝書館資料 2 博物館経営論 2								
		イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2 言語学概論A 2 言語学概論B 2 歴史学資料論A 2 歴史学資料論B 2 地域史概論 2 憲法 2 比較社会学 2 社会学 2 文化地理学 2 コンピュータ入門IV 2 コンピュータ入門V 2 中国語文化概論A（文学） 2 韓国語文化概論A（文学） 2									
		文化人類学特講 2 社会学類学 2 日本文学美術史 2 日本文学美術史 2 考古学概説A 2 考古学概説B 2 日本史概説A 2 日本史概説B 2 東洋史概説A 2 東洋史概説B 2 西洋史概説A 2 西洋史概説B 2 英語学概論A 2 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 コンピュータ入門I 2 コンピュータ入門II 2 コンピュータ思想 2 科学思想 2									
		他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのち、III、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) []内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 令和4年度入学生 (LJ22台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 91、100を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 令和4年度入学生 (LJ22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		西洋史	学A	2	西洋史	学B	2	東洋史	学A	2	東洋史	学B	2
		西アジアの文化	学A	2	西アジアの文化	学B	2	本邦文化	学A	2	本邦文化	学B	2
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日本教育史	学A	2	政治教育	学A	2
		行政	学B	2	経済	学A	2	社会	学B	2	商教	学A	2
		心育	学B	2	教育の原理・課程論	学B	2	地文	学A	2	地理	学B	2
	自然科学	数学	学A	2	基礎	学B	2	統計	学A	2	物理	学A	2
		新理	学B	2	自然界と物質の化学	学B	2	生活	学B	2	地球	学B	2
		自然	学A	2	ミクロの生物科学	学B	2	マクロ	学B	2	自然	学B	2
	総合	学A	2	生命・健康と医療	学B	2	国際化と日本	学B	2	[科学・技術・情報と社会]	学B	2	
列目	学A	2	現代を生きる	学B	2								
学修	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	学B	2	データサイエンス・AI入門	学B	2					
科目	学A	2											
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1								
	第2	△ドイ ツ 語 I A B	2	△ドイ ツ 語 II A B	2								
		△フ ラ ンス 語 I A B	2	△フ ラ ンス 語 II A B	2								
		△中 国 語 I A B	2	△中 国 語 II A B	2								
		△ス ペ イ ン 語 I A B	2	△ス ペ イ ン 語 II A B	2								
		△朝 鮮 語 I A B	2	△朝 鮮 語 II A B	2								
		△ロ シ ア 語 I A B	2	△ロ シ ア 語 II A B	2								
		△シ ア 語 I A B	2	△シ ア 語 II A B	2								
		△シ ア 語 I B	2	△シ ア 語 II B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ論	2									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	日本文学史I	2	日本文学史I	2			卒業論文及び卒業論文指導	8				
		日本文学講義I	2	日本文学講義II	2								
	選択必修科目	日本語学概論I	2	古代語調査研究法	2	古代語演習a	4	古代語演習b	4				
		日本語学概論II	2	近代語調査研究法	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4				
		日本語学概論III	2	現代語調査研究法	2	現代語演習a	4	現代語演習b	4				
		日本語学概論IV	2	古典文学調査研究法I	2	古典文学演習Ia	4	古典文学演習Ib	4				
		比較文学概論	2	古典文学調査研究法II	2	古典文学演習IIa	4	古典文学演習IIb	4				
				近代文学調査研究法I	2	近代文学演習Ia	4	近代文学演習Ib	4				
				近代文学調査研究法II	2	近代文学演習IIa	4	近代文学演習IIb	4				
				近代文学調査研究法III	2	近代文学演習IIIa	4	近代文学演習IIIb	4				
		古典文学及び比較文学調査研究法	2	古典文学及び比較文学演習a	4	古典文学及び比較文学演習b	4						
選択科目	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語学特講Ia	2	日本語学特講Ib	2					
	地域語研究I	2	日本語表現法II	2	日本語学特講IIa	2	日本語学特講IIb	2					
	地域語研究II	2	漢学講義I	2	日本語学特講IIIa	2	日本語学特講IIIb	2					
	芸術研究I	2	漢学講義II	2	日本語学特講IVa	2	日本語学特講IVb	2					
	近代文学及び比較文学講義I	2	近代文学及び比較文学講義II	2	日本語学特講Va	2	日本語学特講Vb	2					
			近代文学及び比較文学講義III	2	日本語学特講VIa	2	日本語学特講VIb	2					
			日本語教育法I	2	日本文学特講Ia	2	日本文学特講Ib	2					
			日本語教育法II	2	日本文学特講IIa	2	日本文学特講IIb	2					
					日本文学特講IIIa	2	日本文学特講IIIb	2					
					日本文学特講IVa	2	日本文学特講IVb	2					
				日本文学特講Va	2	日本文学特講Vb	2						
				日本文学特講VIa	2	日本文学特講VIb	2						
				日本文学特講VIIa	2	日本文学特講VIIb	2						
				日本文学特講VIIIa	2	日本文学特講VIIIb	2						
				比較文学特講Ia	2	比較文学特講Ib	2						
				比較文学特講IIa	2	比較文学特講IIb	2						
				比較文学特講IIIa	2	比較文学特講IIIb	2						
				比較文学特講IVa	2	比較文学特講IVb	2						
				社会言語学特講	2	心理言語学特講	2						
				日本語教育法III	2	日本語教授法演習I	2						
				日本語教育法IV	2	日本語教授法演習II	2						
関連教育科目	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論A	2	ドイツ文学概論A	2	フランス文学概論B	2					
	社会学類	2	イギリス文化・文学概論B	2	ドイツ文学概論B	2	フランス文学概論A	2					
	日本美術史	2	アメリカ文化・文学概論A	2	比較文化論	2	民俗文化論	2					
	日本美術史	2	アメリカ文化・文学概論B	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2					
	考古学概説A	2	言語学概論A	2	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史D	2					
	考古学概説B	2	言語学概論B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2					
	日本史概説A	2	歴史学資料論A	2	東洋の文化と歴史C	2	西洋の文化と歴史D	2					
	日本史概説B	2	歴史学資料論B	2	[西洋の文化と歴史A]	2	[西洋の文化と歴史B]	2					
	東洋史概説A	2	地域史概論	2	西洋の文化と歴史C	2	西洋の文化と歴史D	2					
	東洋史概説B	2	憲法	2	マスメディア文化論	2	メディア文化論	2					
西洋史概説A	2	憲法	2	図書館概論	2	図書館資料論	2						
西洋史概説B	2	比較社会心理学	2	図書館概論	2	朝鮮史	2						
英語学概論A	2	文化地理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2						
英語学概論B	2	コンピュータ入門I	2	博物館概論	2								
スピーチ・コミュニケーション概論A	2	コンピュータ入門II	2										
スピーチ・コミュニケーション概論B	2	中国語文化概説A(文学)	2										
コンピュータ入門I	2	韓国語文化概説A(文学)	2										
コンピュータ入門II	2												
[現代新開学]													
科学思想史A	2												
科学思想史B	2												
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める授業科目													
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目													

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単元以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単元以上を履修しなければならない。
 (2) 演習はa、bにわたり8単元以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) [] 内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 令和3年度入学生 (LJ21台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
保健体育科目…………… 4 単位					
単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 24 単位以上				
	選択科目…………… 28 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 91、100を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 令和3年度入学生 (LJ21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2	2	論理科学A 2 宗東日西A 2 本洋文文学A 2 日本教文A 2	2	論理科学B 2 宗東日西B 2 本洋文文学B 2 日本教文B 2	2	
		社会科学	法政商教心育理A 2 政治学B 2 社会学B 2 心理学A 2	2	法経社教育の原理・課程論B 2 社会学A 2 心理学B 2	2	日経社地文文化人類学A 2 本国社会学B 2 社会心理学B 2	2	政商教心育理学A 2 政治学B 2 社会学B 2 文化人類学B 2	2	
		自然科学	数学入門A 2 物理の地球と宇宙A 2 新しい自然環境と人A 2	2	基礎数学A 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物科学A 2	2	統計学A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物学A 2	2	物理科学入門A 2 文化人類学入門A 2 地球科学入門A 2	2	
		総合科目	地球環境と文化と教育A 2 福大生のためのキャリアデザインA 2	2	生命・健康と医療A 2 現代を生きるA 2	2	国際化と日本A 2	2	[科学・技術・情報と社会]A 2	2	
	外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI 1 ※フレッシュマンイングリッシュII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIII 1 ※フレッシュマンイングリッシュIV 1	1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1	1					
			△△ドイ ツ 語 I A B 2 △△イ ン グ リ ッ シ ュ I I A B 2 △△フ ラ ン ス 語 I I A B 2 △△中 国 語 I I A B 2 △△ス ペ イ ン 語 I I A B 2 △△朝 鮮 語 I I A B 2 △△ロ シ ア 語 I I A B 2	2	△△ドイ ツ 語 II A B 2 △△イ ン グ リ ッ シ ュ II I A B 2 △△フ ラ ン ス 語 II I A B 2 △△中 国 語 II I A B 2 △△ス ペ イ ン 語 II I A B 2 △△朝 鮮 語 II I A B 2 △△ロ シ ア 語 II I A B 2	2					
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1	※生涯スポーツ論 2	2					
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目								
		専門教育科目	必修科目	日本文学史I 2 日本文学史II 2 日本文学講読I 2 日本語日本文学基礎演習 2	2	日本語史I 2 日本語史II 2 日本文学講読II 2 古典文学講読II 2	2			卒業論文及び卒業論文指導 8	
			選択必修科目	古代語調査研究法I 2 近代語調査研究法I 2 現代語調査研究法I 2 古典文学調査研究法I 2 近代文学調査研究法I 2 近代文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法III 2 古典文学及び比較文学調査研究法I 2 近代文学及び比較文学調査研究法I 2	2	古代語調査研究法II 2 近代語調査研究法II 2 現代語調査研究法II 2 古典文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法II 2 近代文学調査研究法III 2 古典文学及び比較文学調査研究法II 2 近代文学及び比較文学調査研究法II 2	2	古代語演習a 4 近代語演習a 4 現代語演習a 4 古典文学演習I a 4 古典文学演習II a 4 近代文学演習I a 4 近代文学演習II a 4 近代文学演習III a 4 古典文学及び比較文学演習a 4 近代文学及び比較文学演習a 4	4	古代語演習b 4 近代語演習b 4 現代語演習b 4 古典文学演習I b 4 古典文学演習II b 4 近代文学演習I b 4 近代文学演習II b 4 近代文学演習III b 4 古典文学及び比較文学演習b 4 近代文学及び比較文学演習b 4	4
選択科目	選択科目	地域文化研究I 2 地域文化研究II 2 地域文化研究III 2 近代文学及び比較文学講読I 2	2	日本語表現法I 2 日本語表現法II 2 漢文学講読I 2 漢文学講読II 2 近代文学及び比較文学講読II 2 近代文学及び比較文学講読III 2 日本語教育法I 2 日本語教育法II 2	2	日本語学特講I a 2 日本語学特講II a 2 日本語学特講III a 2 日本語学特講IV a 2 日本語学特講V a 2 日本語学特講VI a 2 日本文学特講I a 2 日本文学特講II a 2 日本文学特講III a 2 日本文学特講IV a 2 日本文学特講V a 2 日本文学特講VI a 2 日本文学特講VII a 2 日本文学特講VIII a 2 比較文学特講I a 2 比較文学特講II a 2 比較文学特講III a 2 比較文学特講IV a 2 社会言語学特講 2	2	日本語学特講I b 2 日本語学特講II b 2 日本語学特講III b 2 日本語学特講IV b 2 日本語学特講V b 2 日本語学特講VI b 2 日本文学特講I b 2 日本文学特講II b 2 日本文学特講III b 2 日本文学特講IV b 2 日本文学特講V b 2 日本文学特講VI b 2 日本文学特講VII b 2 日本文学特講VIII b 2 比較文学特講I b 2 比較文学特講II b 2 比較文学特講III b 2 比較文学特講IV b 2 心理言語学特講 2	2		
		文化人類学特講 2 社会学類学 2 日本美術史 2 日本文学概論A 2 日本文学概論B 2 考古学概論A 2 考古学概論B 2 日本文学史概論A 2 日本文学史概論B 2 日本文学史概論C 2 日本文学史概論D 2 西洋史概論A 2 西洋史概論B 2 英語学概論A 2 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 コンピュータ入門I 2 コンピュータ入門II 2 [現代新]科学思想史A 2 科学思想史B 2	2	イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2 言語学概論A 2 言語学概論B 2 歴史学資料論A 2 歴史学資料論B 2 地域史概論 2 憲法 2 比較社会学 2 社会学 2 文化地理学 2 コンピュータ入門III 2 コンピュータ入門IV 2 中国語文化概論A(文学) 2 韓国語文化概論A(文学) 2	2	ドイツ文学概論A 2 ドイツ文学概論B 2 比較文化論 2 [日本の文化と歴史]A 2 [日本の文化と歴史]B 2 [日本の文化と歴史]C 2 [日本の文化と歴史]D 2 [東洋の文化と歴史]A 2 [東洋の文化と歴史]B 2 [東洋の文化と歴史]C 2 [東洋の文化と歴史]D 2 [西洋の文化と歴史]A 2 [西洋の文化と歴史]B 2 [西洋の文化と歴史]C 2 [西洋の文化と歴史]D 2 マス・コミュニケーション論 2 図書館概論 2 朝鮮史 2 博物館概論 2 博物館資料論 2	2				
関連教育科目	他大学の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める授業科目										
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目									

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) []内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 令和2年度入学生 (LJ20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目			
		学修基盤科目			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 24 単位以上				
	選択科目…………… 28 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 91、100を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 令和2年度入学生 (LJ20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 倫理学A 西洋史A アジアの文化A 芸術A	2 2 2 2 2	哲学B 倫理学B 西洋史B アジアの文化B 芸術B	2 2 2 2 2	論理科学A 東洋史A 日本文化A 西文法A 本邦教育史A	2 2 2 2 2	論理科学B 東洋史B 本洋文法B 西文法B 洋文教育史B	2 2 2 2 2
		社会科学	法政商教心育理 政治学B 社会学B 心理学A	2 2 2 2	法経社心 経済学A 社会学A 教育の原理・課程論B	2 2 2 2	日本国憲 社会心理学A 文化人類学A	2 2 2	政治商教心育理 政治学A 社会学A 心理学B	2 2 2 2
		自然科学	数学入門 世界の地理 新地球科学 自然環境と人間	2 2 2 2	基礎数学 自然界と物質の科学 ミクロの生物学	2 2 2	統計学 生活と環境の化学 マクロ生物学	2 2 2	物理科学入門 化学人類学入門 地球科学入門 自然科学入門	2 2 2 2
	総合学列目 学修基盤目	地球環境文化と教育 福大生のためのキャリアデザイン	2 2	生命・健康と医療 現代を生きる 福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2 2 2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2	
	外国語科目	第1	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
			授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
	専門教育科目	必修科目	日本語学概論I	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1				
			日本語学概論II	1	※インターメディアイトイングリッシュII	1				
		選択必修科目	△ドイツ語I	2	△ドイツ語II	2				
			△フランス語I	2	△フランス語II	2				
△中国語I			2	△中国語II	2					
△スペイン語I			2	△スペイン語II	2					
△朝鮮語I			2	△朝鮮語II	2					
△ロシア語I			2	△ロシア語II	2					
※生涯スポーツ演習I			1	※生涯スポーツ論	2					
※生涯スポーツ演習II			1							
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が*適当と認める科目									
必修科目	日本文学史I	2	日本文学史II	2			卒業論文及び卒業論文指導	8		
	日本文学講義I	2	日本文学講義II	2						
選択科目	日本語学概論I	2	古代語調査研究法I	2	古代語演習a	4	古代語演習b	4		
	日本語学概論II	2	近代語調査研究法I	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4		
	日本語学概論III	2	現代語調査研究法I	2	現代語演習a	4	現代語演習b	4		
	日本語学概論IV	2	古典文学調査研究法I	2	古典文学演習I a	4	古典文学演習I b	4		
	比較文学概論	2	近代文学調査研究法I	2	近代文学演習I a	4	近代文学演習I b	4		
			近代文学調査研究法II	2	近代文学演習II a	4	近代文学演習II b	4		
			近代文学調査研究法III	2	近代文学演習III a	4	近代文学演習III b	4		
			古典文学及び比較文学調査研究法I	2	古典文学及び比較文学演習a	4	古典文学及び比較文学演習b	4		
			近代文学及び比較文学調査研究法II	2	近代文学及び比較文学演習a	4	近代文学及び比較文学演習b	4		
			近代文学及び比較文学調査研究法III	2	近代文学及び比較文学演習a	4	近代文学及び比較文学演習b	4		
選択科目	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語学特講I a	2	[日本語学特講I b]	2		
	地域語研究	2	日本語表現法II	2	日本語学特講II a	2	[日本語学特講II b]	2		
	漢学研究	2	漢学講義I	2	日本語学特講III a	2	[日本語学特講III b]	2		
	漢学研究II	2	漢学講義II	2	日本語学特講IV a	2	[日本語学特講IV b]	2		
	近代文学及び比較文学講義I	2	近代文学及び比較文学講義I	2	日本語学特講V a	2	[日本語学特講V b]	2		
			近代文学及び比較文学講義II	2	日本語学特講VI a	2	[日本語学特講VI b]	2		
			近代文学及び比較文学講義III	2	日本文学特講I a	2	[日本文学特講I b]	2		
			日本語教育法I	2	日本文学特講II a	2	[日本文学特講II b]	2		
			日本語教育法II	2	日本文学特講III a	2	[日本文学特講III b]	2		
					日本文学特講IV a	2	[日本文学特講IV b]	2		
関連教育科目	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論A	2	ドイツ文学概論A	2	フランス文学概論B	2		
	社会学類	2	イギリス文化・文学概論B	2	ドイツ文学概論B	2	フランス文学概論A	2		
	日本美術史	2	アメリカ文化・文学概論A	2	比較文化論	2	民俗文化論	2		
	日本美術史II	2	アメリカ文化・文学概論B	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2		
	考古学概説A	2	言語学概論A	2	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史D	2		
	考古学概説B	2	言語学概論B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2		
	考古学概説C	2	歴史学資料論A	2	東洋の文化と歴史C	2	西洋の文化と歴史D	2		
	考古学概説D	2	歴史学資料論B	2	[西洋の文化と歴史A]	2	[西洋の文化と歴史B]	2		
	東洋史概説A	2	地域史概論	2	西洋の文化と歴史C	2	西洋の文化と歴史D	2		
	東洋史概説B	2	憲法II	2	マス・コミュニケーション論	2	メディア文化論	2		
西洋史概説A	2	比較社会心理学	2	図書館概論	2	図書館資料論	2			
西洋史概説B	2	文化地理学	2	朝鮮史	2	朝鮮史	2			
英語学概論A	2	社会心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2			
英語学概論B	2	文化地理学	2	博物館資料論	2					
スピーチ・コミュニケーション概論A	2	コンピュータ入門III	2							
スピーチ・コミュニケーション概論B	2	コンピュータ入門IV	2							
コンピュータ入門I	2	中国語文化概説A(文学)	2							
コンピュータ入門II	2	韓国語文化概説A(文学)	2							
[現代新開学]										
科学思想史A	2									
科学思想史B	2									
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) []内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和6年度入学生 (LP24台)

【卒業要件】



(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和6年度入学生 (LP24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育	総合教養科目	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		日西	学A	2	日西	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2
		アジア	学A	2	アジア	学B	2	西日	学A	2	西日	学B	2
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
		商治	学A	2	商治	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2
	自然科学	数入	学A	2	数入	学B	2	日西	学A	2	日西	学B	2
		理地	学A	2	理地	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
	総合系科目	福岡大学で考える現代社会		2	アカデミックスキルズゼミⅠ		2	アカデミックスキルズゼミⅡ		2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか		2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト(イングリッシュ)Ⅰ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1					
※フレッシュマン・イングリッシュⅡ			1	※インターメディアイト(イングリッシュ)Ⅱ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1						
第2		△[ド] イ ツ 語 I A	2	△[ド] イ ツ 語 II A	2								
		△[フ] ラ ンス 語 I A	2	△[フ] ラ ンス 語 II A	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1											
専門教育	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅲ	2				
		基礎演習I	2	基礎演習II	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅳ	2				
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2								
		発達心理学	2	発達心理学	2								
	共通科目群	心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
	公認心理師科目群	心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
	キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2								
		キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2								
学校教員科目群	学校教員	2	学校教員	2									
	学校教員	2	学校教員	2									
関連教育科目	コンピュータ入門Ⅰ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2									
	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2									
	教育方法とICTの活用	2	教育方法とICTの活用	2									
	生徒指導論(進路指導を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2									
	教育相談	2	教育相談	2									
	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史A]	2									
	[日本の文化と歴史B]	2	[日本の文化と歴史B]	2									
	[日本の文化と歴史C]	2	[日本の文化と歴史C]	2									
	[日本の文化と歴史D]	2	[日本の文化と歴史D]	2									
	[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史A]	2									

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和5年度入学生 (LP23台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和5年度入学生 (LP23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理教養学A	2	論理教養学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗東日西文	2	宗東日西文	2
		本洋の文	2	本洋の文	2	本洋の文	2	本洋の文	2
		史学A	2	史学B	2	史学A	2	史学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	憲法史学A	2	憲法史学B	2
		教育心理学A	2	教育心理学B	2	教育心理学A	2	教育心理学B	2
	自然科学	入門基礎	2	入門基礎	2	統計学A	2	統計学B	2
		新しい地球観	2	新しい地球観	2	化学入門	2	化学入門	2
	総合科目	福岡大学で考える現代社会	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
	教育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
単位		単位		単位		単位			
※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		アドバンスト・イングリッシュⅠ		アドバンスト・イングリッシュⅠ			
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1				
		海外英語研修	2	海外英語研修	2				
	第2	△[ド] イ ツ 語 I A	2	△[ド] イ ツ 語 II A	2				
		△[ド] フ ラ ンス 語 I A	2	△[ド] フ ラ ンス 語 II A	2				
		△[フ] ラ ンス 語 I A	2	△[フ] ラ ンス 語 II A	2				
		△[中] 国 語 I A	2	△[中] 国 語 II A	2				
		△[中] ス ペ ー ン 語 I A	2	△[中] ス ペ ー ン 語 II A	2				
		△[朝] 鮮 語 I A	2	△[朝] 鮮 語 II A	2				
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅲ	2
		キャリア形成基礎論Ⅰ	2	キャリア形成基礎論Ⅱ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅳ	2
		教育心理学概論Ⅰ	2	教育心理学概論Ⅱ	2				
		臨床心理学概論	2						
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2				
		発達心理学	2	発達心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2				
共通科目群	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
公認心理師科目群	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
キャリアデザイン科目群	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
学校教員科目群	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	卒心	2	卒心	2	
関連教育科目	コンピュータ入門Ⅰ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	教育方法とICTの活用	2	教育方法とICTの活用	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	生徒指導論(進路指導を含む。)	2	生徒指導論(進路指導を含む。)	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	教育相談	2	教育相談	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	日本の文化と歴史A	2	日本の文化と歴史A	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	日本の文化と歴史B	2	日本の文化と歴史B	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史C	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	日本の文化と歴史D	2	日本の文化と歴史D	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	東洋の文化と歴史A	2	東洋の文化と歴史A	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	東洋の文化と歴史B	2	東洋の文化と歴史B	2	
コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	東洋の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史C	2		
コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	東洋の文化と歴史D	2	東洋の文化と歴史D	2		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [] 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和4年度入学生 (LP22台)

【卒業要件】



※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和4年度入学生 (LP22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育	総合教養科目	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		日西	学A	2	日西	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2
		文の	学A	2	文の	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
	社会科学	政治	学B	2	政治	学A	2	政治	学B	2	政治	学A	2
		教育	学B	2	教育	学A	2	教育	学B	2	教育	学A	2
	自然科学	数学	学A	2	数学	学B	2	数学	学A	2	数学	学B	2
		物理	学A	2	物理	学B	2	物理	学A	2	物理	学B	2
	総合科目	地球環境	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	〔科学・技術・情報と社会〕	学A	2
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	現代を生きる	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	学A	2
専門教育	第1年次	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1						
	第2年次	△ドイツ語Ⅰ	2	△ドイツ語Ⅰ	2								
		△フランス語Ⅰ	2	△フランス語Ⅰ	2								
		△中国語Ⅰ	2	△中国語Ⅰ	2								
		△ベトナム語Ⅰ	2	△ベトナム語Ⅰ	2								
		△朝鮮語Ⅰ	2	△朝鮮語Ⅰ	2								
		△ロシア語Ⅰ	2	△ロシア語Ⅰ	2								
		△シンガポール語Ⅰ	2	△シンガポール語Ⅰ	2								
		△シンガポール語Ⅱ	2	△シンガポール語Ⅱ	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅲ	2				
		基礎演習I	2	基礎演習II	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅳ	2				
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2								
		発達心理学	2	発達心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
共通科目群	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
科目群	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
科目群	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
	心理学	2	心理学	2	心理学的支援法	2	卒心	2	卒業研究	6	卒心	2	
関連教育科目	コンピュータ入門Ⅰ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2							
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅲ	2	教育方法とICTの活用	2							
	現代新学	2	現代新学	2	生徒指導論(進路指導を含む。)	2							
	現代新学	2	現代新学	2	教育相談	2							
	現代新学	2	現代新学	2	社会教育実習	1							
	現代新学	2	現代新学	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔西洋の文化と歴史A〕	2					
	現代新学	2	現代新学	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔西洋の文化と歴史B〕	2					
	現代新学	2	現代新学	2	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔西洋の文化と歴史C〕	2					
	現代新学	2	現代新学	2	〔日本の文化と歴史D〕	2	〔西洋の文化と歴史D〕	2					
	現代新学	2	現代新学	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2					

(注) (1) []内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和3年度入学生 (LP21台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上		計16単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 12 単位以上			
	選択科目…………… 30 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

(注) 第2 外国語は、同一外国語で8 単位を修得しなければならない。8 単位を超えて修得した第2 外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和3年度入学生 (LP21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	総合教養科目	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		日西	学A	2	日西	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2
		アジアの文	学A	2	アジアの文	学B	2	西日	学A	2	西日	学B	2
	社会科学	法政商	学A	2	法政商	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
		治育	学A	2	治育	学B	2	文文	学A	2	文文	学B	2
	自然科学	教新	学A	2	教新	学B	2	本教	学A	2	本教	学B	2
		理入	学A	2	理入	学B	2	育憲	学A	2	育憲	学B	2
	総合系列 学修基盤 科目	地文	学A	2	地文	学B	2	史法	学A	2	史法	学B	2
		球環	学A	2	球環	学B	2	政西	学A	2	政西	学B	2
教育科目	第1年次	基礎	学A	2	基礎	学B	2	文類	学A	2	文類	学B	2
		理観	学A	2	理観	学B	2	史法	学A	2	史法	学B	2
		自界	学A	2	自界	学B	2	政西	学A	2	政西	学B	2
		ミク	学A	2	ミク	学B	2	文類	学A	2	文類	学B	2
	第2年次	基礎	学A	2	基礎	学B	2	文類	学A	2	文類	学B	2
		自界	学A	2	自界	学B	2	史法	学A	2	史法	学B	2
	第3年次	基礎	学A	2	基礎	学B	2	文類	学A	2	文類	学B	2
		自界	学A	2	自界	学B	2	史法	学A	2	史法	学B	2
	第4年次	基礎	学A	2	基礎	学B	2	文類	学A	2	文類	学B	2
		自界	学A	2	自界	学B	2	史法	学A	2	史法	学B	2
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	アドバンスト・イングリッシュI	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	アドバンスト・イングリッシュII	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1								
	第2	△[ド]	語I	2	△[ド]	語II	2						
		△[イ]	語I	2	△[イ]	語II	2						
		△[フ]	語I	2	△[フ]	語II	2						
		△[中]	語I	2	△[中]	語II	2						
		△[ス]	語I	2	△[ス]	語II	2						
		△[朝]	語I	2	△[朝]	語II	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1									
	※生涯スポーツ演習II	1											
専門教育科目	必修科目	基礎	学A	2	基礎	学B	2	専	学A	2	専	学B	2
		演習	学A	2	演習	学B	2	門	学A	2	門	学B	2
	選択必修科目	教育	学A	2	教育	学B	2						
		学人	学A	2	学人	学B	2						
	共通科目群	心知	学A	2	心知	学B	2	卒	学A	6	卒	学B	6
		理障	学A	2	理障	学B	2	心	学A	2	心	学B	2
		社精	学A	2	社精	学B	2	業	学A	2	業	学B	2
		人構	学A	2	人構	学B	2	理	学A	2	理	学B	2
		関公	学A	2	関公	学B	2	研	学A	2	研	学B	2
		認心	学A	2	認心	学B	2	究	学A	2	究	学B	2
選択科目群	心知	学A	2	心知	学B	2	心	学A	2	心	学B	2	
	理障	学A	2	理障	学B	2	理	学A	2	理	学B	2	
	社精	学A	2	社精	学B	2	演	学A	2	演	学B	2	
	人構	学A	2	人構	学B	2	習	学A	2	習	学B	2	
	関公	学A	2	関公	学B	2	実	学A	2	実	学B	2	
	認心	学A	2	認心	学B	2	習	学A	2	習	学B	2	
キャリアデザイン	心知	学A	2	心知	学B	2	卒	学A	6	卒	学B	6	
	理障	学A	2	理障	学B	2	心	学A	2	心	学B	2	
	社精	学A	2	社精	学B	2	業	学A	2	業	学B	2	
	人構	学A	2	人構	学B	2	理	学A	2	理	学B	2	
	関公	学A	2	関公	学B	2	演	学A	2	演	学B	2	
	認心	学A	2	認心	学B	2	習	学A	2	習	学B	2	
学校教員	心知	学A	2	心知	学B	2	卒	学A	6	卒	学B	6	
	理障	学A	2	理障	学B	2	心	学A	2	心	学B	2	
	社精	学A	2	社精	学B	2	業	学A	2	業	学B	2	
	人構	学A	2	人構	学B	2	理	学A	2	理	学B	2	
	関公	学A	2	関公	学B	2	演	学A	2	演	学B	2	
	認心	学A	2	認心	学B	2	習	学A	2	習	学B	2	
関連教育科目	コビ	学A	2	コビ	学B	2	総	学A	2	総	学B	2	
	ンビ	学A	2	ンビ	学B	2	合	学A	2	合	学B	2	
	ユ一	学A	2	ユ一	学B	2	的	学A	2	的	学B	2	
	タ入	学A	2	タ入	学B	2	支	学A	2	支	学B	2	
	タ入	学A	2	タ入	学B	2	援	学A	2	援	学B	2	
	門入	学A	2	門入	学B	2	法	学A	2	法	学B	2	
	門入	学A	2	門入	学B	2	的	学A	2	的	学B	2	
	門入	学A	2	門入	学B	2	ア	学A	2	ア	学B	2	
	門入	学A	2	門入	学B	2	セ	学A	2	セ	学B	2	
	門入	学A	2	門入	学B	2	シ	学A	2	シ	学B	2	

(注) (1) () 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和2年度入学生 (LP20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12 単位以上				
	選択科目…………… 30 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和2年度入学生 (LP20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		倫理A	2	倫理B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
		日本文学A	2	日本文学B	2	東洋文学A	2	東洋文学B	2	
		西学A	2	西学B	2	本邦文化A	2	本邦文化B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	社会学A	2	社会学B	2	
		法政学A	2	法政学B	2	教育史A	2	教育史B	2	
		心理学A	2	心理学B	2	心理学A	2	心理学B	2	
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2	
		生物A	2	生物B	2	地球科学A	2	地球科学B	2	
		環境学A	2	環境学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
総合科目	現代社会と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	〔科学・技術・情報と社会〕	2		
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	第1年次				第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュII	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1					
	第2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2					
		△[ラ] フ	2	△[ラ] フ	2					
		△[中] 中	2	△[中] 中	2					
		△[ス] ス	2	△[ス] ス	2					
		△[朝] 朝	2	△[朝] 朝	2					
		△[ロ] シ	2	△[ロ] シ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1						
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習I	2	専門演習II	2	
		キャリア形成基礎論I	2	キャリア形成基礎論II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2	
		教育心理学概論I	2	教育心理学概論II	2					
		臨床心理学概論	2							
	選択必修科目	教育・学校心理学	2	心理・発達心理学	2					
		教育心理学	2	心理・発達心理学	2					
		教育心理学	2	心理・発達心理学	2					
		教育心理学	2	心理・発達心理学	2					
		教育心理学	2	心理・発達心理学	2					
		教育心理学	2	心理・発達心理学	2					
共通科目群	心理学	2	心理学	2						
	心理学	2	心理学	2						
	心理学	2	心理学	2						
	心理学	2	心理学	2						
	心理学	2	心理学	2						
	心理学	2	心理学	2						
選択科目群	公認心理師科目群	心理学的支援方法	2	心理学的アセスメント	2	卒心	2	卒業研究	6	
		社会的・集団・家族心理学	2	精神疾患とその治療	2	心理	2	演習	2	
		人間の構造と機能	2	公認心理師の職責	2					
		関係行	2							
	キャリアデザイン科目群	労働と法制度	2	地域教育	2	キャリアデザイン調査実習II	2	社会教育	2	
		キャリアカウンセリング	2	社会教育	2	社会教育	2	社会教育	2	
		キャリアデザイン調査実習I	2	キャリアデザイン調査実習II	2					
		キャリアデザイン調査実習II	2	キャリアデザイン調査実習III	2					
		キャリアデザイン調査実習III	2	キャリアデザイン調査実習IV	2					
		キャリアデザイン調査実習IV	2	キャリアデザイン調査実習V	2					
学校教員科目群	クロバリエーションと教育	2	カリキュラム実践	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
関連教育科目	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
	教育方法	2	教育方法	2						
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) () 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 平成31年度入学生 (LP19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	}	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12 単位以上				
	選択科目…………… 30 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成31年度入学生 (LP19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	総合教養科目	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		日西	学A	2	日西	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2
		アジアの文	学A	2	アジアの文	学B	2	本洋文	学A	2	本洋文	学B	2
	社会科学	法政商	学A	2	法政商	学B	2	本教	学A	2	本教	学B	2
		治育	学A	2	治育	学B	2	育憲	学A	2	育憲	学B	2
	自然科学	教新	学A	2	教新	学B	2	地文	学A	2	地文	学B	2
		理い	学A	2	理い	学B	2	化計	学A	2	化計	学B	2
	総合系科目	地文	学A	2	地文	学B	2	統計	学A	2	統計	学B	2
		学修	学A	2	学修	学B	2	マク	学A	2	マク	学B	2
教育科目	第1年次	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	アドバンス・イングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュII	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※フレッシュマン・イングリッシュIV	1								
		△「ドイ」	2	△「ドイ」	2								
		△「フ」	2	△「フ」	2								
	第2年次	△「中」	2	△「中」	2								
		△「ス」	2	△「ス」	2								
		△「朝」	2	△「朝」	2								
		△「ロ」	2	△「ロ」	2								
	第3年次	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
専門教育科目	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習I	2	専門演習II	2				
		基礎演習C	2	基礎演習D	2	専門演習III	2	専門演習IV	2				
		基礎演習E	2	基礎演習F	2								
		基礎演習G	2	基礎演習H	2								
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2								
		発達心理学	2	発達心理学	2								
		臨床心理学	2	臨床心理学	2								
		教育心理学	2	教育心理学	2								
	共通科目群	心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
選択科目群	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
学校教員	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
関連教育科目	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									
	心理学	2	心理学	2									

(注) (1) () 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 平成30年度入学生 (LP18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12 単位以上				
	選択科目…………… 30 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 91を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成30年度入学生 (LP18台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目				
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	論理学C	2	論理学D	2	論理学E	2	論理学F	2
		社会科学	法政学A	2	法政学B	2	法政学C	2	法政学D	2	法政学E	2	法政学F	2	法政学G	2	法政学H	2
		自然科学	数理学A	2	数理学B	2	数理学C	2	数理学D	2	数理学E	2	数理学F	2	数理学G	2	数理学H	2
		総合系科目	現代教育	2	アカデミックスキルズゼミI	2	国際化と日本	2	アカデミックスキルズゼミII	2	〔科学・技術・情報と社会〕	2	福岡大学を学ぶ	2	福岡大学でいかに学ぶか	2		
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	アドバンスト・イングリッシュI	1	アドバンスト・イングリッシュII	1								
			△△ドイ ツ語 I A	2	△△ドイ ツ語 II A	2												
		第2	△△イラ ス語 I A	2	△△イラ ス語 II A	2												
			△△中 国語 I A	2	△△中 国語 II A	2												
			△△スベ イ語 I A	2	△△スベ イ語 II A	2												
			△△朝 鮮語 I A	2	△△朝 鮮語 II A	2												
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ論	2														
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が相当と認める科目																	
専門教育科目	必修科目	基礎演習A I I	2	基礎演習B	2	専門演習I	2	専門演習II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2					
		基礎演習A II	2	基礎演習B	2													
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2													
		教育心理学	2	教育心理学	2													
	共通科目群	心理学研究	2	心理学研究	2	心理学的支援法	2	卒 業 研 究 演 習	6									
		知覚・障害児心理学	2	知覚・障害児心理学	2	心理的アセスメント	2	卒 業 研 究 演 習	2									
		福祉・健康心理学	2	福祉・健康心理学	2	社会・集団・家族心理学	2											
		精神科心理学	2	精神科心理学	2	精神疾患とその治療	2											
		法医学心理学	2	法医学心理学	2	人間の構造と機能及び疾病論	2											
		公認心理師科目群	公認心理師科目群	2	公認心理師科目群	2	公認心理師の職責	2										
キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	労働と法制度論	2	〔社会教育計画A〕	2										
	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	地域教育デザイン論	2	〔社会教育計画B〕	2										
学校教員科目群	学校教員	2	学校教員	2	社会教育演習A	2	キャリアデザイン調査実習II	2										
	学校教員	2	学校教員	2	社会教育演習B	2												
関連教育科目	コンピュータ入門	コンピュータ入門I	2	地域史概論	2	特別活動論	2											
		コンピュータ入門II	2	〔考古学からみた文化と歴史A〕	2	教育方法論	2											
	教育心理学	教育心理学	2	〔考古学からみた文化と歴史B〕	2	教育相談	2											
		教育心理学	2	〔考古学からみた文化と歴史C〕	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔西洋の文化と歴史A〕	2									
	教育法	教育法	2	〔考古学からみた文化と歴史D〕	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔日本の文化と歴史B〕	2									
		教育法	2	〔教育評価論〕	2	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔日本の文化と歴史C〕	2									
	人権教育	人権教育	2	〔教育権論〕	2	〔日本の文化と歴史D〕	2	〔日本の文化と歴史D〕	2									
		人権教育	2	〔人権教育論〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2									
	自然地理	自然地理	2	〔自然地理学A〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2									
		自然地理	2	〔自然地理学B〕	2	〔東洋の文化と歴史C〕	2	〔東洋の文化と歴史C〕	2									
博物館情報	博物館情報	2	〔博物館情報学A〕	2	〔東洋の文化と歴史D〕	2	〔東洋の文化と歴史D〕	2										
	博物館情報	2	〔博物館情報学B〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2										
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が相当と認める授業科目																		
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が相当と認める科目																		

(注) (1) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和6年度入学生 (LE24台)

【卒業要件】



※イメージ図

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和6年度入学生 (LE24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 日本文化学A 2 西文A 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 日本文化学B 2 西文B 2	政治学A 2 商学A 2 教育史A 2	政治学B 2 商学B 2 教育史B 2	物理学入門 2 地球科学入門 2	物理学入門 2 地球科学入門 2	
		社会科学	政治学B 2 商学B 2 教育論B 2	政治学A 2 商学A 2 教育論A 2	日本国憲学B 2 経社学B 2 社会心理学B 2	日本国憲学A 2 経社学A 2 社会心理学A 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	物理学入門 2 地球科学入門 2	物理学入門 2 地球科学入門 2	
		自然科学	数学入門 2 物理の世界 2 新しい地球 2 自然科学と人間 2	基礎数学 2 自然界と物質の化学 2 ミクロの生物学 2	統計入門 2 生活と環境の化学 2 マクロの生物学 2	統計入門 2 生活と環境の化学 2 マクロの生物学 2					
		総合科目	福岡大学で考える現代社会 2								
	教育	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1	アドバンスト・イングリッシュI 1 アドバンスト・イングリッシュII 1					
			第2	△ドクトランツ語学I 2 △ドクトランツ語学II 2 △ドクトランツ語学III 2 △ドクトランツ語学IV 2 △中スベイン語学I 2 △中スベイン語学II 2 △中スベイン語学III 2 △中スベイン語学IV 2 △朝鮮語学I 2 △朝鮮語学II 2 △朝鮮語学III 2 △朝鮮語学IV 2	△ドクトランツ語学I 2 △ドクトランツ語学II 2 △ドクトランツ語学III 2 △ドクトランツ語学IV 2 △中スベイン語学I 2 △中スベイン語学II 2 △中スベイン語学III 2 △中スベイン語学IV 2 △朝鮮語学I 2 △朝鮮語学II 2 △朝鮮語学III 2 △朝鮮語学IV 2						
	専門	必修科目	英文法A 2 英文法B 2 基礎演習A 2 基礎演習B 2 英会話I 2 英会話II 2 英語学概論A 2 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2	英語読解I 1 英語読解II 1 英語ライティングA 1 英語ライティングB 1 英会話I 1 英会話II 1 英語音声A 2 英語音声B 2	英語読解II A 1 英語読解II B 1						
			英語圏文化研修A 2 英語プレゼンテーションA 2 英語プレゼンテーションB 2 メディアと英語文学A 2 メディアと英語文学B 2	英語圏文化研修B 2 アカデミックライティング 2 ビジネスライティング 2 英会話III A 1 英会話III B 1 異文化コミュニケーションB 2 異文化コミュニケーションA 2 イギリス文化各論A 2 イギリス文化各論B 2 アメリカ文化各論A 2 アメリカ文化各論B 2	英語圏地域研究A 2 英語圏地域研究B 2 英語文学と社会A 2 英語文学と社会B 2 実践英語学研究A 2 実践英語学研究B 2 観光・ビジネス英語 2 メディア英語 2 卒業論文 6 卒業研究 3						
		選択科目	他大学の「短期大学を含む。」の授業科目のうち人文学部教授会が「相当」と認める科目								
			他コースの全科目								
教育		言語コミュニケーション	必修科目		英語学演習I A 2 英語学演習I B 2 スピーチ・コミュニケーション演習I A 2 スピーチ・コミュニケーション演習I B 2	英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2					
			選択必修科目								
		文化文学コース科目	必修科目		英語学の諸相I A 2 英語学の諸相I B 2 スピーチ・コミュニケーション研究I A 2 スピーチ・コミュニケーション研究I B 2	英語学の諸相II A 2 英語学の諸相II B 2 スピーチ・コミュニケーション研究II A 2 スピーチ・コミュニケーション研究II B 2					
			選択必修科目								
選択科目			イギリスの文化と文学I A 2 イギリスの文化と文学I B 2 アメリカの文化と文学I A 2 アメリカの文化と文学I B 2	イギリスの文化と文学II A 2 イギリスの文化と文学II B 2 アメリカの文化と文学II A 2 アメリカの文化と文学II B 2							
関連教育科目	関連教育科目	比較文学概論I 2 日本文学概論II 2 日本文学概論II 2 憲法入門 2 憲法入門II 2 民法入門 2 民法入門II 2 コンピュータ思想史 2	文化人類学特講 2 社会人論 2 社会学A 2 社会学B 2 社会学C 2 社会学D 2 社会学E 2 社会学F 2 社会学G 2 社会学H 2 社会学I 2 社会学J 2 社会学K 2 社会学L 2 社会学M 2 社会学N 2 社会学O 2 社会学P 2 社会学Q 2 社会学R 2 社会学S 2 社会学T 2 社会学U 2 社会学V 2 社会学W 2 社会学X 2 社会学Y 2 社会学Z 2	社会思想史 2 ドイツ文学概論A 2 ドイツ文学概論B 2 フランス文学概論A 2 フランス文学概論B 2 日本語教育法III 2 日本語教育法IV 2 欧米各国史A 2 欧米各国史B 2 [日本の文化と歴史A] 2 [日本の文化と歴史B] 2 [日本の文化と歴史C] 2 [日本の文化と歴史D] 2 [東洋の文化と歴史A] 2 [東洋の文化と歴史B] 2 東洋の文化と歴史C 2 東洋の文化と歴史D 2	[西洋の文化と歴史A] 2 [西洋の文化と歴史B] 2 西洋の文化と歴史C 2 西洋の文化と歴史D 2 マス・コミュニケーション論 2 メディア文化論 2 図書館概論 2 図書館資料論 2 国際法総論 2 ヨーロッパ地域文化特講A 2 ヨーロッパ地域文化特講B 2 [ヨーロッパ地域文化特講C] 2 [ヨーロッパ地域文化特講D] 2 東アジア相互理解演習A 2 東アジア相互理解演習B 2 社会調査入門 2	日本語教授法演習I 2 日本語教授法演習II 2					

(注) (1) 英語圏文化研修A、英語圏文化研修Bは英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和5年度入学生 (LE23台)

【卒業要件】



※イメージ図

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和5年度入学生 (LE23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2
		政治学A	2	政治学B	2	日経社教文A	2	日経社教文B	2
		法政商教心育理A	2	法政商教心育理B	2	本國憲法B	2	西洋政治学A	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日経社教文A	2	日経社教文B	2
		法政商教心育理A	2	法政商教心育理B	2	本國憲法B	2	西洋政治学A	2
		政治学A	2	政治学B	2	日経社教文A	2	日経社教文B	2
		法政商教心育理A	2	法政商教心育理B	2	本國憲法B	2	西洋政治学A	2
	自然科学	数学入門A	2	数学入門B	2	統計入門A	2	統計入門B	2
		物理の世界A	2	物理の世界B	2	生活と環境の化学A	2	生活と環境の化学B	2
		新しい地球科学A	2	新しい地球科学B	2	マクロの生物科学A	2	マクロの生物科学B	2
		総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2
基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福大生を学ぶ・福大でいかに学ぶか	2	
	データサイエンス・AI入門	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅣ	1				
	第2	△ドクトラ	2	△ドクトラ	2				
		△インス	2	△インス	2				
		△フアラ	2	△フアラ	2				
		△中	2	△中	2				
		△中	2	△中	2				
		△スベ	2	△スベ	2				
		△朝	2	△朝	2				
		△朝	2	△朝	2				
△シ	2	△シ	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1							
単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
専門科目	必修科目	英文法A	2	英語読解ⅠA	1	英語読解ⅡA	1		
		英文法B	2	英語読解ⅠB	1	英語読解ⅡB	1		
		基礎演習A	1	英語ライティングB	1				
		基礎演習B	1	英語ライティングA	1				
		英会話ⅠA	1	英会話ⅡA	1				
		英会話ⅠB	1	英会話ⅡB	1				
	選択科目	英語学概論A	2	英語学概論B	2				
		英語学概論B	2	英語学概論A	2				
		スピーチ・コミュニケーション概論A	2	スピーチ・コミュニケーション概論B	2				
		スピーチ・コミュニケーション概論B	2	スピーチ・コミュニケーション概論A	2				
		イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化・文学概論B	2				
		イギリス文化・文学概論B	2	イギリス文化・文学概論A	2				
英語圏文化研修A		2	英語圏文化研修B		2	英語圏文化研究A		2	
英語プレゼンテーションA		2	英語プレゼンテーションB		2	英語圏地域研究A		2	
メディアと英語学A		2	メディアと英語学B		2	ビジネスライティング		2	
メディアと英語学B		2	英語学ⅢA		1	英語文学と社会B		2	
			英語学ⅢB		1	実践英語学研究A		2	
			異文化コミュニケーションB		2	実践英語学研究B		2	
			異文化コミュニケーションA		2	実践英語学研究C		2	
			イギリス文化各論A		2	実践英語学研究D		2	
			イギリス文化各論B		2	観光・ビジネス英語		2	
			アメリカ文化各論A		2	メディア英語		2	
			アメリカ文化各論B		2	卒業論文		6	
			アメリカ文化各論C		2	卒業研究		3	
			アメリカ文化各論D		2				
			他コースの全科目						
言語コミュニケーション	必修科目	英語学演習ⅠA	2	英語学演習ⅡA	2	英語学演習ⅢA	2		
		英語学演習ⅠB	2	英語学演習ⅡB	2	英語学演習ⅢB	2		
	選択必修科目	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2		
		スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2		
		英語学の諸相ⅠA	2	英語学の諸相ⅠB	2	英語学の諸相ⅡA	2		
		英語学の諸相ⅠB	2	英語学の諸相ⅡB	2	英語学の諸相ⅢA	2		
必修科目	イギリス文化・文学演習ⅠA	2	イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡA	2			
	イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2	イギリス文化・文学演習ⅢA	2			
選択必修科目	アメリカ文化・文学演習ⅠA	2	アメリカ文化・文学演習ⅠB	2	アメリカ文化・文学演習ⅡA	2			
	アメリカ文化・文学演習ⅠB	2	アメリカ文化・文学演習ⅡB	2	アメリカ文化・文学演習ⅢB	2			
文化文学コース科目	必修科目	イギリスの文化と文学ⅠA	2	イギリスの文化と文学ⅠB	2	イギリスの文化と文学ⅡA	2		
		イギリスの文化と文学ⅠB	2	イギリスの文化と文学ⅡB	2	イギリスの文化と文学ⅢA	2		
	選択必修科目	アメリカの文化と文学ⅠA	2	アメリカの文化と文学ⅠB	2	アメリカの文化と文学ⅡA	2		
		アメリカの文化と文学ⅠB	2	アメリカの文化と文学ⅡB	2	アメリカの文化と文学ⅢB	2		
関連教育科目	比較文学概論Ⅰ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	[西洋の文化と歴史A]	2	
		2	文化人類学特講	2	ドイツ文学概論A	2	[西洋の文化と歴史B]	2	
		2	文化人類学特講	2	ドイツ文学概論B	2	西洋の文化と歴史C	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論A	2	西洋の文化と歴史D	2	
	比較文学概論Ⅱ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論C	2	メディア文化論	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論D	2	図書資料概論	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論E	2	図書館資料論	2	
	憲法入門Ⅰ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論F	2	国際法総論	4	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論G	2	国際法総論	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論H	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	
		2	文化人類学特講	2	フランス文学概論I	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	
憲法入門Ⅱ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論J	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論K	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論L	2	[日本の文化と歴史A]	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論M	2	[日本の文化と歴史B]	2		
憲法入門Ⅲ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論N	2	[日本の文化と歴史C]	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論O	2	[日本の文化と歴史D]	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論P	2	[東洋の文化と歴史A]	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論Q	2	[東洋の文化と歴史B]	2		
憲法入門Ⅳ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論R	2	東アジア相互理解演習A	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論S	2	東アジア相互理解演習B	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論T	2	東洋の文化と歴史C	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論U	2	東洋の文化と歴史D	2		
コンピュータ思想史	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論V	2	社会調査入門	2		
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論W	2				
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論X	2				
	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論Y	2				
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) 英語圏文化研修A、英語圏文化研修Bは英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
 (4) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修については、Ⅰ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和4年度入学生 (LE22台)

【卒業要件】



※イメージ図

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
- 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和4年度入学生 (LE22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		芸術A	2	芸術B	2	西文学A	2	西文学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		法政商教心育理	2	法政商教心育理	2	社会学B	2	政治学B	2
		教育心理学A	2	教育心理学B	2	社会学A	2	政治学A	2
		教育心理学B	2	教育心理学C	2	社会学B	2	政治学B	2
		教育心理学C	2	教育心理学D	2	社会学C	2	政治学C	2
自然科学	数理学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
	世界の地理	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2	
総合科目	地球環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2	
学修基盤科目	文化と教育	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2			
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅣ	1				
	第2	△△ドイ	2	△△イ	2				
		△△ツ	2	△△フ	2				
		△△ラ	2	△△ラ	2				
		△△中	2	△△中	2				
△△中		2	△△中	2					
△△ス		2	△△ス	2					
△△朝		2	△△朝	2					
△△朝	2	△△朝	2						
△△シ	2	△△シ	2						
△△シ	2	△△シ	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門科目	必修科目	英文法A	2	英語読解ⅠA	1	英語読解ⅡA	1		
		英文法B	2	英語読解ⅠB	1	英語読解ⅡB	1		
		基礎演習A	1	英語ライティングA	1				
		基礎演習B	1	英語ライティングB	1				
		英会話ⅠA	1	英会話ⅡA	1				
		英会話ⅠB	1	英会話ⅡB	1				
		英語学概論A	2	英語学音声	2				
		英語学概論B	2						
		スピーチ・コミュニケーション概論A	2						
		スピーチ・コミュニケーション概論B	2						
選択科目	英語プレゼンテーションA	2	英語圏文化研修	4	アカデミックライティング	2	英語圏地域研究A	2	
	英語プレゼンテーションB	2	英語プレゼンテーションA	2	ビジネスライティング	2	英語圏地域研究B	2	
	メディアと英語学A	2	英語プレゼンテーションB	2	英会話ⅢA	1	英語文学と社会A	2	
	メディアと英語学B	2	メディアと英語学A	2	英会話ⅢB	1	英語文学と社会B	2	
			異文化コミュニケーションA	2	異文化コミュニケーションB	2	実践英語学研究A	2	
			異文化コミュニケーションB	2	異文化コミュニケーションC	2	実践英語学研究B	2	
			イギリス文化各論A	2	イギリス文化各論B	2	実践英語学研究C	2	
			イギリス文化各論B	2	イギリス文化各論C	2	観光・ビジネス英語	2	
			アメリカ文化各論A	2	アメリカ文化各論B	2	メディア英語	6	
			アメリカ文化各論B	2	アメリカ文化各論C	2	卒業論文	3	
		アメリカ文化各論C	2	卒業論文	6	卒業論文	3		
他コースの全科目									
教育科目	必修科目	英語学演習ⅠA	2	英語学演習ⅡA	2	英語学演習ⅢA	2		
		英語学演習ⅠB	2	英語学演習ⅡB	2	英語学演習ⅢB	2		
	選択必修科目	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅢA	2		
		スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅢB	2		
	選択科目	英語学の諸相ⅠA	2	英語学の諸相ⅡA	2	英語学の諸相ⅢA	2		
		英語学の諸相ⅠB	2	英語学の諸相ⅡB	2	英語学の諸相ⅢB	2		
	必修科目	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅡA	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅢA	2		
		スピーチ・コミュニケーション研究ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅡB	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅢB	2		
	選択必修科目	英米文学入門A	2	イギリス文化・文学演習ⅠA	2	イギリス文化・文学演習ⅡA	2		
		英米文学入門B	2	イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2		
選択科目			イギリス文化・文学演習ⅡA	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2			
			イギリス文化・文学演習ⅡB	2	イギリス文化・文学演習ⅡC	2			
関連教育科目	必修科目	比較文学概論Ⅰ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【西洋の文化と歴史A】	2
		比日本文学概論Ⅱ	2	文化人類学特講	2	ドイツ文学概論A	2	【西洋の文化と歴史B】	2
		日本文学概論Ⅲ	2	文化人類学特講	2	ドイツ文学概論B	2	西洋の文化と歴史C	2
		日本文学概論Ⅳ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論A	2	西洋の文化と歴史D	2
		日本文学概論Ⅴ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2
		日本文学概論Ⅵ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論C	2	メディア文化論	2
		日本文学概論Ⅶ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論D	2	図書資料論	2
		日本文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論E	2	図書館学概論	2
		日本文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論F	2	国際法総論	4
		日本文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	フランス文学概論G	2	国際法分論	2
選択必修科目	比日比較文学概論Ⅰ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【ヨーロッパ地域文化特講A】	2	
	比日比較文学概論Ⅱ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【ヨーロッパ地域文化特講B】	2	
	比日比較文学概論Ⅲ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【ヨーロッパ地域文化特講C】	2	
	比日比較文学概論Ⅳ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【ヨーロッパ地域文化特講D】	2	
	比日比較文学概論Ⅴ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【東洋の文化と歴史A】	2	
	比日比較文学概論Ⅵ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【東洋の文化と歴史B】	2	
	比日比較文学概論Ⅶ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【東洋の文化と歴史C】	2	
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【東洋の文化と歴史D】	2	
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	東アジア相互理解演習A	2	
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	東アジア相互理解演習B	2	
選択科目	比日比較文学概論Ⅰ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	社会調査入門	2	
	比日比較文学概論Ⅱ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅲ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅳ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅴ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅵ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅶ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
	比日比較文学概論Ⅷ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2			
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
(3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
(4) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修については、Ⅰ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
(5) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和3年度入学生 (LE21台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和3年度入学生 (LE21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理哲学A	2	論理哲学B	2	
		西洋史A	2	西洋史B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2	
		政治学A	2	政治学B	2	日本教育法A	2	西洋教育史A	2	
		法政商教心育理A	2	法経社教心育理B	2	日本憲法B	2	西洋政治学A	2	
	自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
		世界の地理	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2	
	総合科目	地球環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2	
	学修科目	文化と教育	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
	教育	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
※フレッシュマン・イングリッシュⅠ			1	※インターメディアイトイングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
※フレッシュマン・イングリッシュⅡ			1	※インターメディアイトイングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
第2		△ドクトラ	2	△ドクトラ	2					
		△インス	2	△インス	2					
		△フアラ	2	△フアラ	2					
		△中	2	△中	2					
		△ス	2	△ス	2					
		△朝	2	△朝	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ	2						
	※生涯スポーツ	1								
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門	必修科目	英文法A	2	英語読解ⅠA	1	英語読解ⅡA	1			
		英文法B	1	英語読解ⅠB	1	英語読解ⅡB	1			
		基礎演習A	1	英語ライティングB	1					
		基礎演習B	1	英語ライティングA	1					
	選択科目	英会話ⅠA	1	英会話ⅡA	1					
		英会話ⅠB	1	英会話ⅡB	1					
		英語学概論A	2	英語学音声A	2					
		英語学概論B	2	英語学音声B	2					
		スピーチ・コミュニケーション概論A	2			英語圏文化研修	4			
		スピーチ・コミュニケーション概論B	2			アカデミックライティング	2	英語圏地域研究A	2	
教育	必修科目	英語プレゼンテーションA	2	英語プレゼンテーションB	2	ビジネスライティング	2	英語圏地域研究B	2	
		メディアと英語学A	2	メディアと英語学B	2	英会話ⅢA	1	英語文学と社会B	2	
		メディアと英語学B	2	英会話ⅢB	1	英会話ⅣA	1	英語文学と社会A	2	
				異文化コミュニケーションB	2	英会話ⅣB	1	実践英語学研究A	2	
	選択科目	イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化各論A	2	異文化コミュニケーションA	2	実践英語学研究B	2	
		イギリス文化・文学概論B	2	イギリス文化各論B	2	イギリス文化各論A	2	実践英語学研究C	2	
		アメリカ文化・文学概論A	2	アメリカ文化各論A	2	イギリス文化各論B	2	観光・ビジネス英語	2	
		アメリカ文化・文学概論B	2	アメリカ文化各論B	2	アメリカ文化各論A	2	メディア英語	2	
				アメリカ文化各論B	2	卒業論文	6	卒業論文	6	
				アメリカ文化各論B	2	卒業論文	3	卒業論文	3	
他コースの全科目										
科目	必修科目	英語史A	2							
		英語史B	2							
	選択必修科目	英語学演習ⅠA	2	英語学演習ⅠB	2	英語学演習ⅡA	2	英語学演習ⅡB	2	
		スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2	
	選択科目	英語学の諸相ⅠA	2	英語学の諸相ⅠB	2	英語学の諸相ⅡA	2	英語学の諸相ⅡB	2	
		英語学の諸相ⅡA	2	英語学の諸相ⅡB	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠB	2	
	必修科目	英米文学入門A	2							
		英米文学入門B	2							
	選択必修科目	イギリス文化・文学演習ⅠA	2	イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡA	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2	
		イギリス文化・文学演習ⅡA	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2	アメリカ文化・文学演習ⅠA	2	アメリカ文化・文学演習ⅠB	2	
選択科目	イギリス文化・文学演習ⅢA	2	イギリス文化・文学演習ⅢB	2	アメリカ文化・文学演習ⅡA	2	アメリカ文化・文学演習ⅡB	2		
	イギリス文化・文学演習ⅣA	2	イギリス文化・文学演習ⅣB	2						
関連教育科目	比較文学概論Ⅰ	文化人類学特講	2	社会思想史	2	[西洋の文化と歴史A]	2			
		文化人類学特講	2	ドイツ文学概論A	2	[西洋の文化と歴史B]	2			
		社ギリシ語A	2	ドイツ文学概論B	2	西洋の文化と歴史C	2			
		社ギリシ語B	2	フランス文学概論A	2	西洋の文化と歴史D	2			
	比較文学概論Ⅱ	フランス語A	2	フランス語学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2			
		フランス語B	2	日本語教育法Ⅲ	2	メディア文化論	2			
	憲法入門Ⅰ	日本語学概論Ⅰ	2	日本語教育法Ⅳ	2	図書資料概論	2			
		日本語学概論Ⅱ	2	欧米各国史A	2	図書館資料論	2			
	憲法入門Ⅱ	日本語学概論Ⅲ	2	欧米各国史B	2	国際法総論	4			
		日本語学概論Ⅳ	2	[日本の文化と歴史A]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2			
現代思想史	日本語学概論Ⅴ	2	[日本の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2				
	日本語学概論Ⅵ	2	[日本の文化と歴史C]	2	[ヨーロッパ地域文化特講C]	2				
思想史	日本語学概論Ⅶ	2	[日本の文化と歴史D]	2	[ヨーロッパ地域文化特講D]	2				
	日本語学概論Ⅷ	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[ヨーロッパ地域文化特講E]	2				
思想史	日本語学概論Ⅷ	2	[東洋の文化と歴史B]	2	東アジア相互理解演習A	2				
	日本語学概論Ⅸ	2	[東洋の文化と歴史C]	2	東アジア相互理解演習B	2				
思想史	日本語学概論Ⅹ	2	東洋の文化と歴史D	2	社会調査入門	2				
	日本語学概論Ⅺ	2								
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
 (4) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修については、Ⅰ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和2年度入学生 (LE20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和2年度入学生 (LE20台)

※印は必修
△印は選択必修

学		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共 通 目	総合 教養 科目	人文 科学	哲学A	2	哲学B	2	論理哲学A	2	論理哲学B	2
			理学A	2	理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			東洋史A	2	東洋史B	2	東洋史学A	2	東洋史学B	2
		西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	本邦文学A	2	本邦文学B	2	
		芸術A	2	芸術B	2	日本教育法A	2	日本教育法B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	憲法学A	2	憲法学B	2	
		法政商心学A	2	法政商心学B	2	経済社会学A	2	経済社会学B	2	
	自然科学	数学入門A	2	基礎数学B	2	統計入門A	2	文化人類学A	2	
		物理の地球環境A	2	自然界と物質の化学B	2	生活と環境の化学B	2	物理科学入門B	2	
	総合 科目 基礎 科目	地球環境学A	2	生命・健康と医療B	2	国際化と日本C	2	【科学・技術・情報と社会】B	2	
	福祉学	文化と教育A	2	現代を生きるB	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教 育 目 的	外国 語 科 目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅢ	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅣ	1					
		△△ドイツ語ⅠA	2	△△ドイツ語ⅡA	2					
		△△フランス語ⅠA	2	△△フランス語ⅡA	2					
		△△中国語ⅠA	2	△△中国語ⅡA	2					
		△△スペイン語ⅠA	2	△△スペイン語ⅡA	2					
		△△朝鮮語ⅠA	2	△△朝鮮語ⅡA	2					
		△△朝語ⅠA	2	△△朝語ⅡA	2					
	△△ロシア語ⅠA	2	△△ロシア語ⅡA	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ	2						
単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専 門 目 的	必修 科目	英文法A	2	英語読解ⅠA	1	英語読解ⅡA	1			
		英文法B	2	英語読解ⅠB	1	英語読解ⅡB	1			
		基礎演習A	1	英語ライティングA	1					
		基礎演習B	1	英語ライティングB	1					
		英会話ⅠA	1	英会話ⅠB	1					
		英会話ⅡA	1	英会話ⅡB	1					
		英語学概論A	2	英語学音声A	2					
		英語学概論B	2	英語学音声B	2					
		スピーチ・コミュニケーション概論A	2							
		スピーチ・コミュニケーション概論B	2							
	イギリス文化・文学概論A	2								
イギリス文化・文学概論B	2									
アメリカ文化・文学概論A	2									
アメリカ文化・文学概論B	2									
		他コースの全科目								
教 育 目 的	必修 科目	英語学演習ⅠA	2	英語学演習ⅡA	2	英語学演習ⅡB	2			
		英語学演習ⅠB	2	英語学演習ⅡB	2					
	選択 必修 科目	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2			
		スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2					
	選択 科目	英語学の諸相ⅠA	2	英語学の諸相ⅡA	2					
		英語学の諸相ⅠB	2	英語学の諸相ⅡB	2					
	必修 科目	イギリス文化・文学演習ⅠA	2	イギリス文化・文学演習ⅡA	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2			
		イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2					
	選択 必修 科目	アメリカ文化・文学演習ⅠA	2	アメリカ文化・文学演習ⅡA	2	アメリカ文化・文学演習ⅡB	2			
		アメリカ文化・文学演習ⅠB	2	アメリカ文化・文学演習ⅡB	2					
	選択 科目	イギリス文化と文学ⅠA	2	イギリス文化と文学ⅡA	2					
イギリス文化と文学ⅠB		2	イギリス文化と文学ⅡB	2						
		他コースの全科目								
関 連 教 育 目 的	比較 文学 概 論	比較文学概論Ⅰ	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	【西洋の文化と歴史A】	2	
		比較文学概論Ⅱ	2	文化人類学A	2	ドイツ文学概論A	2	【西洋の文化と歴史B】	2	
		日本文学概論Ⅰ	2	社会人類学B	2	ドイツ文学概論B	2	西洋の文化と歴史C	2	
		日本文学概論Ⅱ	2	ソビエト学A	2	フランス文学概論A	2	西洋の文化と歴史D	2	
		日本文学概論Ⅲ	2	ソビエト学B	2	フランス文学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2	
		日本文学概論Ⅳ	2	ソビエト学C	2	日本語教育法Ⅲ	2	メディア文化論	2	
		日本文学概論Ⅴ	2	ソビエト学D	2	日本語教育法Ⅳ	2	図書概論	2	
		日本文学概論Ⅵ	2	ソビエト学E	2	日本語教育法Ⅴ	2	図書館資料論	2	
		日本文学概論Ⅶ	2	ソビエト学F	2	国際法総論	4	国際法総論	2	
		日本文学概論Ⅷ	2	ソビエト学G	2	【日本の文化と歴史A】	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	
	日本文学概論Ⅷ	2	ソビエト学H	2	【日本の文化と歴史B】	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2		
						【日本の文化と歴史C】	2	【ヨーロッパ地域文化特講C】	2	
						【日本の文化と歴史D】	2	【ヨーロッパ地域文化特講D】	2	
						【日本の文化と歴史E】	2	東アジア相互理解演習A	2	
						【日本の文化と歴史F】	2	東アジア相互理解演習B	2	
						【日本の文化と歴史G】	2	社会調査入門	2	
						【日本の文化と歴史H】	2			
		他コースの全科目								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目								

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
(3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
(4) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修については、Ⅰ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
(5) []内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成31年度入学生 (LE19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成31年度入学生 (LE19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2	2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 日本文化A 2 日本文学A 2	2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 本洋文芸学B 2 日本文学B 2	2	
		社会科学	法政学A 2 政治学A 2 商学A 2 教育心理学A 2	2	法経学A 2 社会学A 2 経済学A 2 教育の原理・課程論B 2	2	日本国憲法A 2 日経社経学B 2 社会学B 2 文化人類学A 2	2	政治学A 2 商学A 2 教育心理学B 2 文化人類学B 2	2	
		自然科学	数学入門A 2 新しい世界の地球科学A 2 自然科学と人間A 2	2	基礎数学A 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物科学A 2	2	統計学A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物科学A 2	2	物理科学入門A 2 地球科学入門A 2 自然科学入門A 2	2	
		総合系科目 学修基盤科目	地球環境と教育A 2 福大生のためのキャリアデザインA 2	2	生命・健康と医療A 2 現代を生きるA 2 アカデミックスキルズゼミI 2	2	国際化と日本A 2 アカデミックスキルズゼミII 2	2	【科学・技術・情報と社会】A 2 福岡大学学卒・福岡大学でいかに学ぶかA 2	2	
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1	1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1 海外英語研修 2	1	アドバンス・イングリッシュI 1 アドバンス・イングリッシュII 1	1			
			△△ドイ ツ 語 I A 2 △△イ ツ 語 I B 2 △△フ ラ ンス 語 I A 2 △△フ ラ ンス 語 I B 2 △△中 国 語 I A 2 △△中 国 語 I B 2 △△ス ペ イ ン 語 I A 2 △△ス ペ イ ン 語 I B 2 △△朝 鮮 語 I A 2 △△朝 鮮 語 I B 2 △△ロ シ ア 語 I A 2 △△ロ シ ア 語 I B 2	2	△△ドイ ツ 語 II A 2 △△イ ツ 語 II B 2 △△フ ラ ンス 語 II A 2 △△フ ラ ンス 語 II B 2 △△中 国 語 II A 2 △△中 国 語 II B 2 △△ス ペ イ ン 語 II A 2 △△ス ペ イ ン 語 II B 2 △△朝 鮮 語 II A 2 △△朝 鮮 語 II B 2 △△ロ シ ア 語 II A 2 △△ロ シ ア 語 II B 2	2					
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1	※生涯スポーツ論 2	2					
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
		専門教育科目	必修科目	英文法A 2 英文法B 2 基礎演習A 1 基礎演習B 1 英会話I 1 英会話II 1 英語学概論A 1 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2	2	英語読解I A 1 英語読解I B 1 英語ライティングA 1 英語ライティングB 1 英会話II A 1 英会話II B 1 英語音声学A 2 英語音声学B 2	1	英語読解II A 1 英語読解II B 1	1		
				英語圏文化研修 4		アカデミックライティング 2 ビジネスライティング 2 英会話III A 1 英会話III B 1 異文化コミュニケーションA 2 異文化コミュニケーションB 2 イギリス文化各論A 2 イギリス文化各論B 2 アメリカ文化各論A 2 アメリカ文化各論B 2		2	英語圏地域研究 A 2 英語圏地域研究 B 2 英語圏文学と社会 A 2 英語圏文学と社会 B 2 実践英語学研究 A 2 実践英語学研究 B 2 観光・ビジネス英語メデア 2 卒業論文 6 卒業研究 3	2	
他コースの全科目											
英語学演習I A 2 英語学演習I B 2 スピーチ・コミュニケーション演習I A 2 スピーチ・コミュニケーション演習I B 2 英語学特講II A 2 英語学特講II B 2 英語学特講III A 2 英語学特講III B 2 スピーチ・コミュニケーション特講I B 2 スピーチ・コミュニケーション特講II B 2	2			英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2						
選択科目	英語学特講I A 2 英語学特講I B 2 スピーチ・コミュニケーション特講I A 2 スピーチ・コミュニケーション特講I B 2		2	英語学特講II A 2 英語学特講II B 2 スピーチ・コミュニケーション特講II A 2 スピーチ・コミュニケーション特講II B 2	2						
	イギリス文化・文学演習I A 2 イギリス文化・文学演習I B 2 アメリカ文化・文学演習I A 2 アメリカ文化・文学演習I B 2		2	イギリス文化・文学演習II A 2 イギリス文化・文学演習II B 2 アメリカ文化・文学演習II A 2 アメリカ文化・文学演習II B 2	2						
	イギリスの文化と文学I A 2 イギリスの文化と文学I B 2 アメリカの文化と文学I A 2 アメリカの文化と文学I B 2		2	イギリスの文化と文学II A 2 イギリスの文化と文学II B 2 アメリカの文化と文学II A 2 アメリカの文化と文学II B 2	2						
	比較文学概論I 2 日本文学概論I 2 日本文学概論II 2 中国語文化概論A(文学) 2 憲法II 2 憲法入門 2 民法総論 2 民法入門I 2 民法入門II 2 コンピュータ入門I 2 コンピュータ入門II 2 【現代新聞学】 2 科学思想史B 2		2	文化人類学特講 2 社会人類学 2 社会学A 2 社会学B 2 ラテン語A 2 ラテン語B 2 日本語学概論I 2 日本語学概論II 2 日本語学概論III 2 日本語学概論IV 2 欧米各国史A 2 欧米各国史B 2 【日本の文化と歴史A】 2 【日本の文化と歴史B】 2 【日本の文化と歴史C】 2 【日本の文化と歴史D】 2 【東洋の文化と歴史A】 2 【東洋の文化と歴史B】 2 【東洋の文化と歴史C】 2 【東洋の文化と歴史D】 2	2	[西洋の文化と歴史A] 2 [西洋の文化と歴史B] 2 西洋の文化と歴史C 2 西洋の文化と歴史D 2 マス・コミュニケーション論 2 メデア文化論 2 図書館概論 2 図書館資料論 2 国際法総論 4 【債権総論】 4 ヨーロッパ地域文化特講A 2 ヨーロッパ地域文化特講B 2 【ヨーロッパ地域文化特講D】 2 【ヨーロッパ地域文化特講D】 2 【東洋の文化と歴史A】 2 【東洋の文化と歴史B】 2 【東洋の文化と歴史C】 2 【東洋の文化と歴史D】 2 社会調査入門 2 日本語教授法演習I 2 日本語教授法演習II 2	2				
	人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (5) [] 内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成30年度入学生 (LE18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 91、103～104を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成30年度入学生 (LE18台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次										
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位		
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 倫理学A 日本文学A 西国文学A [芸術A]	2	哲学B 倫理学B 日本文学B 西国文学B [芸術B]	2	論理学A 宗東日西本 教洋文	2	論理学B 宗東日西本 教洋文	2		
		社会科学	法政商心学A 政治学A 教育心理学A	2	法経社教心学A 経済社会学A 教育心理学A	2	日本国憲学A 日経社地学A 文化人類学A	2	政商教地学A 西洋政治学A 教育心理学A	2		
		自然科学	数学A 物理学A 新自然科学A	2	基礎数学A 自然界の物理学A ミクロの生物学A	2	統計学A 生活と環境の化学A マクロの生物学A	2	物理科学入門A 文化人類学A 地球科学入門A 自然科学入門A	2		
		総合科目	地球環境学A 文化と教育	2	生命・健康と医療 現代を生きる	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2		
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2			
	第1年次	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位		
		第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4			
	専門教育科目	必修科目	英文法A 英文法B 基礎演習A 基礎演習B 英会話I 英会話II 英語学概論A 英語学概論B スピーチ・コミュニケーション概論A スピーチ・コミュニケーション概論B イギリス文化・文学概論A イギリス文化・文学概論B アメリカ文化・文学概論A アメリカ文化・文学概論B	2	英語読解I 英語読解II 英語ライティングA 英語ライティングB 英会話I 英会話II 英語音声学A 英語音声学B	1	英語読解II 英語読解III 英語ライティングC 英語ライティングD 英会話III 英会話IV 異文化コミュニケーションA 異文化コミュニケーションB イギリス文化各論A イギリス文化各論B アメリカ文化各論A アメリカ文化各論B	1	英語圏文化研修 アカデミックライティング ビジネスライティング 英会話III 英会話IV 異文化コミュニケーションA 異文化コミュニケーションB イギリス文化各論A イギリス文化各論B アメリカ文化各論A アメリカ文化各論B	4	英語圏地域研究A 英語圏地域研究B 英語圏社会と文化A 英語圏社会と文化B 実践英語学研究A 実践英語学研究B 観光・ビジネス英語 卒業論文 卒業研究	2
			他大学の(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
		選択科目	他コースの全科目									
英語学特講I 英語学特講II スピーチ・コミュニケーション特講I スピーチ・コミュニケーション特講II			2	英語学特講I 英語学特講II スピーチ・コミュニケーション特講I スピーチ・コミュニケーション特講II	2	英語学特講I 英語学特講II スピーチ・コミュニケーション特講I スピーチ・コミュニケーション特講II	2	英語学特講I 英語学特講II スピーチ・コミュニケーション特講I スピーチ・コミュニケーション特講II	2	英語学特講I 英語学特講II スピーチ・コミュニケーション特講I スピーチ・コミュニケーション特講II	2	
文化文学コース科目		イギリス文化・文学演習I イギリス文化・文学演習II アメリカ文化・文学演習I アメリカ文化・文学演習II	2	イギリス文化・文学演習I イギリス文化・文学演習II アメリカ文化・文学演習I アメリカ文化・文学演習II	2	イギリス文化・文学演習I イギリス文化・文学演習II アメリカ文化・文学演習I アメリカ文化・文学演習II	2	イギリス文化・文学演習I イギリス文化・文学演習II アメリカ文化・文学演習I アメリカ文化・文学演習II	2	イギリス文化・文学演習I イギリス文化・文学演習II アメリカ文化・文学演習I アメリカ文化・文学演習II	2	
		イギリスの文化と文学I イギリスの文化と文学II アメリカの文化と文学I アメリカの文化と文学II	2	イギリスの文化と文学I イギリスの文化と文学II アメリカの文化と文学I アメリカの文化と文学II	2	イギリスの文化と文学I イギリスの文化と文学II アメリカの文化と文学I アメリカの文化と文学II	2	イギリスの文化と文学I イギリスの文化と文学II アメリカの文化と文学I アメリカの文化と文学II	2	イギリスの文化と文学I イギリスの文化と文学II アメリカの文化と文学I アメリカの文化と文学II	2	
関連教育科目		比較文学概論I 日本文学概論I 日本文学概論II 中国語文化概論A 憲法II 民法入門 民法総論 コンピュータ入門I コンピュータ入門II [現代新聞学] 科学思想史	2	文化人類学特講 社会人類学 社ギリシヤ語A 社ギリシヤ語B テラテン語A テラテン語B 日本語学概論I 日本語学概論II 日本語学概論III 日本語学概論IV 日本文学史I 日本文学史II 言語学概論A 言語学概論B 言語学概論C 言語学概論D 日本語教育法I 日本語教育法II 日語教育各論 コンピュタ入門III コンピュタ入門IV	2	[社会哲学入門] 社会思想史 ドイツ文学概論A ドイツ文学概論B フランス文学概論A フランス文学概論B 日本語教育法III 日本語教育法IV 欧米各国史A 欧米各国史B [日本の文化と歴史A] [日本の文化と歴史B] 日本の文化と歴史C 日本の文化と歴史D [東洋の文化と歴史A] [東洋の文化と歴史B] [東洋の文化と歴史C] [東洋の文化と歴史D]	2	[西洋の文化と歴史A] [西洋の文化と歴史B] 西洋の文化と歴史C 西洋の文化と歴史D マス・コミュニケーション論 現代メディア論 図書館概論 図書館資料論 国際法総論 [債権総論] ヨーロッパ地域文化特講A ヨーロッパ地域文化特講B [ヨーロッパ地域文化特講C] [ヨーロッパ地域文化特講D] 東アジア相互理解演習A 東アジア相互理解演習B 日本語教授法演習I 日本語教授法演習II	2			
		人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (5) []内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和6年度入学生 (LG24台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………4単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学……………4単位以上			
	外国語科目	第1外国語……………8単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語……………8単位以上			
	保健体育科目	……………4単位			}
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………24単位	計64単位以上	}		総計124単位以上
	選択必修科目……………24単位以上				
	選択科目……………16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計20単位以上	}		※イメージ図
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………4単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学……………4単位以上			
	外国語科目	第1外国語……………8単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語……………8単位以上			
	保健体育科目	……………4単位			}
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………32単位	計68単位以上	}		総計124単位以上
	選択必修科目……………22単位以上				
	選択科目……………14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計16単位以上	}		※イメージ図
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和6年度入学生 (LG24台)		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論宗 理 学A 2	論宗 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2		
		社会科学	法学 政治 学A 2	法学 政治 学B 2	商学 教育 学A 2	商学 教育 学B 2	社会学 学A 2	社会学 学B 2		
		自然科学	物理学 化学 学A 2	物理学 化学 学B 2	生物学 学A 2	生物学 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2		
		総合系科目	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会		
	外国語科目	第1	ドイツ語 I A	2	ドイツ語 II A	2				
		第2	ドイツ語 I B	2	ドイツ語 II B	2				
	保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	専門教育科目	必修科目	ドイツ語基礎演習A	1	ドイツ語基礎演習B	1	演習 I A	2	演習 II A	2
			ドイツ語基礎演習B	1	ドイツ語基礎演習C	1	演習 I B	2	演習 II B	2
ドイツ語基礎演習C			1	ドイツ語基礎演習D	1					
ドイツ語圏文化入門A			2	ドイツ語圏文化入門B	2					
選択必修科目		ドイツ語圏文化基礎論A	2	ドイツ語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2	
		ドイツ語圏文化基礎論B	2	ドイツ語圏文化基礎論C	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2	
		ドイツ語圏文化基礎論C	2	ドイツ語圏文化基礎論D	2	ヨーロッパ言語文化特講A	2	ヨーロッパ言語文化特講C	2	
		ドイツ語圏文化基礎論D	2	ドイツ語圏文化基礎論E	2	ヨーロッパ言語文化特講B	2	ヨーロッパ言語文化特講D	2	
		ドイツ語圏文化基礎論E	2	ドイツ語圏文化基礎論F	2	ヨーロッパ表象文化特講A	2	ヨーロッパ表象文化特講C	2	
		ドイツ語圏文化基礎論F	2	ドイツ語圏文化基礎論G	2	ヨーロッパ表象文化特講B	2	ヨーロッパ表象文化特講D	2	
選択科目	ドイツ語圏文化基礎論A	2	ドイツ語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ地域文化講読A	2	ヨーロッパ地域文化講読C	2		
	ドイツ語圏文化基礎論B	2	ドイツ語圏文化基礎論C	2	ヨーロッパ地域文化講読B	2	ヨーロッパ地域文化講読D	2		
	ドイツ語圏文化基礎論C	2	ドイツ語圏文化基礎論D	2	ヨーロッパ言語文化講読A	2	ヨーロッパ言語文化講読C	2		
	ドイツ語圏文化基礎論D	2	ドイツ語圏文化基礎論E	2	ヨーロッパ言語文化講読B	2	ヨーロッパ言語文化講読D	2		
	ドイツ語圏文化基礎論E	2	ドイツ語圏文化基礎論F	2	ヨーロッパ表象文化講読A	2	ヨーロッパ表象文化講読C	2		
	ドイツ語圏文化基礎論F	2	ドイツ語圏文化基礎論G	2	ヨーロッパ表象文化講読B	2	ヨーロッパ表象文化講読D	2		

*印は必修
△印は選択必修

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」がある場合は「卒業論文」者は、どちらか一方のみを履修できる。
(3) [] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和5年度入学生 (LG23台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計20単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計16単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和5年度入学生 (LG23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論宗 理 学A 2	論宗 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	
		社会科学	法学 政治 学A 2	法学 政治 学B 2	日西 本 文 学A 2	日西 本 文 学B 2	日西 本 文 学A 2	日西 本 文 学B 2	
		自然科学	物理学 化学 学A 2	物理学 化学 学B 2	物理学 化学 学A 2	物理学 化学 学B 2	物理学 化学 学A 2	物理学 化学 学B 2	
		総合系科目	総合系科目	総合系科目	総合系科目	総合系科目	総合系科目	総合系科目	総合系科目
	外国語科目	第1	※ドイツ語 I A	2	※ドイツ語 II A	2			
		第2	△ フラッシュマン・イングリッシュ I	1	△ インターメディア・イングリッシュ I	1	アドバンス・イングリッシュ II	1	
			△ フラッシュマン・イングリッシュ II	1	△ インターメディア・イングリッシュ II	1			
			△ フラッシュマン・イングリッシュ III	1	△ インターメディア・イングリッシュ III	1			
			△ フラッシュマン・イングリッシュ IV	1	△ インターメディア・イングリッシュ IV	1			
			△ フラッシュマン・イングリッシュ V	1	△ インターメディア・イングリッシュ V	1			
保健体育科目	※生涯スポーツ演習 I	1	※生涯スポーツ演習 II	1					
専門教育科目	必修科目	ドイツ語基礎演習 A	1			演習 I A	2		
		ドイツ語基礎演習 B	1			演習 I B	2		
	選択必修科目	ドイツ語圏文化基礎演習 A	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 B	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 C	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 D	1						
	選択科目	ドイツ語圏文化基礎演習 E	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 F	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 G	1						
		ドイツ語圏文化基礎演習 H	1						
関連教育科目	比較文学概論 I	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 A	2	卒業論文	8	
	比較文学概論 II	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 B	2			
	比較文学概論 III	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 C	2			
	比較文学概論 IV	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 D	2			
	比較文学概論 V	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 E	2			
	比較文学概論 VI	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 F	2			
	比較文学概論 VII	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 G	2			
	比較文学概論 VIII	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 H	2			
	比較文学概論 IX	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 I	2			
	比較文学概論 X	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 J	2			

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」がある者は「卒業論文」者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和4年度入学生 (LG22台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計20単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計16単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和4年度入学生 (LG22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 学A 2	論 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	本 文 学A 2	本 文 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	
		自然科学	法政 学A 2	法政 学B 2	日 本 学A 2	日 本 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	
		総合系科目	学 術 学A 2	学 術 学B 2	日 本 学A 2	日 本 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	
	外国語科目	第1	※ ドイツ語 I A 2	※ ドイツ語 II A 2	アドバンス・イングリッシュ II 1				
		第2	△ フラッシュマン・イングリッシュ II 1	△ インターメディア・イングリッシュ II 1					
	保健体育科目	単位互換科目	※ 生涯スポーツ演習 I 1	※ 生涯スポーツ演習 II 1					
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	ドイツ語基礎演習 A 1		演 習 I A 2		演 習 II A 2	
			ドイツ語圏コース科目	ドイツ語基礎演習 B 1		演 習 I B 2		演 習 II B 2	
ヨーロッパ特別コース科目			ドイツ語基礎演習 C 1						
ドイツ語圏コース科目			ドイツ語基礎演習 D 1						
選択必修科目		両コース共通科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ヨーロッパ地域文化講読 A 2	ヨーロッパ地域文化講読 B 2	ヨーロッパ地域文化講読 C 2	ヨーロッパ地域文化講読 D 2	
		ドイツ語圏コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ヨーロッパ地域文化講読 A 2	ヨーロッパ地域文化講読 B 2	ヨーロッパ地域文化講読 C 2	ヨーロッパ地域文化講読 D 2	
選択科目		両コース共通科目	ドイツ語圏現地研修 A 4	ドイツ語圏現地研修 B 4	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 C 2	ドイツ語圏文化基礎論 D 2	
		ドイツ語圏コース科目	ドイツ語圏現地研修 A 4	ドイツ語圏現地研修 B 4	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 C 2	ドイツ語圏文化基礎論 D 2	
関連教育科目		比較文学概論 I 2	比較文学概論 II 2	比較文学概論 III 2	比較文学概論 IV 2	比較文学概論 V 2	比較文学概論 VI 2	比較文学概論 VII 2	
			比較文学概論 VIII 2	比較文学概論 IX 2	比較文学概論 X 2	比較文学概論 XI 2	比較文学概論 XII 2	比較文学概論 XIII 2	
	比較文学概論 XIV 2		比較文学概論 XV 2	比較文学概論 XVI 2	比較文学概論 XVII 2	比較文学概論 XVIII 2	比較文学概論 XIX 2		
	比較文学概論 XX 2		比較文学概論 XXI 2	比較文学概論 XXII 2	比較文学概論 XXIII 2	比較文学概論 XXIV 2	比較文学概論 XXV 2		
	比較文学概論 XXVI 2		比較文学概論 XXVII 2	比較文学概論 XXVIII 2	比較文学概論 XXIX 2	比較文学概論 XXX 2	比較文学概論 XXXI 2		
	比較文学概論 XXXII 2		比較文学概論 XXXIII 2	比較文学概論 XXXIV 2	比較文学概論 XXXV 2	比較文学概論 XXXVI 2	比較文学概論 XXXVII 2		
	比較文学概論 XXXVIII 2		比較文学概論 XXXIX 2	比較文学概論 XXXX 2	比較文学概論 XXXXI 2	比較文学概論 XXXXII 2	比較文学概論 XXXXIII 2		
	比較文学概論 XXXXIV 2		比較文学概論 XXXXV 2	比較文学概論 XXXXVI 2	比較文学概論 XXXXVII 2	比較文学概論 XXXXVIII 2	比較文学概論 XXXXIX 2		
	比較文学概論 XXXXX 2		比較文学概論 XXXXXI 2	比較文学概論 XXXXXII 2	比較文学概論 XXXXXIII 2	比較文学概論 XXXXXIV 2	比較文学概論 XXXXXV 2		
	比較文学概論 XXXXXVI 2		比較文学概論 XXXXXVII 2	比較文学概論 XXXXXVIII 2	比較文学概論 XXXXXIX 2	比較文学概論 XXXXXX 2	比較文学概論 XXXXXI 2		

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」がある場合は「卒業論文」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和3年度入学生 (LG21台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計20単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計16単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和3年度入学生 (LG21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次										
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2 倫理 西洋 史A 2 西ア 文 学A 2 芸 学A 2 ジ の 文 学A 2	哲学 理学 学B 2 倫理 西洋 史B 2 西ア 文 学B 2 芸 学B 2 ジ の 文 学B 2	論 理 学A 2 宗 教 学A 2 日 本 文 学A 2 西 洋 文 学A 2 日 西 文 学A 2	論 理 学B 2 宗 教 学B 2 日 本 文 学B 2 西 洋 文 学B 2 日 西 文 学B 2	政 治 学A 2 法 政 学A 2 商 学A 2 教 育 学A 2 心 理 学A 2	政 治 学B 2 法 政 学B 2 商 学B 2 教 育 学B 2 心 理 学B 2	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2		
		社会科学	法 政 学A 2 商 学A 2 教 育 学A 2 心 理 学A 2	法 政 学B 2 商 学B 2 教 育 学B 2 心 理 学B 2	政 治 学A 2 法 政 学A 2 商 学A 2 教 育 学A 2 心 理 学A 2	政 治 学B 2 法 政 学B 2 商 学B 2 教 育 学B 2 心 理 学B 2	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2		
		自然科学	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2	政 治 学A 2 法 政 学A 2 商 学A 2 教 育 学A 2 心 理 学A 2	政 治 学B 2 法 政 学B 2 商 学B 2 教 育 学B 2 心 理 学B 2	物 理 学A 2 地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	物 理 学B 2 地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2	政 治 学A 2 法 政 学A 2 商 学A 2 教 育 学A 2 心 理 学A 2	政 治 学B 2 法 政 学B 2 商 学B 2 教 育 学B 2 心 理 学B 2
		総合系科目 学修基礎科目	地 球 学A 2 環 境 学A 2 生 命 学A 2 医 学A 2	地 球 学B 2 環 境 学B 2 生 命 学B 2 医 学B 2	国 際 化 と 日 本 2	国 際 化 と 日 本 2	【科学・技術・情報と社会】 2	【科学・技術・情報と社会】 2	【科学・技術・情報と社会】 2	【科学・技術・情報と社会】 2	【科学・技術・情報と社会】 2	【科学・技術・情報と社会】 2
	外国語科目	第1	※ ドイツ語 I A 2	※ ドイツ語 I B 2	※ ドイツ語 II A 2	※ ドイツ語 II B 2	アドバンスト・イングリッシュ II 1	アドバンスト・イングリッシュ II 1				
			△ フレッシュマン・イングリッシュ I 1 フレッシュマン・イングリッシュ II 1 フレッシュマン・イングリッシュ III 1 フレッシュマン・イングリッシュ IV 1	△ インターメディア・イングリッシュ I 1 インターメディア・イングリッシュ II 1 インターメディア・イングリッシュ III 1 インターメディア・イングリッシュ IV 1								
		第2	△ フランス語 I A 2	△ フランス語 I B 2	△ フランス語 II A 2	△ フランス語 II B 2	△ 海外英語研修 I A 2	△ 海外英語研修 I B 2				
			△ 中国語 I A 2	△ 中国語 I B 2	△ 中国語 II A 2	△ 中国語 II B 2	△ スベヘン語 I A 2	△ スベヘン語 I B 2				
			△ 朝鮮語 I A 2	△ 朝鮮語 I B 2	△ 朝鮮語 II A 2	△ 朝鮮語 II B 2	△ シンシア語 I A 2	△ シンシア語 I B 2				
			△ シンシア語 I A 2	△ シンシア語 I B 2	△ シンシア語 II A 2	△ シンシア語 II B 2						
保健体育科目	※ 生涯スポーツ演習 I 1	※ 生涯スポーツ演習 II 1	※ 生涯スポーツ論 2									
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	ドイツ語基礎演習 A 1 ドイツ語基礎演習 B 1 ドイツ語基礎会話 A 1 ドイツ語基礎会話 B 1			演習 I A 2 演習 I B 2	演習 II A 2 演習 II B 2					
		ドイツ語圏コース科目	ゲルマニステイク入門 A 2 ゲルマニステイク入門 B 2		ドイツ語基礎講読 A 2 ドイツ語基礎講読 B 2 ドイツ語圏文化基礎論 A 2 ドイツ語圏文化基礎論 B 2							
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシー A 2 日本語リテラシー B 2 ヨーロッパ学入門 A 2 ヨーロッパ学入門 B 2		クロスカルチャルリテラシー A 2 クロスカルチャルリテラシー B 2 コミュニケーション基礎 A 2 コミュニケーション基礎 B 2 プレゼンテーション基礎 A 2 プレゼンテーション基礎 B 2							
		両コース共通科目			ヨーロッパ地域文化特講 A 2 ヨーロッパ地域文化特講 B 2 ヨーロッパ言語文化特講 A 2 ヨーロッパ言語文化特講 B 2 ヨーロッパ表象文化特講 A 2 ヨーロッパ表象文化特講 B 2 ドイツ語圏地域文化講読 A 2 ドイツ語圏地域文化講読 B 2 ドイツ語圏言語文化講読 A 2 ドイツ語圏言語文化講読 B 2 ドイツ語圏表象文化講読 A 2 ドイツ語圏表象文化講読 B 2		【ヨーロッパ地域文化特講 C】 2 【ヨーロッパ地域文化特講 D】 2 【ヨーロッパ言語文化特講 C】 2 【ヨーロッパ言語文化特講 D】 2 【ヨーロッパ表象文化特講 C】 2 【ヨーロッパ表象文化特講 D】 2 ドイツ語圏地域文化講読 C 2 ドイツ語圏地域文化講読 D 2 ドイツ語圏言語文化講読 C 2 ドイツ語圏言語文化講読 D 2 ドイツ語圏表象文化講読 C 2 ドイツ語圏表象文化講読 D 2					
	ドイツ語圏コース科目	ドイツ語圏コース科目			ヨーロッパ文化基礎論 A 2 ヨーロッパ文化基礎論 B 2		ヨーロッパ地域文化講読 A 2 ヨーロッパ地域文化講読 B 2		【ヨーロッパ地域文化講読 C】 2 【ヨーロッパ地域文化講読 D】 2 ヨーロッパ言語文化講読 A 2 ヨーロッパ言語文化講読 B 2 ヨーロッパ言語文化講読 C 2 ヨーロッパ言語文化講読 D 2 【ヨーロッパ表象文化講読 C】 2 【ヨーロッパ表象文化講読 D】 2 コミュニケーション理論と実践 A 2 コミュニケーション理論と実践 B 2 コミュニケーション理論と実践 C 2 コミュニケーション理論と実践 D 2 プレゼンテーション理論と実践 A 2 プレゼンテーション理論と実践 B 2 【プレゼンテーション理論と実践 C】 2 【プレゼンテーション理論と実践 D】 2			
		ヨーロッパ特別コース目			ドイツ語圏現地研修 A 2 ドイツ語圏現地研修 B 2 ドイツ語学 I C T I A 1 ドイツ語学 I C T I B 1		ドイツ語圏現地研修 A 2 ドイツ語圏現地研修 B 2 ドイツ語学 I C T I A 1 ドイツ語学 I C T I B 1		ドイツ語学概論 A 2 ドイツ語学概論 B 2 ヨーロッパ言語文化概論 A 2 ヨーロッパ言語文化概論 B 2 ヨーロッパ学 I C T I A 1 ヨーロッパ学 I C T I B 1		ドイツ語学概論 A 2 ドイツ語学概論 B 2 ヨーロッパ言語文化概論 A 2 ヨーロッパ言語文化概論 B 2 ヨーロッパ学 I C T I A 1 ヨーロッパ学 I C T I B 1	
	選択必修科目	両コース共通科目					時事ドイツ語 A 2 時事ドイツ語 B 2	時事ドイツ語文 B 2				
		ドイツ語圏コース科目			フランス語圏現地研修 A 2 フランス語圏現地研修 B 2 フランス文学史 A 2 フランス文学史 B 2		時事ヨーロッパ A 2 時事ヨーロッパ B 2 フランス文法論 A 2 フランス文法論 B 2 フランス語学概論 A 2 フランス語学概論 B 2	実務外国語 A 2 実務外国語 B 2 フランス文学概論 A 2 フランス文学概論 B 2				
		ヨーロッパ特別コース目			比較文学概論 A 2 比較文学概論 B 2 日本文学概論 II 2 憲法論 II 2 憲法論 III 2 憲法論 IV 2 憲法論 V 2 憲法論 VI 2 憲法論 VII 2 憲法論 VIII 2 憲法論 IX 2 憲法論 X 2 憲法論 XI 2 憲法論 XII 2 憲法論 XIII 2 憲法論 XIV 2 憲法論 XV 2 憲法論 XVI 2 憲法論 XVII 2 憲法論 XVIII 2 憲法論 XIX 2 憲法論 XX 2 憲法論 XXI 2 憲法論 XXII 2 憲法論 XXIII 2 憲法論 XXIV 2 憲法論 XXV 2 憲法論 XXVI 2 憲法論 XXVII 2 憲法論 XXVIII 2 憲法論 XXIX 2 憲法論 XXX 2		イギリス文化・文学概論 A 2 イギリス文化・文学概論 B 2 【日本の文化と歴史 A】 2 【日本の文化と歴史 B】 2 【日本の文化と歴史 C】 2 【日本の文化と歴史 D】 2 【日本の文化と歴史 E】 2 【日本の文化と歴史 F】 2 【日本の文化と歴史 G】 2 【日本の文化と歴史 H】 2 【日本の文化と歴史 I】 2 【日本の文化と歴史 J】 2 【日本の文化と歴史 K】 2 【日本の文化と歴史 L】 2 【日本の文化と歴史 M】 2 【日本の文化と歴史 N】 2 【日本の文化と歴史 O】 2 【日本の文化と歴史 P】 2 【日本の文化と歴史 Q】 2 【日本の文化と歴史 R】 2 【日本の文化と歴史 S】 2 【日本の文化と歴史 T】 2 【日本の文化と歴史 U】 2 【日本の文化と歴史 V】 2 【日本の文化と歴史 W】 2 【日本の文化と歴史 X】 2 【日本の文化と歴史 Y】 2 【日本の文化と歴史 Z】 2					
		ドイツ語圏コース科目			ドイツ語圏現地研修 A 2 ドイツ語圏現地研修 B 2 ドイツ語学 I C T I A 1 ドイツ語学 I C T I B 1		時事ドイツ語 A 2 時事ドイツ語 B 2	時事ドイツ語文 B 2				
関連教育科目		比較文学概論 A 2 比較文学概論 B 2 日本文学概論 II 2 憲法論 II 2 憲法論 III 2 憲法論 IV 2 憲法論 V 2 憲法論 VI 2 憲法論 VII 2 憲法論 VIII 2 憲法論 IX 2 憲法論 X 2 憲法論 XI 2 憲法論 XII 2 憲法論 XIII 2 憲法論 XIV 2 憲法論 XV 2 憲法論 XVI 2 憲法論 XVII 2 憲法論 XVIII 2 憲法論 XIX 2 憲法論 XX 2 憲法論 XXI 2 憲法論 XXII 2 憲法論 XXIII 2 憲法論 XXIV 2 憲法論 XXV 2 憲法論 XXVI 2 憲法論 XXVII 2 憲法論 XXVIII 2 憲法論 XXIX 2 憲法論 XXX 2	文化人類学特講 A 2 文化人類学特講 B 2 社会学 A 2 社会学 B 2 リサーチ A 2 リサーチ B 2 リサーチ C 2 リサーチ D 2 リサーチ E 2 リサーチ F 2 リサーチ G 2 リサーチ H 2 リサーチ I 2 リサーチ J 2 リサーチ K 2 リサーチ L 2 リサーチ M 2 リサーチ N 2 リサーチ O 2 リサーチ P 2 リサーチ Q 2 リサーチ R 2 リサーチ S 2 リサーチ T 2 リサーチ U 2 リサーチ V 2 リサーチ W 2 リサーチ X 2 リサーチ Y 2 リサーチ Z 2		イギリス文化・文学概論 A 2 イギリス文化・文学概論 B 2 【日本の文化と歴史 A】 2 【日本の文化と歴史 B】 2 【日本の文化と歴史 C】 2 【日本の文化と歴史 D】 2 【日本の文化と歴史 E】 2 【日本の文化と歴史 F】 2 【日本の文化と歴史 G】 2 【日本の文化と歴史 H】 2 【日本の文化と歴史 I】 2 【日本の文化と歴史 J】 2 【日本の文化と歴史 K】 2 【日本の文化と歴史 L】 2 【日本の文化と歴史 M】 2 【日本の文化と歴史 N】 2 【日本の文化と歴史 O】 2 【日本の文化と歴史 P】 2 【日本の文化と歴史 Q】 2 【日本の文化と歴史 R】 2 【日本の文化と歴史 S】 2 【日本の文化と歴史 T】 2 【日本の文化と歴史 U】 2 【日本の文化と歴史 V】 2 【日本の文化と歴史 W】 2 【日本の文化と歴史 X】 2 【日本の文化と歴史 Y】 2 【日本の文化と歴史 Z】 2		卒 業 論 文 8 卒 業 研 究 6 アメリカ文化・文学概論 A 2 アメリカ文化・文学概論 B 2 日本の文化と歴史 C 2 日本の文化と歴史 D 2 日本の文化と歴史 E 2 日本の文化と歴史 F 2 日本の文化と歴史 G 2 日本の文化と歴史 H 2 日本の文化と歴史 I 2 日本の文化と歴史 J 2 日本の文化と歴史 K 2 日本の文化と歴史 L 2 日本の文化と歴史 M 2 日本の文化と歴史 N 2 日本の文化と歴史 O 2 日本の文化と歴史 P 2 日本の文化と歴史 Q 2 日本の文化と歴史 R 2 日本の文化と歴史 S 2 日本の文化と歴史 T 2 日本の文化と歴史 U 2 日本の文化と歴史 V 2 日本の文化と歴史 W 2 日本の文化と歴史 X 2 日本の文化と歴史 Y 2 日本の文化と歴史 Z 2					

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目目に振り替えることができる。
(2) 選択科目目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」があるは「卒業論文」は履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
(3) [] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和2年度入学生 (LG20台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和2年度入学生 (LG20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 教 養 学A 2	論 理 教 養 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	本 文 学 学A 2	本 文 学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
		自然科学	法政 商学 学A 2	法政 商学 学B 2	日 本 教 育 学 学A 2	日 本 教 育 学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
		総合系科目 学修基礎科目	政治 学 学A 2	政治 学 学B 2	日 本 教 育 学 学A 2	日 本 教 育 学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
	外国語科目	第1	※ ドイツ語 I A 2	※ ドイツ語 II A 2						
		第2	△ フレッシュマン・イングリッシュII 1	△ インターメディア・イングリッシュII 1	アドバンスト・イングリッシュII 1					
			△ フレッシュマン・イングリッシュIII 1	△ インターメディア・イングリッシュIII 1						
			△ フレッシュマン・イングリッシュIV 1	△ インターメディア・イングリッシュIV 1						
			△ フランソワーズ 語学 I A B 2	△ フランソワーズ 語学 II A B 2						
			△ フランソワーズ 語学 III A B 2	△ フランソワーズ 語学 IV A B 2						
保健体育科目 単位互換科目	※ 生涯スポーツ演習 I 1	※ 生涯スポーツ演習 II 1								
専門教育科目	必修科目	ドイツ語基礎演習 A 1		演 習 I A 2		演 習 II A 2				
		ドイツ語基礎演習 B 1		演 習 I B 2		演 習 II B 2				
		ドイツ語基礎演習 C 1								
		ドイツ語圏文化入門 A 2	ドイツ語基礎講読 A 2							
	選択必修科目	ドイツ語圏文化入門 B 2	ドイツ語基礎講読 B 2							
		ドイツ語圏文化入門 C 2	ドイツ語基礎講読 C 2							
		ドイツ語圏文化入門 D 2	ドイツ語基礎講読 D 2							
		ドイツ語圏文化入門 E 2	ドイツ語基礎講読 E 2							
		ドイツ語圏文化入門 F 2	ドイツ語基礎講読 F 2							
		ドイツ語圏文化入門 G 2	ドイツ語基礎講読 G 2							
選択科目	ドイツ語圏文化入門 H 2	ドイツ語基礎講読 H 2								
	ドイツ語圏文化入門 I 2	ドイツ語基礎講読 I 2								
	ドイツ語圏文化入門 J 2	ドイツ語基礎講読 J 2								
	ドイツ語圏文化入門 K 2	ドイツ語基礎講読 K 2								
関連教育科目	ドイツ語圏文化入門 L 2	ドイツ語基礎講読 L 2								
	ドイツ語圏文化入門 M 2	ドイツ語基礎講読 M 2								
	ドイツ語圏文化入門 N 2	ドイツ語基礎講読 N 2								
	ドイツ語圏文化入門 O 2	ドイツ語基礎講読 O 2								
	ドイツ語圏文化入門 P 2	ドイツ語基礎講読 P 2								
	ドイツ語圏文化入門 Q 2	ドイツ語基礎講読 Q 2								
	ドイツ語圏文化入門 R 2	ドイツ語基礎講読 R 2								
	ドイツ語圏文化入門 S 2	ドイツ語基礎講読 S 2								
	ドイツ語圏文化入門 T 2	ドイツ語基礎講読 T 2								
	ドイツ語圏文化入門 U 2	ドイツ語基礎講読 U 2								

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」がある場合は「卒業論文」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 平成31年度入学生 (LG19台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計20単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計16単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、105～107を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 平成31年度入学生 (LG19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	2	哲学 理学 学B 2	2	論 理 教 養 学A 2	2	論 理 教 養 学B 2	2	
		社会科学	学 史 学A 2	2	学 史 学B 2	2	学 史 学A 2	2	学 史 学B 2	2	
		自然科学	学 術 学A 2	2	学 術 学B 2	2	学 術 学A 2	2	学 術 学B 2	2	
		総合系科目	学 術 学A 2	2	学 術 学B 2	2	学 術 学A 2	2	学 術 学B 2	2	
	外国語科目	第1	※ ドイツ語 I A	2	※ ドイツ語 II A	2	アドバンスト・イングリッシュ II	1			
		第2	△ フラッシュマン・イングリッシュ I A	1	△ インターメディア・イングリッシュ II	1					
	保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
	専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	ドイツ語基礎演習 A	1			演 習 I A	2	演 習 II A	2
			ドイツ語圏コース科目	ドイツ語基礎演習 B	1			演 習 I B	2	演 習 II B	2
ヨーロッパ特別コース科目			ドイツ語基礎演習 C	1							
ドイツ語圏コース科目			ドイツ語基礎演習 D	1							
選択必修科目		両コース共通科目	ドイツ語圏文化基礎論 A	2	ドイツ語圏文化基礎論 B	2	ヨーロッパ地域文化特講 A	2	[ヨーロッパ地域文化特講 C]	2	
		ドイツ語圏コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 B	2	ドイツ語圏文化基礎論 C	2	ヨーロッパ言語文化特講 A	2	[ヨーロッパ言語文化特講 D]	2	
		ヨーロッパ特別コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 C	2	ドイツ語圏文化基礎論 D	2	ヨーロッパ表象文化特講 A	2	[ヨーロッパ表象文化特講 D]	2	
		ドイツ語圏コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 D	2	ドイツ語圏文化基礎論 E	2	ドイツ語圏表象文化特講 A	2	[ドイツ語圏表象文化特講 D]	2	
選択科目		両コース共通科目	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語圏現地研修	4	
		ドイツ語圏特別コース科目	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語圏現地研修	4	時事ドイツ語 A	2	実務外国語 A	2	
関連教育科目	関連教育科目	比較文学概論	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 A	2	アメリカ文化・文学概論 A	2		
		日本文学概論	2	社会学概論	2	イギリス文化・文学概論 B	2	アメリカ文化・文学概論 B	2		
		中国語文化概論 (文学)	2	社会学概論 II	2	フランス文化・文学概論 A	2	日本の文化と歴史 C	2		
		憲法	2	社会学概論 III	2	フランス文化・文学概論 B	2	日本の文化と歴史 D	2		
		民法	2	社会学概論 IV	2	フランス文化・文学概論 C	2	日本の文化と歴史 E	2		
		経済学	2	社会学概論 V	2	フランス文化・文学概論 D	2	日本の文化と歴史 F	2		
		コンピュータ入門	2	社会学概論 VI	2	フランス文化・文学概論 E	2	日本の文化と歴史 G	2		
		現代新開学	2	社会学概論 VII	2	フランス文化・文学概論 F	2	日本の文化と歴史 H	2		
		科学思想史	2	社会学概論 VIII	2	フランス文化・文学概論 G	2	日本の文化と歴史 I	2		
		西洋史	2	社会学概論 IX	2	フランス文化・文学概論 H	2	日本の文化と歴史 J	2		

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 令和6年度入学生 (LF24台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和6年度入学生 (LF24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次												
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位					
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 学A 2	論 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2				
		社会科学	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
		自然科学	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
		総合系科目	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
	外国語科目	第1	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
		第2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
	保健体育科目	単位互換科目	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2	学A 2	学B 2				
	専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1
			フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1
選択必修科目		フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	
		フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	
選択科目		フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	
		フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	フランス語圏文化基礎演習A	1	フランス語圏文化基礎演習B	1	
卒業論文		卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	
		卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	卒業論文	8	
関連教育科目		比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	
		比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	比較文学概論	2	

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 令和5年度入学生 (LF23台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和5年度入学生 (LF23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論宗 東日西 本 文 学A 2	論宗 東日西 本 文 学B 2	論宗 東日西 本 文 学A 2	論宗 東日西 本 文 学B 2		
		社会科学	法政商 学A 2	法政商 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2		
		自然科学	教物 理 学A 2	教物 理 学B 2	統 生 活 学A 2	統 生 活 学B 2	統 生 活 学A 2	統 生 活 学B 2		
	総合系科目	総合系科目	福岡大学で考える現代社会	2	アカデミックスキルゼミ I	2	アカデミックスキルゼミ II	2	福岡大学を学ぶ福岡大学でいかに学ぶか	2
		学修基礎科目	福岡大学で考える現代社会	2	アカデミックスキルゼミ I	2	アカデミックスキルゼミ II	2	福岡大学を学ぶ福岡大学でいかに学ぶか	2
	外国語科目	第1	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次				
		第2	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次				
	専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	フランス語基礎演習A 1	フランス語基礎演習B 1	演習 I A 2	演習 I B 2	演習 II A 2	演習 II B 2	
			フランス語圏コース科目	フランス語基礎演習A 1	フランス語基礎演習B 1	フランス語基礎演習A 2	フランス語基礎演習B 2	フランス語基礎演習A 2	フランス語基礎演習B 2	
		選択必修科目	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	
フランス語圏コース科目			フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2		
選択科目		両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2		
		フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2	フランス語圏文化基礎論A 2	フランス語圏文化基礎論B 2		
関連教育科目		両コース共通科目	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2		
		フランス語圏コース科目	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2	比較文学概論 Ⅱ 2		

(注) 1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 令和4年度入学生 (LF22台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………4単位以上	計20単位以上	合計40単位以上	総計124単位以上
		社会科学……………4単位以上			
外国語科目	第1外国語……………8単位 (フランス語)	自然科学……………4単位以上	計16単位以上		
		第2外国語……………8単位以上			
保健体育科目 単位互換科目	総合系列科目 学修基盤科目		4単位		
	必修科目……………24単位				
(2)専門教育科目	選択必修科目……………24単位以上	計64単位以上			
	選択科目……………16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計20単位以上			
	専門教育科目 関連教育科目				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………4単位以上	計20単位以上	合計40単位以上	総計124単位以上
		社会科学……………4単位以上			
外国語科目	第1外国語……………8単位 (フランス語)	自然科学……………4単位以上	計16単位以上		
		第2外国語……………8単位以上			
保健体育科目 単位互換科目	総合系列科目 学修基盤科目		4単位		
	必修科目……………32単位				
(2)専門教育科目	選択必修科目……………22単位以上	計68単位以上			
	選択科目……………14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計16単位以上			
	専門教育科目 関連教育科目				

※イメージ図

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和4年度入学生 (LF22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 教 養 学A 2	論 理 教 養 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	本 文 学 学A 2	本 文 学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
		自然科学	法 政 学 学A 2	法 政 学 学B 2	日 本 学 学A 2	日 本 学 学B 2	政 治 学 学A 2	政 治 学 学B 2	政 治 学 学A 2	政 治 学 学B 2
		総合系科目	法 政 学 学A 2	法 政 学 学B 2	日 本 学 学A 2	日 本 学 学B 2	政 治 学 学A 2	政 治 学 学B 2	政 治 学 学A 2	政 治 学 学B 2
	外国語科目	第1	フ ラ ン ス 語 I A 2	フ ラ ン ス 語 II A 2	フ ラ ン ス 語 I B 2	フ ラ ン ス 語 II B 2	フ ラ ン ス 語 I C 2	フ ラ ン ス 語 II C 2	フ ラ ン ス 語 I D 2	フ ラ ン ス 語 II D 2
		第2	フ ラ ン ス 語 III A 2	フ ラ ン ス 語 III B 2	フ ラ ン ス 語 III C 2	フ ラ ン ス 語 III D 2	フ ラ ン ス 語 III E 2	フ ラ ン ス 語 III F 2	フ ラ ン ス 語 III G 2	フ ラ ン ス 語 III H 2
	保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
		両コース共通科目	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 I A 1	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 I B 1	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 II A 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 II B 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III A 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III B 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III C 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III D 2
		フランス語圏コース科目	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 I A 1	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 I B 1	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 II A 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 II B 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III A 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III B 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III C 2	フ ラ ン ス 語 基 礎 演 習 III D 2
		ヨーロッパ特別コース科目	日 本 語 リ テ ラ シ ー A 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー B 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー C 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー D 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー E 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー F 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー G 2	日 本 語 リ テ ラ シ ー H 2
専門教育科目	選択必修科目	両コース共通科目	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 A 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 B 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 C 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 D 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 E 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 F 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 G 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 H 2
		フランス語圏コース科目	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 A 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 B 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 C 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 D 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 E 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 F 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 G 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 H 2
	選択科目	両コース共通科目	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 A 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 B 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 C 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 D 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 E 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 F 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 G 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 H 2
		フランス語圏コース科目	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 A 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 B 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 C 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 D 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 E 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 F 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 G 2	フ ラ ン ス 語 圏 地 域 文 化 講 義 H 2
	関連教育科目	比較文学概論	比 較 文 学 概 論 I A 2	比 較 文 学 概 論 I B 2	比 較 文 学 概 論 II A 2	比 較 文 学 概 論 II B 2	比 較 文 学 概 論 II C 2	比 較 文 学 概 論 II D 2	比 較 文 学 概 論 II E 2	比 較 文 学 概 論 II F 2
		文化人類学特講	文 化 人 類 学 特 講 A 2	文 化 人 類 学 特 講 B 2	文 化 人 類 学 特 講 C 2	文 化 人 類 学 特 講 D 2	文 化 人 類 学 特 講 E 2	文 化 人 類 学 特 講 F 2	文 化 人 類 学 特 講 G 2	文 化 人 類 学 特 講 H 2
		社会学概論	社 会 学 概 論 I A 2	社 会 学 概 論 I B 2	社 会 学 概 論 II A 2	社 会 学 概 論 II B 2	社 会 学 概 論 II C 2	社 会 学 概 論 II D 2	社 会 学 概 論 II E 2	社 会 学 概 論 II F 2
		言語学概論	言 語 学 概 論 I A 2	言 語 学 概 論 I B 2	言 語 学 概 論 II A 2	言 語 学 概 論 II B 2	言 語 学 概 論 II C 2	言 語 学 概 論 II D 2	言 語 学 概 論 II E 2	言 語 学 概 論 II F 2
		西洋史概論	西 洋 史 概 論 I A 2	西 洋 史 概 論 I B 2	西 洋 史 概 論 II A 2	西 洋 史 概 論 II B 2	西 洋 史 概 論 II C 2	西 洋 史 概 論 II D 2	西 洋 史 概 論 II E 2	西 洋 史 概 論 II F 2
		現代思想概論	現 代 思 想 概 論 I A 2	現 代 思 想 概 論 I B 2	現 代 思 想 概 論 II A 2	現 代 思 想 概 論 II B 2	現 代 思 想 概 論 II C 2	現 代 思 想 概 論 II D 2	現 代 思 想 概 論 II E 2	現 代 思 想 概 論 II F 2

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 令和3年度入学生 (LF21台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和3年度入学生 (LF21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 学A 2	論 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2			
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	本 文 学A 2	本 文 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2			
		自然科学	法政 学A 2	法政 学B 2	日 本 学A 2	日 本 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2			
		総合系科目	総合系科目 学修基礎科目	2	2	2	2	2	2		
	外国語科目	第1	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次					
		第2	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次					
		保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
		専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	演 習 I A	2	演 習 I B	2
			選択必修科目	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2
			選択科目	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
選択科目	フランス語圏コース科目		2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2	フランス語圏コース科目	2		
関連教育科目	比較文学概論	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化・文学概論B	2			
	日本文学概論	2	社会人類学	2	アメリカ文化・文学概論A	2	アメリカ文化・文学概論B	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史A	2	日本の文化と歴史B	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史D	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史E	2	日本の文化と歴史F	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史G	2	日本の文化と歴史H	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史I	2	日本の文化と歴史J	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史K	2	日本の文化と歴史L	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史M	2	日本の文化と歴史N	2			
	憲法概論	2	リニア	2	日本の文化と歴史O	2	日本の文化と歴史P	2			

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 令和2年度入学生 (LF20台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和2年度入学生 (LF20台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次										
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目				
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論理 学A 2	論理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2		
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2		
		社会科学	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2		
		社会科学	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2		
	総合系科目	自然科学	理学 学A 2	理学 学B 2	理学 学A 2	理学 学B 2	理学 学A 2	理学 学B 2	理学 学A 2	理学 学B 2		
		社会科学	文化 学A 2	文化 学B 2	文化 学A 2	文化 学B 2	文化 学A 2	文化 学B 2	文化 学A 2	文化 学B 2		
	外国語科目	第1	フランス語 I A 2	フランス語 II A 2	フランス語 I B 2	フランス語 II B 2	フランス語 I A 2	フランス語 II A 2	フランス語 I B 2	フランス語 II B 2		
		第2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2		
		第3	フランス語 IV A 2	フランス語 IV B 2	フランス語 IV A 2	フランス語 IV B 2	フランス語 IV A 2	フランス語 IV B 2	フランス語 IV A 2	フランス語 IV B 2		
		第4	フランス語 V A 2	フランス語 V B 2	フランス語 V A 2	フランス語 V B 2	フランス語 V A 2	フランス語 V B 2	フランス語 V A 2	フランス語 V B 2		
保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習C	1	フランス語基礎演習D	1	フランス語基礎演習E	1	
		フランス語基礎会話A	1	フランス語基礎会話B	1	フランス語基礎会話C	1	フランス語基礎会話D	1	フランス語基礎会話E	1	
		フランス語学入門A	2	フランス語学入門B	2	フランス語学入門C	2	フランス語学入門D	2	フランス語学入門E	2	
		フランス語学入門B	2	フランス語学入門C	2	フランス語学入門D	2	フランス語学入門E	2	フランス語学入門F	2	
	選択必修科目	ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
		ヨーロッパ特別コース目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2	日本語リテラシーC	2	日本語リテラシーD	2	日本語リテラシーE	2
選択科目	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2	フランス語圏文化基礎論E	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2	フランス語圏文化基礎論E	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2	フランス語圏文化基礎論E	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2	フランス語圏文化基礎論E	2	

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 平成31年度入学生 (LF19台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成31年度入学生 (LF19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論理 学A 2	論理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
		社会科学	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2
		社会科学	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2
		社会科学	教育 学A 2	教育 学B 2	教育 学A 2	教育 学B 2	教育 学A 2	教育 学B 2	教育 学A 2	教育 学B 2
	総合系科目 学修基礎科目	自然科学	物理学 学A 2	物理学 学B 2	化学 学A 2	化学 学B 2	生物学 学A 2	生物学 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2
		自然科学	地球 学A 2	地球 学B 2	環境 学A 2	環境 学B 2	生命科学 学A 2	生命科学 学B 2	地球 学A 2	地球 学B 2
		自然科学	文化 学A 2	文化 学B 2	環境 学A 2	環境 学B 2	生命科学 学A 2	生命科学 学B 2	地球 学A 2	地球 学B 2
		自然科学	環境 学A 2	環境 学B 2	生命科学 学A 2	生命科学 学B 2	地球 学A 2	地球 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2
		自然科学	環境 学A 2	環境 学B 2	生命科学 学A 2	生命科学 学B 2	地球 学A 2	地球 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2
外国語科目	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2	アドバンスト・イングリッシュ II	1			
		フランス語 I B	2	フランス語 II B	2					
	第2	△ フランス語 I A	2	△ フランス語 II A	2					
		△ フランス語 I B	2	△ フランス語 II B	2					
		△ ドイツ語 I A	2	△ ドイツ語 II A	2					
		△ ドイツ語 I B	2	△ ドイツ語 II B	2					
		△ 中国語 I A	2	△ 中国語 II A	2					
		△ 中国語 I B	2	△ 中国語 II B	2					
	保健体育科目 単位互換科目	※生涯スポーツ演習 I	1	※生涯スポーツ論	2					
		※生涯スポーツ演習 II	1							
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習 A	1			演習 I A	2	演習 II A	2	
		フランス語基礎演習 B	1			演習 I B	2	演習 II B	2	
		フランス語基礎会話 A	1							
		フランス語基礎会話 B	1							
	選択必修科目	フランス語圏コース科目	2	フランス語基礎講読 A	2					
		フランス語圏コース科目	2	フランス語基礎講読 B	2					
		フランス語圏コース科目	2	フランス語圏文化基礎論 A	2					
		フランス語圏コース科目	2	フランス語圏文化基礎論 B	2					
		フランス語圏コース科目	2	フランス語圏文化基礎論 A	2					
		フランス語圏コース科目	2	フランス語圏文化基礎論 B	2					
選択科目	両コース共通科目	日本語リテラシー A	2	クロスカルチャル・リテラシー A	2	ヨーロッパ地域文化特講 A	2	ヨーロッパ地域文化特講 C	2	
		日本語リテラシー B	2	クロスカルチャル・リテラシー B	2	ヨーロッパ地域文化特講 B	2	ヨーロッパ地域文化特講 D	2	
	フランス語圏コース科目	日本語リテラシー A	2	コミュニケーション基礎 A	2	ヨーロッパ言語文化特講 A	2	ヨーロッパ言語文化特講 C	2	
		日本語リテラシー B	2	コミュニケーション基礎 B	2	ヨーロッパ言語文化特講 B	2	ヨーロッパ言語文化特講 D	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシー A	2	コミュニケーション基礎 A	2	ヨーロッパ表象文化特講 A	2	ヨーロッパ表象文化特講 C	2	
		日本語リテラシー B	2	コミュニケーション基礎 B	2	ヨーロッパ表象文化特講 B	2	ヨーロッパ表象文化特講 D	2	
	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	ヨーロッパ文化基礎論 A	2	フランス語圏地域文化講読 A	2	フランス語圏地域文化講読 C	2	
		フランス語圏文化基礎論 B	2	ヨーロッパ文化基礎論 B	2	フランス語圏地域文化講読 B	2	フランス語圏地域文化講読 D	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏言語文化講読 A	2	フランス語圏言語文化講読 C	2	
		フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏言語文化講読 B	2	フランス語圏言語文化講読 D	2	
ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏表象文化講読 A	2	フランス語圏表象文化講読 C	2		
	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏表象文化講読 B	2	フランス語圏表象文化講読 D	2		
両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏表象文化講読 A	2	フランス語圏表象文化講読 C	2		
	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏表象文化講読 B	2	フランス語圏表象文化講読 D	2		
フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏表象文化講読 A	2	フランス語圏表象文化講読 C	2		
	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏表象文化講読 B	2	フランス語圏表象文化講読 D	2		
ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏表象文化講読 A	2	フランス語圏表象文化講読 C	2		
	フランス語圏文化基礎論 B	2	フランス語圏文化基礎論 A	2	フランス語圏表象文化講読 B	2	フランス語圏表象文化講読 D	2		
関連教育科目	両コース共通科目	比較文学概論	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 A	2	アメリカ文化・文学概論 A	2	
		比較文学概論 II	2	社会人類学	2	イギリス文化・文学概論 B	2	アメリカ文化・文学概論 B	2	
		日本文学概論	2	フランス語 A	2	日本の文化と歴史 A	2	日本の文化と歴史 C	2	
		中国語文化概論 A(文学)	2	フランス語 B	2	日本の文化と歴史 B	2	日本の文化と歴史 D	2	
		憲法	2	フランス語 I	2	東洋の文化と歴史 A	2	東洋の文化と歴史 C	2	
		法総論	2	フランス語 II	2	東洋の文化と歴史 B	2	東洋の文化と歴史 D	2	
		法入門	2	フランス語 III	2	西洋の文化と歴史 A	2	西洋の文化と歴史 C	2	
		コンピュータ入門	2	フランス語 IV	2	西洋の文化と歴史 B	2	西洋の文化と歴史 D	2	
		現代新開学	2	フランス語 V	2	マス・コミュニケーション論	2	図書館概論	2	
		科学思想史	2	フランス語 VI	2	メディア文化論	2	国際法総論	2	
西洋史概説	2	フランス語 VII	2	欧米各国史 A	2	親族法	2			
西洋史概説	2	フランス語 VIII	2	欧米各国史 B	2	ドイツ語圏地域文化講読 A	2			
		フランス語 IX	2	ドイツ語圏地域文化講読 B	2	ドイツ語圏地域文化講読 C	2			
		フランス語 X	2	ドイツ語圏言語文化講読 A	2	ドイツ語圏言語文化講読 C	2			
		フランス語 XI	2	ドイツ語圏言語文化講読 B	2	ドイツ語圏言語文化講読 D	2			
		フランス語 XII	2	ドイツ語圏表象文化講読 A	2	ドイツ語圏表象文化講読 C	2			
		フランス語 XIII	2	ドイツ語圏表象文化講読 B	2	ドイツ語圏表象文化講読 D	2			
		フランス語 XIV	2	東アジア相互理解演習 A	2					
		フランス語 XV	2	東アジア相互理解演習 B	2					
人文学部他学系及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 平成30年度入学生 (LF18台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計20単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計16単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 91、108～110を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成30年度入学生 (LF18台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 西洋史 A 2	哲学 西洋史 B 2	論理 西洋史 A 2	論理 西洋史 B 2	論理 西洋史 A 2	論理 西洋史 B 2	
		社会科学	法政商学 A 2	法政商学 B 2	政治学 A 2	政治学 B 2	政治学 A 2	政治学 B 2	
		自然科学	物理学 A 2	物理学 B 2	化学 A 2	化学 B 2	化学 A 2	化学 B 2	
		総合系科目	生命・健康と医療 A 2	生命・健康と医療 B 2	国際化と日本 A 2	国際化と日本 B 2	国際化と日本 A 2	国際化と日本 B 2	
	外国語科目	第1	フランス語 I A 2	フランス語 II A 2	フランス語 I B 2	フランス語 II B 2	フランス語 I B 2	フランス語 II B 2	
		第2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	フランス語 III A 2	フランス語 III B 2	
	保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目						
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目						
	専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習 A 1	フランス語基礎演習 B 1	フランス語基礎演習 A 1	フランス語基礎演習 B 1	フランス語基礎演習 A 1	フランス語基礎演習 B 1	フランス語基礎演習 A 1
			フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2
フランス語圏文化基礎 A 2			フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
フランス語圏文化基礎 A 2			フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
選択必修科目		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
選択科目		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
		フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	
選択科目	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2		
	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2	フランス語圏文化基礎 B 2	フランス語圏文化基礎 A 2		
関連教育科目	比較文学概論 A 2	比較文学概論 B 2	比較文学概論 A 2	比較文学概論 B 2	比較文学概論 A 2	比較文学概論 B 2	比較文学概論 A 2		
	日本文学概論 A 2	日本文学概論 B 2	日本文学概論 A 2	日本文学概論 B 2	日本文学概論 A 2	日本文学概論 B 2	日本文学概論 A 2		
	中国語文化概論 A (文学) I 2	中国語文化概論 B (文学) I 2	中国語文化概論 A (文学) II 2	中国語文化概論 B (文学) II 2	中国語文化概論 A (文学) III 2	中国語文化概論 B (文学) III 2	中国語文化概論 A (文学) IV 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		
	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2	憲法 法 総論 II 2	憲法 法 総論 I 2		

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
 (3) [] 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 令和6年度入学生 (LA24台)

【卒業要件】



※イメージ図

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第 4 条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和 6 年度入学生 (LA24台)

※印は必修
△印は選択必修

		第 1・2・3・4 年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学 A	2	哲学 B	2	論理科学 A	2	論理科学 B	2
		西洋学 A	2	西洋学 B	2	東洋学 A	2	東洋学 B	2
		歴史学 A	2	歴史学 B	2	東洋学 A	2	東洋学 B	2
		アジアの文化 A	2	アジアの文化 B	2	東洋学 A	2	東洋学 B	2
	社会科学	政治学 A	2	政治学 B	2	日本国憲法 A	2	政治学 A	2
		商学 A	2	商学 B	2	日本国憲法 B	2	政治学 B	2
		教育学 A	2	教育学 B	2	憲法 A	2	政治学 A	2
	自然科学	数理学 A	2	基礎数学 B	2	統計学 A	2	文化人類学 A	2
		地球観測学 A	2	自然界と物質の化学 B	2	統計学 B	2	文化人類学 B	2
		自然科学入門 A	2	ミクロの生物科学 B	2	生活と環境の化学 C	2	文化人類学 C	2
総合系科目	福岡大学で考える現代社会	2							
学修科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
教育科目	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教科目	外国語科目	※中国語Ⅰ A	2	△中国語Ⅱ A	2	アドバンス・イングリッシュⅠ	1		
		※中国語Ⅰ B	2	△中国語Ⅱ B	2	アドバンス・イングリッシュⅡ	1		
		※朝鮮語Ⅰ A	2	△朝鮮語Ⅱ A	2				
		※朝鮮語Ⅰ B	2	△朝鮮語Ⅱ B	2				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
		フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
		フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
		ドバイ語Ⅰ A	2	ドバイ語Ⅱ A	2				
		ドバイ語Ⅰ B	2	ドバイ語Ⅱ B	2				
	フランス語Ⅰ A	2	フランス語Ⅱ A	2					
	フランス語Ⅰ B	2	フランス語Ⅱ B	2					
	スペイン語Ⅰ A	2	スペイン語Ⅱ A	2					
スペイン語Ⅰ B	2	スペイン語Ⅱ B	2						
ロシア語Ⅰ A	2	ロシア語Ⅱ A	2						
ロシア語Ⅰ B	2	ロシア語Ⅱ B	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門演習Ⅰ	2						
		中国・韓国事情概説	2						
	選択必修科目	中国コース	中国学基礎演習 A	2	中国学演習Ⅰ A	2	中国学演習Ⅱ A	2	
			中国学基礎演習 B	2	中国学演習Ⅰ B	2	中国学演習Ⅱ B	2	
		韓国コース	韓国学基礎演習 A	2	韓国学演習Ⅰ A	2	韓国学演習Ⅱ A	2	
			韓国学基礎演習 B	2	韓国学演習Ⅰ B	2	韓国学演習Ⅱ B	2	
	選択科目	中国言語文化概説 A (文学)	中国言語文化概説 B (言語)	2	[中国事情特講 A]	2	[中国事情特講 B]	2	
			韓国言語文化概説 A (文学)	2	[中国事情特講 C]	2	[中国事情特講 D]	2	
			韓国言語文化概説 B (言語)	2	[中国事情特講 A]	2	[中国事情特講 B]	2	
				2	[中国事情特講 C]	2	[中国事情特講 D]	2	
			2	[中国言語文化特講 A]	2	[中国言語文化特講 B]	2		
			2	[中国言語文化特講 C]	2	[中国言語文化特講 D]	2		
関連教育科目	日本文学	日本文学概論Ⅰ	2	東洋史特講 A	2	東洋史特講 C	2		
		日本文学概論Ⅱ	2	東洋史特講 B	2	東洋史特講 D	2		
		日本文学概論Ⅲ	2			東洋史特講Ⅰ	2		
		日本文学概論Ⅳ	2			東洋史特講Ⅱ	2		
		日本文学概論Ⅴ	2			東洋史特講Ⅲ	2		
		日本文学概論Ⅵ	2			東洋史特講Ⅳ	2		
		日本文学概論Ⅶ	2			東洋史特講Ⅴ	2		
		日本文学概論Ⅷ	2			東洋史特講Ⅵ	2		
		日本文学概論Ⅷ	2			東洋史特講Ⅶ	2		
		日本文学概論Ⅷ	2			東洋史特講Ⅷ	2		

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語Ⅱ A、Ⅱ B、韓国コースは朝鮮語Ⅱ A、Ⅱ Bを必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門 A、B、朝鮮語入門 A、Bは両方とも履修することができる。
 (3) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修についてはⅠ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) () 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 令和5年度入学生 (LA23台)

【卒業要件】



※イメージ図

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第 4 条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和 5 年度入学生 (LA23台)

※印は必修
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文学部	哲学	2	哲学	2	論理	2	論理	2
	社会科学部	政治	2	政治	2	政治	2	政治	2
	自然科学部	数	2	基	2	統	2	文	2
	総合系科目	福	2	ア	2	ア	2	福	2
	修	福	2	ア	2	ア	2	福	2
教育科目	第 1 年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
	外国語科目	中	2	中	2	ア	1		
	保健体育科目	※	1	※	2				
	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
専攻科目	必修科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	選択必修科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	選択科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
専攻科目	選択科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
	専攻科目	中	2	中	2	中	2	中	2
専攻科目	関連教育科目	日	2	日	2	東	2	東	2
	関連教育科目	日	2	日	2	東	2	東	2
	関連教育科目	日	2	日	2	東	2	東	2
	関連教育科目	日	2	日	2	東	2	東	2
	関連教育科目	日	2	日	2	東	2	東	2

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2 年次以降、中国コースは中国語 II A、II B、韓国コースは朝鮮語 II A、II B を必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門 A、B、朝鮮語入門 A、B は両方も履修することができる。
 (3) 日本語教育法 I、日本語教育法 II、日本語教育法 III、日本語教育法 IV の履修については I、II を履修したのち III、IV を履修し、日本語教授法演習 I、日本語教授法演習 II は、日本語教育法 I、II、III、IV のすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) () 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 令和4年度入学生 (LA22台)

【卒業要件】



※イメージ図

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和4年度入学生 (LA22台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗東日西文	2	宗東日西文	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	東日西文	2	東日西文	2
		芸術学A	2	芸術学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		政治学A	2	政治学B	2	日経社地	2	政商教地	2
		法学A	2	法学B	2	文化人類学	2	教育人類学	2
	自然科学科目	数理学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
		世界の地理	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2
		地球と環境	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然地理学	2
		総合系科目		生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2
		科学修習		現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミI	2		
		科目		アカデミックスキルズゼミII	2				
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門	2	中国学基礎演習A	2	中国学演習IA	2	中国学演習IIA	2
		中国事情概説	2	中国学基礎演習B	2	中国学演習IB	2	中国学演習IIB	2
		韓国事情概説	2	コミュニケーション中国語IA	1	コミュニケーション中国語IIA	1	コミュニケーション中国語IIIB	1
		△中朝		中国学文献講読IA	2	中国学文献講読IIA	2		
		△中朝		中国語表現法A	2	中国語表現法IIA	2		
		△中朝		中国語表現法B	2	中国語表現法IIB	2		
	選択必修科目	韓国基礎演習A	2	韓国基礎演習B	2	韓国学演習IA	2	韓国学演習IIA	2
		△中朝		コミュニケーション朝語IA	1	コミュニケーション朝語IIB	1	コミュニケーション朝語IIB	1
		△中朝		韓国学文献講読IA	2	韓国学文献講読IIA	2		
		△中朝		韓国語表現法A	2	韓国語表現法IIA	2		
		△中朝		韓国語表現法B	2	韓国語表現法IIB	2		
		△中朝		朝韓語表現法A	2	朝韓語表現法IIA	2		
育科目	選択科目	中国言語文化概説A(文学)	2	[中国事情特講A]	2	[中国事情特講B]	2		
		中国言語文化概説B(言語)	2	中国事情特講C	2	中国事情特講D	2		
		韓国言語文化概説A(文学)	2	[中国事情講読A]	2	[中国事情講読B]	2		
		韓国言語文化概説B(言語)	2	中国事情講読C	2	中国事情講読D	2		
				[中国言語文化特講A]	2	[中国言語文化特講B]	2		
				中国言語文化特講C	2	中国言語文化特講D	2		
	関連教育科目	日本語学概論I	2	日本語学史I	2	東洋史特講A	2	東洋史特講C	2
		日本語学概論II	2	日本語学史II	2	東洋史特講B	2	東洋史特講D	2
		日本語学概論III	2	比較文学概論	2			日本語教授法演習I	2
		日本語学概論IV	2	日本語教育法I	2	神話文化論	2	日本語教授法演習II	2
		日本語学概論V	2	日本語教育法II	2	中国思想	2	宗教学文化論	2
		日本語学概論VI	2	日本語教育法III	2	中国比較文化論	2	比較文化論	2

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語IIA、II B、韓国コースは朝鮮語IIA、II Bを必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) ()内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 令和3年度入学生 (LA21台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
		外国語科目……………16単位以上			}
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	}	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上
		選択必修科目……………34単位			
		選択科目……………20単位以上			
(3) 自由履修単位	}	共通教育科目	計28単位以上	}	
		専門教育科目			
		関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和3年度入学生 (LA21台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		西洋文学A	2	西洋文学B	2	東洋文学A	2	東洋文学B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	憲法A	2	憲法B	2	
	自然科学	数理学A	2	数理学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
総合系科目	総合科目	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	
	総合科目	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	
教育科目	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次						
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目	中国語	中国語I A	2	中国語II A	2	アドバンス・イングリッシュI	1			
	韓国語	韓国語I A	2	韓国語II A	2	アドバンス・イングリッシュII	1			
	英語	英語I A	2	英語II A	2					
	フランス語	フランス語I A	2	フランス語II A	2					
	スペイン語	スペイン語I A	2	スペイン語II A	2					
	ロシア語	ロシア語I A	2	ロシア語II A	2					
	ドイツ語	ドイツ語I A	2	ドイツ語II A	2					
	イタリア語	イタリア語I A	2	イタリア語II A	2					
	ポルトガル語	ポルトガル語I A	2	ポルトガル語II A	2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門演習I	2							
	中国コース	中国事情概説	2	中国学基礎演習A	2	中国学演習I A	2	中国学演習II A	2	
教育科目	選択必修科目	韓国コース	△[中国語入門A]	2	中国学基礎演習B	2	中国学演習I B	2	中国学演習II B	2
		韓国コース	△[韓国語入門A]	2	韓国学基礎演習A	2	韓国学演習I A	2	韓国学演習II A	2
	選択科目	中国語	中国語入門A	2	中国語入門B	2	中国語入門C	2	中国語入門D	2
		韓国語	韓国語入門A	2	韓国語入門B	2	韓国語入門C	2	韓国語入門D	2
		英語	英語入門A	2	英語入門B	2	英語入門C	2	英語入門D	2
		フランス語	フランス語入門A	2	フランス語入門B	2	フランス語入門C	2	フランス語入門D	2
		スペイン語	スペイン語入門A	2	スペイン語入門B	2	スペイン語入門C	2	スペイン語入門D	2
		ロシア語	ロシア語入門A	2	ロシア語入門B	2	ロシア語入門C	2	ロシア語入門D	2
		ドイツ語	ドイツ語入門A	2	ドイツ語入門B	2	ドイツ語入門C	2	ドイツ語入門D	2
		イタリア語	イタリア語入門A	2	イタリア語入門B	2	イタリア語入門C	2	イタリア語入門D	2
ポルトガル語	ポルトガル語入門A	2	ポルトガル語入門B	2	ポルトガル語入門C	2	ポルトガル語入門D	2		
関連教育科目	日本文学概論I	2	日本文学概論II	2	東洋史特講A	2	東洋史特講B	2		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方も履修することができる。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) () 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 令和2年度入学生 (LA20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
		外国語科目……………16単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	}	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上
		選択必修科目……………34単位			
		選択科目……………20単位以上			
(3) 自由履修単位	}	共通教育科目	計28単位以上	}	
		専門教育科目			
		関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和2年度入学生 (LA20台)

※印は必修
△印は選択必修

共通教育科目		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
		人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西アジアの文化A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西アジアの文化B 2	2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 西日本文化史A 2	2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 西日本文化史B 2	2			
社会科学	法学A 2 政治学A 2 商学A 2 教育心理学A 2	2	法学B 2 経済学A 2 社会学A 2 教育心理学B 2	2	日本国憲法A 2 日経社論A 2 地文社会学A 2 文化人類学A 2	2	政治学A 2 教育学A 2 教養学A 2 文化人類学B 2	2					
自然科学	数学A 2 物理学A 2 地球科学A 2 環境学A 2	2	基礎数学B 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物科学A 2	2	統計学A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物科学A 2	2	物理学入門A 2 地球科学入門A 2 自然環境学A 2 【科学・技術・情報と社会】2	2					
総合科目	総合科目A 2 総合科目B 2 総合科目C 2 総合科目D 2	2	総合科目A 2 総合科目B 2 総合科目C 2 総合科目D 2	2	総合科目A 2 総合科目B 2 総合科目C 2 総合科目D 2	2	総合科目A 2 総合科目B 2 総合科目C 2 総合科目D 2	2					
育		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
科		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目					
目		単位		単位		単位		単位					
外国語科目		※中国語I A 2 ※中国語II B 2 ※朝鮮語I A 2 ※朝鮮語II B 2 ※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 フレッシュマン・イングリッシュIII 1 フレッシュマン・イングリッシュIV 1 ドクトリン・イングリッシュI A 2 ドクトリン・イングリッシュII B 2 フランス語I A 2 フランス語II B 2 スペイン語I A 2 スペイン語II B 2 ロシア語I A 2 ロシア語II B 2		2	△中国語II A 2 △朝鮮語II A 2 △インターメディアイト・イングリッシュI 1 △インターメディアイト・イングリッシュII 1 △インターメディアイト・イングリッシュIII 1 △インターメディアイト・イングリッシュIV 1 ドクトリン・イングリッシュI A 2 ドクトリン・イングリッシュII B 2 フランス語I A 2 フランス語II B 2 スペイン語I A 2 スペイン語II B 2 ロシア語I A 2 ロシア語II B 2	2	アドバンスト・イングリッシュI 1 アドバンスト・イングリッシュII 1	1					
保健体育科目		※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1		※生涯スポーツ論 2									
単位互換科目		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
専門教育		必修科目		中国・韓国学入門演習A 2 中国・韓国事情概説A 2									
目		選択必修科目		中国学基礎演習A 2 中国学基礎演習B 2 コミュニケーション中国語I A 1 コミュニケーション中国語II B 1 中国学文献講読I A 2 中国学文献講読II B 2 中国語表現法A 2 中国語表現法B 2 韓国学基礎演習A 2 韓国学基礎演習B 2 コミュニケーション朝鮮語I A 1 コミュニケーション朝鮮語II B 1 韓国学文献講読I A 2 韓国学文献講読II B 2 朝鮮語表現法A 2 朝鮮語表現法B 2		2	2	中国学演習I A 2 中国学演習II B 2 コミュニケーション中国語II A 1 コミュニケーション中国語III B 1 中国学文献講読II A 2 中国学文献講読III B 2	2	2	中国学演習II A 2 中国学演習III B 2 コミュニケーション中国語III A 1 コミュニケーション中国語III B 1	2	2
育		選択科目		中国言語文化概説A (文学) 2 中国言語文化概説B (言語) 2 韓国言語文化概説A (文学) 2 韓国言語文化概説B (言語) 2									
科		目				[中国事情特講A] 2 中国事情特講C 2 [中国事情講読A] 2 中国事情講読C 2 [中国言語文化特講A] 2 中国言語文化講読A 2 [中国言語文化特講B] 2 中国言語文化講読B 2 [韓国事情特講A] 2 韓国事情特講C 2 [韓国事情講読A] 2 韓国事情講読C 2 [韓国言語文化特講A] 2 韓国言語文化特講C 2 [韓国言語文化特講B] 2 韓国言語文化講読B 2 韓国言語文化講読D 2 韓国言語文化講読I 2 [東アジア地域事情特講] 2 [東アジア各種言語講義] 2 東アジア相互理解演習A 2		2	2	[中国事情特講B] 2 中国事情特講D 2 [中国事情講読B] 2 中国事情講読D 2 [中国言語文化特講B] 2 中国言語文化講読B 2 [中国言語文化講読D] 2 中国言語文化講読D 2 [韓国事情特講B] 2 [韓国事情講読B] 2 [韓国事情講読D] 2 [韓国言語文化特講B] 2 韓国言語文化特講D 2 [韓国言語文化講読D] 2 [韓国言語文化講読I] 2 [韓国言語文化講読D] 2 [東アジア地域事情特講] 2 [東アジア各種言語講義] 2 東アジア相互理解演習B 2	2	2	
目		関連教育科目		日本語学概論I 2 日本語学概論II 2 比較文学概論I 2 日本語教育法I 2 日本語教育法II 2 日本文学概論I 2 日本文学概論II 2 憲法入門A 2 憲法入門B 2 民法入門A 2 民法入門B 2 コンピュータ入門I 2 コンピュータ入門II 2 現代新思想 2 社会科学史A 2 社会科学史B 2		2	2	東洋史特講A 2 東洋史特講B 2	2	東洋史特講C 2 東洋史特講D 2 日本語教授法演習I 2 日本語教授法演習II 2	2	卒業論文 8	
		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目											
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) () 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 平成31年度入学生 (LA19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
		外国語科目……………16単位以上			}
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	}	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上
		選択必修科目……………34単位			
		選択科目……………20単位以上			
(3) 自由履修単位	}	共通教育科目	計28単位以上	}	
		専門教育科目			
		関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 111を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 平成31年度入学生 (LA19台)

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗東日西文	2	宗東日西文	2	
		歴史学A	2	歴史学B	2	東日西文	2	東日西文	2	
		芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史	2	本洋文教育史	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日経社文	2	政商治学	2	
		教育心理学A	2	教育心理学B	2	社会心理学A	2	教育心理学A	2	
	自然科学	数学入門A	2	基礎数学B	2	統計学A	2	物理科学入門A	2	
		世界の地理学A	2	自然界と物質の化学B	2	生活と環境の化学A	2	地球科学入門A	2	
	総合系科目	地球と環境学A	2	生命・健康と医療B	2	国際化と日本	2	【科学・技術・情報と社会】	2	
		現代教育の発展A	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
教育科目	外国語科目	中国語I A	2	中国語II A	2	アドバンス・イングリッシュI	1			
		中国語I B	2	中国語II B	2	アドバンス・イングリッシュII	1			
		朝鮮語I A	2	朝鮮語II A	2					
		朝鮮語I B	2	朝鮮語II B	2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ論	2					
		※生涯スポーツ演習II	1							
	専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門演習	2						
			中国・韓国事情概説	2						
		選択必修科目	中国語I A	2	中国語II A	2	中国語演習I A	2	中国語演習II A	2
			中国語I B	2	中国語II B	2	中国語演習I B	2	中国語演習II B	2
朝鮮語I A			2	朝鮮語II A	2	朝鮮語演習I A	2	朝鮮語演習II A	2	
朝鮮語I B			2	朝鮮語II B	2	朝鮮語演習I B	2	朝鮮語演習II B	2	
選択科目		中国語文化概説A	2	中国語文化特講A	2	中国語文化特講B	2	中国語文化特講C	2	
		中国語文化概説B	2	中国語文化特講B	2	中国語文化特講C	2	中国語文化特講D	2	
		中国語文化概説C	2	中国語文化特講C	2	中国語文化特講D	2	中国語文化特講E	2	
		中国語文化概説D	2	中国語文化特講D	2	中国語文化特講E	2	中国語文化特講F	2	
関連教育科目	日本語学概論I	2	日本語学概論II	2	東洋史特講A	2	東洋史特講B	2		
	日本語学概論II	2	日本語学概論III	2	東洋史特講C	2	東洋史特講D	2		
	日本語学概論III	2	日本語学概論IV	2	東洋史特講E	2	東洋史特講F	2		
	日本語学概論IV	2	日本語学概論V	2	東洋史特講G	2	東洋史特講H	2		
	日本語学概論V	2	日本語学概論VI	2	東洋史特講I	2	東洋史特講J	2		
	日本語学概論VI	2	日本語学概論VII	2	東洋史特講K	2	東洋史特講L	2		
	日本語学概論VII	2	日本語学概論VIII	2	東洋史特講M	2	東洋史特講N	2		
	日本語学概論VIII	2	日本語学概論IX	2	東洋史特講O	2	東洋史特講P	2		
	日本語学概論IX	2	日本語学概論X	2	東洋史特講Q	2	東洋史特講R	2		
	日本語学概論X	2	日本語学概論XI	2	東洋史特講S	2	東洋史特講T	2		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。
 (4) () 内は今年度休講。

令和6年度入学生(24台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次49単位、第4年次38単位、第5年次37単位、第6年次29単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
 - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科の学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科の学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から6単位以上、計12単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計34単位以上、専門教育科目については18単位、総計52単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、50単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計20単位以上、専門教育科目について、1年次の必修科目1単位、1年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から9単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計15単位以上、合計36単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次の必修科目5単位、2年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から16単位以上、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から4単位以上、臨床薬学から1単位以上を含め計27単位以上、合計48単位以上、総計74単位以

上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から4単位以上、衛生薬学から4単位以上、医療薬学から10単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計25単位以上、合計80単位以上、総計108単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次の必修科目13単位、4年次の選択必修科目のうち、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から8単位以上、臨床薬学から2単位以上を含め計14単位以上、合計107単位以上、総計135単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次科目27単位以上、5年次の必修科目32単位、計139単位以上、合計167単位以上を修得していなければならない。

2 薬学部のクリニカルファーマシスト養成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第9項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和5年度入学生(23台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
 - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和4年度入学生(22台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
 - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和3年度入学生 (21台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
 - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単

位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目） 8 単位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第 6 条の 6 工学部の学生は、2 年以上在学し、60 単位以上を修得していなければ、第 3 年次開講科目の登録をすることはできない。

- 2 工学部の学生は、3 年以上在学し、第 1・2 年次必修の第 1 外国語科目 6 単位、選択必修の第 2 外国語科目 4 単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講科目の登録をすることはできない。

- 3 第 1 項の60単位・第 2 項の100単位に算入する総合教養科目、第 1 外国語科目、第 2 外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12 単位までとする。
(2) 第 1 項の60単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 6 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。また、第 2 項の100単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 8 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。
(3) 工学共通科目は、機械工学科は24 単位まで、電気工学科は20 単位まで、電子情報工学科は18 単位まで、化学システム工学科は20 単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18 単位までとする。

第 6 条の 7 医学部医学科の学生は、第 1 学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より 6 単位以上、自然科学より15 単位以上、計21 単位以上、外国語科目の第 1 外国語 8 単位、第 2 外国語 4 単位以上、計12 単位以上、保健体育科目の 2 単位、専門教育科目については18 単位、合計53 単位以上を修得しなければ、第 2 学年に進級することができない。ただし、51 単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第 2 学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第 2 学年で修得しなければならない。

- 2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は 3 年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第 1 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10 単位以上、自然科学より 2 単位以上、必修の外国語科目 4 単位、必修の保健体育科目 2 単位、計18 単位以上、専門基礎科目について必修科目の17 単位、専門教育科目について必修科目の 8 単位、合計43 単位以上を修得していなければ第 2 年次に進級することができない。

- (2) 第 2 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の26 単位、専門教育科目について必修科目の34 単位、合計88 単位以上を修得していなければ第 3 年次に進級することができない。

- (3) 第 3 年次前期終了時において、第 3 年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の 1 単位、専門教育科目について必修科目の13 単位及び選択必修科目の 1 単位を修得していなければ、第 3 年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第 3 年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

- (4) 第 3 年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の27 単位、専門教育科目について必修科目の60 単位及び選択必修科目の 1 単位、合計116 単位以上を修得していなければ第 4 年次に進級することができない。

第 6 条の 8 薬学部の学生は、第 1 年次から第 5 年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和2年度入学生(20台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成31年度入学生 (19台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

VI. 諸規程

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含

め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成30年度入学生 (18台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科

目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員

は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成29年度入学生 (17台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この条において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
- (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

(3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、

3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

(1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合

(2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。